平成24年度

役場庁舎トイレ改修工事

公　開　数　量　内　訳　書

＜取扱上の注意事項＞

1　本内訳書に記載されている数量は参考数量であり，本内訳書は工事請負契約書に記載される設計図書には含まれない。

2　公開数量は，設計変更や出来高計算等の対象数量となるものではない。

3　公開数量は，平成15年基準国土交通省建築工事積算基準及び建築数量積算基準に準拠している。

4　本内訳書に疑義があるときは，公開数量に関する質問書に入札参加予定者が自ら作成した内訳及びその根拠（部位別及び階別の集計表）を明示した数量見積書を添付して質問することができる。（細目は，工事担当に問い合わせのこと。）

七ヶ浜町

（数量公開用）

番　　号	調　査		平成24年10月29日						設　計　者	検　査　者
七財第12-619号	町長		副町長		財政課長		課長			

施工場所　七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺５－１(七ヶ浜町役場)　　地 内

平成 24 年度　役場庁舎トイレ改修工事　　実施設計仕様書

事業費

一金　　円也

内消費税　　円也

期間

自

至　平成25年3月22日

「仕 様 概 要・そ の 他」

改修工事

1階トイレ改修	一	式
2階トイレ・湯沸し室改修	一	式
上記に係る建築・電気・設備工事	一	式

起　工　理　由

積　算　総　括　表

工 事 名	役場庁舎トイレ改修工事		
工 事 費	金　　円(消費税を含む)		
工事日数			
項　目	名　　称	金　　額　円)	摘　　要
A	共通仮設費		
B	直接工事費		
C	純工事費		
D	現場管理費		
E	工事原価		
F	一般管理費等		
G	同上(契約保証費)		
H	工事価格合計		
	改め		
	消費税等相当額		
	総　合　計		

項　目　別　内　訳　書

項目					名称	金額（円）	摘要
		A			指定仮設工事		
		B			直接工事費		
				1	建築工事		
				2	電気設備工事		
				3	機械設備工事		
					（合計）		
		C			発生材処分費		
					合　計		

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
A	指定仮設工事						
	仮囲い	単管+シート張り、H=3m 供用4ヶ月	20.0	m			
	仮間仕切り下地	軽鉄下地	61.6	㎡			
	仮間仕切り仕上げ	石膏ボード、片面	37.6	㎡			
	仮間仕切り仕上げ	合板、片面	23.9	㎡			
	（小々計）						
	仮設トイレ	身障者(簡易水洗)*1、兼用 (水洗)*2、手洗*1供用3ヶ月	1.0	式			
	汲取り費	（3回/月）	9.0	回			
	消臭剤	（不凍液）	3.0	缶			
	（小々計）						
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）		
B							
1	建築工事						
1）	仮設工事		1.0	式			
2）	撤去工事		1.0	式			
3）	土間復旧・補修工事		1.0	式			
3）	外壁仕上工事		1.0	式			
4）	内装仕上工事		1.0	式			
5）	家具・建具工事		1.0	式			
6）	雑工事		1.0	式			
	計						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）		
B							
1	建築工事						
1）	仮設工事						
	枠組本足場	手すり先行、W=1200,H<12m 共用60日	61.7	㎡			
	災害防止	ﾈｯﾄ上養生ｼｰﾄ、供用60日	61.7	㎡			
	安全手すり	枠組足場用、供用60日	8.8	m			
	仮設材運搬費		1.0	式			
	内部仕上げ足場		108.0	㎡			
	墨出し	複合	137.0	㎡			
	養生費	複合	137.0	㎡			
	養生費	通路	36.5	㎡			
	清掃片付け	複合	137.0	㎡			
	清掃片付け	通路	36.5	㎡			
	（小計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）		
B							
1	建築工事						
2）	撤去工事						
	RC土間解体		28.9	㎡			
	CB積み解体		71.7	㎡			
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面カッター入		21.5	m			
	床 テラゾー撤去		6.7	㎡			
	床 タイル撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共	30.5	㎡			
	床 ビニル床タイル撤去		31.7	㎡			
	床 ビニル床シート撤去		9.8	㎡			
	床 下地モルタル撤去		38.3	㎡			
	間仕切り下地解体		11.0	㎡			
	壁 タイル撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共	153.0	㎡			
	壁 下地ボード撤去	一重	22.2	㎡			
	壁 モルタル撤去		32.0	㎡			
	木製スクリーン撤去		18.9	㎡			
	ガラス撤去	（木製ｽｸﾘｰﾝ）	10.0	㎡			
	天井下地撤去		124.0	㎡			
	天井ボード撤去	一重	70.9	㎡			
	天井ボード取り外し		2.2	㎡			
	木製建具撤去	片開き、枠共	3.3	㎡			
	アルミサッシ撤去	ｶﾞﾗｽ・枠共	17.9	㎡			
	トイレブース撤去		50.2	㎡			
	金属製建具撤去	片開き、枠共	1.8	㎡			
	流し台撤去	木製＋ﾃﾗｿﾞｰ 2550*500*750	1.0	台			
	木製戸棚撤去	1000*400*1230	1.0	台			
	木製戸棚撤去	400*400*1780	1.0	台			
	木製棚撤去	800*600*700	1.0	台			

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）		
	（発生材処分）						
	内装材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ、人力	10.8	m3			
	内装材運搬費	ｺﾝｸﾘｰﾄ、人力、2t DIDｱﾘ、6.0 km	10.8	m3			
	内装材積込	廃ﾌﾟﾗ、人力	0.1	m3			
	内装材運搬費	廃ﾌﾟﾗ、人力、2t DIDｱﾘ、14.5km	0.1	m3			
	内装材積込	廃木材、人力	4.2	m3			
	内装材運搬費	廃木材、人力、2t DIDｱﾘ、23.0 km	4.2	m3			
	内装材積込	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ、人力	0.6	m3			
	内装材運搬費	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ、人力、2t DIDｱﾘ、60.0km	0.6	m3			
	内装材積込	ｶﾞﾗｽ、人力	0.1	m3			
	内装材運搬費	ｶﾞﾗｽ、人力、2t DIDｱﾘ、14.5km	0.1	m3			
	内装材積込	混合ｶﾞﾗ、人力	7.2	m3			
	内装材運搬費	混合ｶﾞﾗ、人力、2t DIDｱﾘ、60.0 km	7.2	m3			
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）		
B							
1	建築工事						
4）	土間復旧・補修工事						
	（土間復旧）						
	砂利地業	再生砕石	2.9	m3			
	ポリエチレンフィルム	ｱ0.15	25.9	㎡			
	異形鉄筋	SD295A、D10	0.2	t			
	鉄筋加工組立		0.2	t			
	鉄筋運搬費		0.2	t			
	普通コンクリート	21-18-20	3.5	m3			
	コンクリート打設費		1.0	式			
	（補修）						
	既存器具穴補修	和風便器	4.0	ヵ所			
	既存器具穴補修	洋風便器	2.0	ヵ所			
	床面 ケレン清掃	ｼｰﾄ類撤去部	11.5	㎡			
	床 モルタル塗補修	W=100程度	10.4	m			
	壁 モルタル塗補修	W=100程度	9.8	m			
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）		
B							
1	建築工事						
3）	外壁仕上工事						
	（鉄骨下地）						
	リップ溝形鋼	C-100*50*20*2.3、SSC400 ﾒｯｷ品	289.0	kg			
	山形鋼	L-75*75*6、SS400	41.0	kg			
	平鋼	FB-6*100、SS400	40.0	kg			
	中ボルト	M12	4.0	kg			
	工場加工	現場実測図面費を含む	355.0	kg			
	現場搬入費		1.0	式			
	荷揚げ費	人力	355.0	kg			
	現場取り付け費		355.0	kg			
	タッチアップ費		355.0	kg			
	後施工アンカー	M16	8.0	本			
	（外壁工事）						
	中空押出成形セメント板	t=15、耐火60分仕様 （強化GBﾌｧ21＋GWｼｰﾄﾌｧ3）	14.5	㎡			
	副資材		1.0	式			
	アルミ水切り		5.2	m			
	金具留め工法		14.5	㎡			
	資材搬入・小運搬費		1.0	式			
	（塗装）						
	透湿性防水複層塗り材E		14.5	㎡			
	シーリング	MS-2、15*10 （外壁～既存RC）	17.4	m			
	シーリング	MS-2、15*10 （外壁～新規建具）	15.8	m			
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）		
B							
1	建築工事						
4）	内装仕上工事						
	（ 床 ）						
	モルタル塗	張物下地 ｱ30	37.7	㎡			
	コンクリート金ゴテ	張物下地	29.0	㎡			
	ビニル床シート	ｱ2、ﾏｰﾌﾞﾙ	12.1	㎡			
	ビニル床シート	ｱ2、耐摩耗性	56.7	㎡			
	ビニル床タイル	ｱ2、ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝ	4.2	㎡			
	塩ビ幅木	H=75	87.6	m			
	床見切り	SUS製 3*12	6.2	m			
	（ 壁 ）						
	軽量鉄骨壁下地	LGS65型　@300	42.2	㎡			
	軽量鉄骨壁下地	LGS65型　@450	120.0	㎡			
	軽量鉄骨壁下地	LGS50型　@450	11.9	㎡			
	軽量鉄骨壁下地開口補強	LGS65型　850*2000 三方	11.0	ヵ所			
	軽量鉄骨壁下地開口補強	LGS65型　450*450 四方	2.0	ヵ所			
	軽量鉄骨壁下地開口補強	LGS50型　700*1400 四方	3.0	ヵ所			
	シージング石膏ボード張	ｱ9.5、下張、GL工法	62.4	㎡			
	シージング石膏ボード張	ｱ12.5、不燃、下張、GL工法	6.5	㎡			
	シージング石膏ボード張	ｱ9.5、下張	176.0	㎡			
	シージング石膏ボード張	ｱ9.5+ｱ9.5、下張	30.2	㎡			
	シージング石膏ボード張	ｱ12.5、不燃、下張	2.2	㎡			
	化粧ケイ酸カルシウム板張	ｱ6、目透シ（ｼｰﾘﾝｸﾞ）	226.0	㎡			
	キッチンパネル張	ｱ3、目透シ（ｼｰﾘﾝｸﾞ）	6.3	㎡			
	石膏ボード張	ｱ12.5、継目処理	9.9	㎡			
	ラワン合板張	ｱ9	4.2	㎡			
	シーリング	ｹｲｶﾙ目地、6*6程度	451.0	m			
	EP－M塗	水性、ﾓﾙﾀﾙ面	4.1	㎡			
	EP－M塗	水性、ﾎﾞｰﾄﾞ面	14.3	㎡			
	EP塗	ﾎﾞｰﾄﾞ面、素地B共	9.6	㎡			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）		
	（天井）						
	軽量鉄骨天井下地	19型 @225、＜1.5m	69.9	㎡			
	軽量鉄骨天井下地	19型 既存取合補修	10.7	m			
	軽量鉄骨天井下地	下り壁	8.2	m			
	軽量鉄骨天井 開口補強	19型、300角程度	12.0	ヵ所			
	軽量鉄骨天井 開口補強	19型、450角程度	5.0	ヵ所			
	化粧石膏ボード張	ｱ9.5	62.1	㎡			
	ケイ酸カルシウム板張	ｱ6、目透シ	6.4	㎡			
	穴あき石膏ボード張	既存再使用	3.4	㎡			
	吸音テックス張	既存再使用	2.3	㎡			
	EP塗り	ｹｲｶﾙ面、一般 素地B	6.4	㎡			
	塩ビ廻り縁		123.0	m			
	塩ビ廻り縁	下り壁用	8.2	m			
	天井見切り縁		3.2	m			
	（建具枠・額縁）						
	建具枠	25*125	19.2	m			
	建具枠	25*80	5.0	m			
	開口枠	12*125	23.8	m			
	額縁	25*190	14.4	m			
	額縁	25*115	9.5	m			
	木部 SOP塗	細幅、工程B、素地A	72.0	m			
	鉄部 SOP塗	建具面	1.2	㎡			
	鉄部 SOP塗	細幅、工程B、素地A	5.1	m			
	（小計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）		
B							
1	建築工事						
5）	建具・家具工事						
	（鋼製建具）						
	SD-101 軽量鋼板自由折れ戸	1050*2000	1.0	ヵ所			
	SD-101 片開き点検扉	450*450	2.0	ヵ所			
	（アルミ製建具）						
	AW-101 内倒しランマ付Fix窓	700*1460	1.0	ヵ所			
	AD-101 内倒しランマ付片開き框ドア	700*2410	1.0	ヵ所			
	AW-101 片開き框ドア	700*1950	1.0	ヵ所			
	型板ガラス	F4　ｼｰﾘﾝｸﾞ	4.1	㎡			
	（トイレブース）						
	TB-101 トイレブース	ﾒﾗﾐﾝ化粧板、幅木ﾀｲﾌﾟ	1.0	ヵ所			
	TB-102 トイレブース	ﾒﾗﾐﾝ化粧板、幅木ﾀｲﾌﾟ	1.0	ヵ所			
	TB-103 トイレブース	ﾒﾗﾐﾝ化粧板、幅木ﾀｲﾌﾟ	1.0	ヵ所			
	TB-104 トイレブース	ﾒﾗﾐﾝ化粧板、幅木ﾀｲﾌﾟ	1.0	ヵ所			
	TB-105 トイレブース	ﾒﾗﾐﾝ化粧板、隔て板	1.0	ヵ所			
	（造付家具）						
	＜2階 湯沸し室＞ 収納戸棚	1190*420*2450	1.0	ヵ所			
	＜2階 湯沸し室＞ 収納戸棚	1550*520*2450	1.0	ヵ所			
	＜2階 湯沸し室＞ 収納棚	800*675*1350	1.0	ヵ所			
	＜1階 男子洗面＞ 洗面カウンター	1580*450*800、人工大理石	1.0	ヵ所			
	＜1階 女子洗面＞ 洗面カウンター	1580*450*800、人工大理石	1.0	ヵ所			
	＜2階 男子洗面＞ 洗面カウンター	1580*450*800、人工大理石	1.0	ヵ所			
	＜2階 女子洗面＞ 洗面カウンター	2380*450*800、人工大理石	1.0	ヵ所			
	流し台	L=1200	1.0	台			
	コンロ台	L=600	1.0	台			
	（小計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）		
B							
1	建築工事						
6）	雑工事						
	天井点検口	ｱﾙﾐ 450角、目地ﾀｲﾌﾟ	5.0	ヵ所			
	物入れ棚造作	1000*500、ﾗﾜﾝ合板ｱ5.5	4.0	ヵ所			
	間接照明部加工	化粧ｹｲｶﾙ板加工	8.2	m			
	ライニング甲板	ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ、W150	6.8	m			
	ライニング甲板	ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ、W120	1.6	m			
	壁 グラスウール	ｱ50	36.7	㎡			
	室名札	200角、ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ、平付	2.0	ヵ所			
	室名札	200角、ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ、突出	5.0	ヵ所			
	小物タナ	（YHS60A）	9.0	ヵ所			
	ベビーシート		1.0	ヵ所			
	ベビーチェア		1.0	ヵ所			
	フッティングボード		1.0	ヵ所			
	チャームボックス	壁付（YKB104）	1.0	ヵ所			
	チャームボックス	床置（YKB102）	1.0	ヵ所			
	化粧鏡	耐食鏡 350*800	9.0	ヵ所			
	化粧鏡	耐食鏡 450*1000（ｱｰﾁ）	1.0	ヵ所			
	（小計）						

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）	金 額 （円）	備　　考
B							
2	電気設備工事						
1）	電灯設備工事		1.0	式			
2）	ｺﾝｾﾝﾄ設備工事		1.0	式			
3）	幹線設備工事		1.0	式			
4）	ﾄｲﾚ警報設備工事		1.0	式			
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）	金 額 （円）	備　　考
B							
2	電気設備工事						
1）	電灯設備工事						
	電線管	PF16　いんぺい	12.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF2.0-2C　ころがし	60.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF2.0-3C　ころがし	66.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-AE0.9-2C　ころがし	6.0	m			
	樹脂ﾎﾞｯｸｽ	VE102X54	21.0	個			
	ｽｲｯﾁ	1P15AX1+PL	5.0	個			
	人感ｾﾝｻｰ	親機8A	10.0	個			
	人感ｾﾝｻｰ	子機	4.0	個			
	人感ｾﾝｻｰ	親機換気扇連動型	1.0	個			
	照明器具a	LDL40WX1　笠なし	5.0	台			
	照明器具b	LED11.1W型　ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ軒下	3.0	台			
	照明器具c	LED7.4W型　ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	8.0	台			
	照明器具d	LED12.5W型　ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	29.0	台			
	撤去						
	FL40WX1　撤去	露出型	9.0	台			
	FL20WX2　撤去	露出型	2.0	台			
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
B							
2	電気設備工事						
2)	ｺﾝｾﾝﾄ設備工事						
	電線管	PF16　いんぺい	15.0	m			
	電線管	PF22　いんぺい	26.0	m			
	電線	EM-IE2.0X1　PF管内	44.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-EEF2.0-3C　ころがし	126.0	m			
	樹脂ﾎﾞｯｸｽ	VE102X54	32.0	個			
	金属線ﾋﾟ	MM-1A	12.0	m			
	ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ	MM-1A　1個用	6.0	個			
	ｺｰﾅｰﾎﾞｯｸｽ	MM-1A　1個用	6.0	個			
	ｺﾝｾﾝﾄ	2P15AX2　ET　新金属	13.0	個			
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）	金 額 （円）	備　　考
B							
2	電気設備工事						
3）	幹線設備工事						
	電線	EM-IE5.5X1　PF管内	23.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CE5.5-3C　ころがし	11.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-CE8-3C　ころがし	12.0	m			
	分電盤	L-1A	1.0	面			
	分電盤	L-2A	1.0	面			
	開閉器盤	MCCB3P50/30AT	1.0	面			
	開閉器盤	MCCB3P50/50AT	1.0	面			
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）	金 額 （円）	備　　考
B							
2	電気設備工事						
4）	ﾄｲﾚ警報設備工事						
	電線管	PF16　いんぺい	5.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-AE1.2-2C　PF管内	2.0	m			
	ｹｰﾌﾞﾙ	EM-AE1.2-3C　ころがし	7.0	個			
	樹脂ﾎﾞｯｸｽ	VE102X54	3.0	個			
	ﾄｲﾚ呼出しﾎﾞﾀﾝ		1.0	個			
	ﾌﾞｻﾞｰ付廊下灯		1.0	個			
	復帰釦		1.0	個			
	ﾄｲﾚ警報表示盤	1窓	1.0	個			
	撤去						
	ﾄｲﾚ警報表示盤撤去	1窓	1.0	個			
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 （円）	金 額 （円）	備　　考
B							
3	機械設備工事						
1）	衛生器具設備工事		1.0	式			
2）	給水設備工事		1.0	式			
3）	排水設備工事		1.0	式			
4）	換気設備工事		1.0	式			
	計						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
B							
3	機械設備工事						
1）	衛生器具設備工事						
	和風大便器	C750VU+TV550X	2.0	組			
	洋風便器(擬音無)	CS595BM+SS595BAKL	3.0	組			
	洋風便器(擬音付)	CS595BM+SS596BAKL	4.0	組			
	車椅子用便器	C480AN+TEF70SSX	1.0	組			
	小便器	UFS800CE	7.0	組			
	はめ込み洗面器	L350CM+TEN41AX	9.0	組			
	洗面器	L260CM+TEN41AX	1.0	組			
	掃除用流し	SK322+T23B20	3.0	組			
	L形手摺	T112CL10	8.0	組			
	和風便器用手摺	T112CW1	2.0	組			
	可動手摺	T112HK7	1.0	組			
	小便器用手摺	T112CU2	2.0	組			
	オストメイト	UAS71LDB	1.0	組			
	自在水栓	T130AR13	1.0	個			
	撤去工事	配管工		人工			
	（小計）						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
B							
3	機械設備工事						
2）	給水設備工事						
	塩ビライニング鋼管(VB)	便・機　20A	22.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)	便・機　25A	18.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)	便・機　32A	5.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)	便・機　40A	3.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VB)	便・機　50A	11.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)	便・機　20A	11.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)	便・機　25A	4.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)	便・機　32A	9.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)	便・機　40A	3.0	m			
	塩ビライニング鋼管(VD)	便・機　50A	3.0	m			
	仕切弁	JIS5K　GV20A	2.0	個			
	仕切弁	JIS5K　GV40A	1.0	個			
	仕切弁	JIS5K　GV50A	2.0	個			
	量水器	50A	1.0	個			
	EW-1：電気温水器	壁掛貯湯式(14.0lit) 701W(単相・100V)	1.0	台			
	保温工事	隠蔽　　20A	13.2	m			
	保温工事	隠蔽　　25A	13.6	m			
	保温工事	隠蔽　　32A	4.2	m			
	保温工事	隠蔽　　40A	2.0	m			
	保温工事	隠蔽　　50A	7.0	m			
	保温工事	屋内露出　20A	1.0	m			
	保温工事	屋内露出　40A	0.5	m			
	保温工事	屋内露出　50A	3.2	m			
	防食工事	RC内　　20A	7.0	m			
	防食工事	RC内　　25A	4.3	m			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
B							
	既存管切断	鋼管　25A	7.0	ヶ所			
	既存管切断	鋼管　50A	4.3	ヶ所			
	既存管接続	鋼管　25A	1.0	ヶ所			
	既存管接続	鋼管　50A	1.0	ヶ所			
	撤去工事	配管工		人工			
	(小計)						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
B							
3	機械設備工事						
3）	排水設備工事						
	耐火二層管(VP) 排水	便・機　　40A	6.0	m			
	耐火二層管(VP) 排水	便・機　　50A	8.0	m			
	耐火二層管(VP) 排水	便・機　　65A	11.0	m			
	耐火二層管(VP) 排水	便・機　　100A	14.0	m			
	耐火二層管(VP) 汚水	便・機　　50A	5.0	m			
	耐火二層管(VP) 汚水	便・機　　75A	5.0	m			
	耐火二層管(VP) 汚水	便・機　　100A	18.0	m			
	耐火二層管(VP) 通気	便・機　　40A	5.0	m			
	耐火二層管(VP) 通気	便・機　　50A	10.0	m			
	耐火二層管(VP) 通気	便・機　　65A	8.0	m			
	耐火二層管(VP) 通気	便・機　　75A	9.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 排水	便・機　　40A	5.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 排水	便・機　　50A	5.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 排水	便・機　　65A	2.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 排水	便・機　　75A	10.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 排水	便・機　　100A	7.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 汚水	便・機　　50A	4.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 汚水	便・機　　75A	7.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 汚水	便・機　　100A	20.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 通気	便・機　　40A	1.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 通気	便・機　　50A	7.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 通気	便・機　　65A	2.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 通気	便・機　　75A	3.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 排水	屋外埋設　75A	1.0	m			
	硬質塩ビ管(VP) 排水	屋外埋設 100A	5.0	m			
	床上掃除口	COA　50A	1.0	個			
	床上掃除口	COA　65A	2.0	個			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
B							
	床上掃除口	COA　80A	2.0	個			
	床上掃除口	COA　100A	7.0	個			
	通気金物	VC　　80A	2.0	個			
	間接排水口	100A×50A	1.0	個			
	小口径桝(塩ビ蓋)	90L:100×150～400H	1.0	個			
	小口径桝(塩ビ蓋)	90L:100×150～450H	4.0	個			
	インバート切替		1.0	個			
	配管貫通口斫り補修	W＝300　φ125	2.0	個			
	配管貫通口斫り補修	W＝300　φ150	3.0	個			
	土工事	根切(人力)	1.7	m3			
	土工事	砂埋戻(山砂)	0.6	m3			
	土工事	埋戻(掘削土)	1.1	m3			
	土工事	残土処分(構内敷均し)	0.6	m3			
	既設管切断	鋼管　50A	1.0	ヶ所			
	既設管切断	鋼管　100A	2.0	ヶ所			
	既設管接続	鋼管　50A	1.0	ヶ所			
	既設管接続	鋼管　100A	2.0	ヶ所			
	撤去工事	配管工		人工			
	(小計)						

七ヶ浜町

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価	金 額	備　　考
					（円）	（円）	
B							
3	機械設備工事						
4）	換気設備工事						
	F-1：排風機	ストレートシロッコファン(φ150)	2.0	台			
		300m3/H×30Pa(単相・100V)					
		スイッチ・VC他付属品一式					
	F-2：排風機	ストレートシロッコファン(φ200)	2.0	台			
		400m3/H×30Pa(単相・100V)					
		スイッチ・VC他付属品一式					
	V-1：換気扇	低騒音形天井扇(φ100)	2.0	台			
		150m3/H×30Pa(単相・100V)					
		スイッチ・VC他付属品一式					
	V-2：換気扇	低騒音形天井扇(φ150)	1.0	台			
		400m3/H×30Pa(単相・100V)					
		スイッチ・VC他付属品一式					
	EPH-1：電気暖房器	壁掛電気パネルヒーター	4.0	台			
		単相・100V・1.0kw					
		放熱量：860kcal/h					
		悪戯防止ｶﾊﾞｰ他付属品一式					
	スパイラルダクト	φ100	10.0	m			
	スパイラルダクト	φ150	24.0	m			
	スパイラルダクト	φ200	6.0	m			
	吸込口	HS：150×150	6.0	個			
	吸込口	HS：200×200	4.0	個			
	制気口ボックス	350×350×300H	3.0	ヶ所			
	制気口ボックス	350×350×350H	2.0	ヶ所			
	制気口ボックス	400×400×350H	4.0	ヶ所			

明　細　書

名　　称		摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
B							
	保温工事(スパイラルダクト)	隠蔽　φ100	1.0	m			
	保温工事(スパイラルダクト)	隠蔽　φ150	3.0	m			
	保温工事(スパイラルダクト)	隠蔽　φ200	2.0	m			
	(小計)						

七ヶ浜町

明　細　書

	名　　称	摘　　要	数 量	単位	単 価 (円)	金 額 (円)	備　　考
C							
1	発生材処分費						
	(建築工事)						
	発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ	10.8	m3			
	発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	0.1	m3			
	発生材処分	廃木材	4.2	m3			
	発生材処分	廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	0.6	m3			
	発生材処分	ｶﾞﾗｽ	0.1	m3			
	発生材処分	混合ｶﾞﾗ 、最終処分	14.3	t			
	産廃税		14.3	t			
	(機械設備)						
	陶器屑	混合ｶﾞﾗ(陶器屑)	0.6	t			
	金属屑		1,709.6	kg			
	プラスチック屑		9.4	kg			
	(小計)						

七ヶ浜町

一 位 代 価 表

代価表 1

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数 量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
枠組足場	枠組足場 W1200　掛払い(H<12r	1.000	㎡				
供用 60日	枠組足場 W1200　共用	1.000	㎡		60.000		
	枠組足場 W1200　基本料	1.000	㎡				
一 位 代 価			㎡				

代価表 2

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数 量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
災害防止	ネット状養生シート　掛払い	1.000	㎡				
(ネット状養生シート)	ネット状養生シート　共用	1.000	㎡		60.000		
供用 60日	ネット状養生シート 基本料	1.000	㎡				
一 位 代 価			㎡				

代価表 3

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数 量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
安全手すり	安全手すり 掛払い	1.000	㎡				
(枠組足場用)	安全手すり 共用	1.000	㎡		60.000		
供用 60日	安全手すり 基本料	1.000	㎡				
一 位 代 価			m				

代価表 4

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数 量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
仮設材運搬費	枠組足場(W1200)	61.70	㎡				
	養生シート(ネット)	61.70	㎡				
	安全手すり	8.80	m				
一 位 代 価			式				

一 位 代 価 表

代価表 5

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
流し台撤去	木製＋ﾃﾗｿﾞｰ 2550*500*750						
	特殊作業員		人		0.300		
	その他	1.00	式				
	※取りこわし＝新設*30%						
一 位 代 価			台				

代価表 6

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
木製戸棚撤去	1000*400*1230						
	特殊作業員		人		0.300		
	その他	1.00	式				
	※取りこわし＝新設*30%						
一 位 代 価			台				

代価表 7

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
木製戸棚撤去	400*400*1780						
	特殊作業員		人		0.300		
	その他	1.00	式				
	※取りこわし＝新設*30%						
一 位 代 価			台				

代価表 8

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
木製棚撤去	800*600*700						
	特殊作業員		人		0.300		
	その他	1.00	式				
	※取りこわし＝新設*30%						
一 位 代 価			台				

一 位 代 価 表

代価表 9

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
(1階 土間)							
コンクリート打設費	打設手間(土間)	3.50	m3				
	ポンプ車(基本料金)	1.00	台				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 10

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
既存器具穴補修	250*500程度						
(和風便器)	コンクリートはつり(120*50)	1.50	m				
	床型枠(0.50*0.65)	0.32	㎡				
	鉄筋	1.40	kg				
	鉄筋溶接 (L=50*2*7*2)	1.40	m				
	コンクリート(21-18-20)	0.03	m3				
	コンクリート打設(人力)	0.03	m3				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 11

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
既存器具穴補修	100φ程度						
(洋風便器)	コンクリートハツリ　ァ120	0.30	m				
	モルタル充てん	1.00	ヵ所				
	型枠(0.3*0.3)	0.10	㎡				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 12

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
ビニル床シート							
(ﾏｰﾌﾞﾙ)	ビニル床シート(無地) ァ2	1.00	㎡				
	－(無地)材料	1.05	㎡				
	＋(ﾏｰﾌﾞﾙ)材料	1.05	㎡				
一 位 代 価			㎡				

一 位 代 価 表

代価表 13

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
ビニル床シート							
(耐磨耗性)	ビニル床シート(無地) ｱ2	1.00	㎡				
	－(無地)材料	1.05	㎡				
	＋(耐磨耗)材料	1.05	㎡				
	※ﾎﾟﾘｭｰﾑﾌﾟﾛMF						
一 位 代 価			㎡				

代価表 14

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
物入れ棚造作							
(≒1000*500)	木下地(0.5㎡×150%)	0.50	㎡				
	ﾗﾜﾝ合板張り ｱ5.5	0.50	㎡				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 15

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
間接照明部加工	※化粧ケイカル板の0.6㎡を見込						
	化粧ケイ酸カルシウム板	0.50	㎡				
	防水石膏ボード ｱ9.5 下張	0.50	㎡				
一 位 代 価			m				

代価表 16

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
室名札							
(200角、平付)	杉田ACE FK-200	1.00	枚				
	内装工		人				
	その他	1.00	式				
一 位 代 価			ヵ所				

一 位 代 価 表

代価表 17

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
室名札							
(200角、突出)	杉田ACE FKY-200	1.00	枚				
	内装工		人				
	その他	1.00	式				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 18

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
小物棚							
	TOTO (YHS60A)	1.00	組				
	内装工		人				
	その他	1.00	式				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 19

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
ベビーシート							
	TOTO (YKA25)	1.00	組				
	内装工		人				
	その他	1.00	式				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 20

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
ベビーチェア							
	TOTO (YKA13)	1.00	組				
	内装工		人				
	その他	1.00	式				
一 位 代 価			ヵ所				

一 位 代 価 表

代価表 21

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
フッティングボード							
	TOTO （YKA40）	1.00	組				
	内装工		人				
	その他	1.00	式				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 22

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
チャームボックス							
（壁付）	TOTO （YKB104）	1.00	個				
	内装工		人				
	その他	1.00	式				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 23

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
チャームボックス							
（床置）	TOTO （YKB102）	1.00	個				
	内装工		人				
	その他	1.00	式				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 24

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
化粧鏡（耐食鏡）							
	TOTO （YM3580FC）	1.00	枚				
	鏡取付　　（600*800準用）	1.00	枚				
一 位 代 価							

一 位 代 価 表

代価表 25

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
化粧鏡（耐食鏡 ｱｰﾁ）							
	TOTO （YM4510FAC）	1.00	組				
	鏡取付　　（600*800準用）	1.00	枚				
一 位 代 価			ヵ所				

代価表 26

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
仮囲い	ｼｰﾄ張り H=3.0m 供用3ヶ月	1.00	m				
	供用 1ヶ月分 加算	1.00	m				
一 位 代 価			m				

代価表 27

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
汲取り費	※身障者のみ						
	汲取り料（3回/月）	1.00	回				
一 位 代 価			回				

代価表 28

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
消臭剤							
	消臭剤（不凍液）	1.00	缶				
一 位 代 価			缶				

一 位 代 価 表

代価表 29

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
仮設トイレ	＜3ヶ月 リース＞						
（3ヶ月）	身障者トイレ（軽水洗、ｽﾛｰﾌﾟ付	3.00	月				
	同上　設置費	1.00	棟				
	同上　撤去費	1.00	棟				
	同上　清掃費	1.00	棟				
	兼用トイレ（水洗、2棟）	3.00	月				
	同上　清掃費	2.00	棟				
	手洗	3.00	月				
	同上　清掃費	1.00	棟				
	パーテーション(7枚)	3.00	月				
	同上　設置費	7.00	枚				
	同上　撤去費	7.00	枚				
	同上　清掃費	7.00	枚				
	運搬費	4.00	車				
	リース分　小計						
	付帯設備（給排水・電気）	1.00	式				
一 位 代 価			式				

一 位 代 価 表

代価表 30

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
仮設トイレ用 付帯設備	＜給水＞						
（水洗の場合）	配管分岐(20mm)	1.00	ヵ所				
	VP 20mm(屋外埋設)	8.00	m				
	Vp 20mm(機械室)	6.00	m				
	配管接続(15mm)	3.00	ヵ所				
	保温巻き(多湿、グラスウール)	6.00	m				
	水抜き栓 (13A、0.6m)	1.00	ヵ所				
	不凍水栓柱 (13)	1.00	ヵ所				
	ヒーター巻き 15A、1.5m	3.00	本				
	Asカッター	16.00	m				
	As撤去 (ｧ50)	0.20	m3				
	As復旧 (再生密粒、50-150、人力)	4.00	㎡				
	根切 (人力)	1.60	m3				
	埋戻し(人力)	1.60	m3				
	配管切断(15mm)	4.00	ヵ所				
	＜排水＞						
	排水管 VP100(露出)	15.00	m				
	排水管 接続(VP100)	3.00	ヵ所				
	排水管 切断(VP100)	3.00	ヵ所				
	≪電気設備(工事用分電盤より≫						
	PF管 (PF16、露出)	37.00	m				
	ケーブル (VVF2.0-2C)	37.00	m				
	樹脂製露出ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ (16､1方出)	6.00	個				
	露出丸型ボックス (樹脂、3方出)	4.00	個				
	ｺﾝｾﾝﾄ (2P15A*1､樹脂ﾌﾟﾚｰﾄ)	1.00	個				
	コンセント (2P15A*1､防水)	3.00	個				
	スイッチ (1P15*1、樹脂、防水)	3.00	個				
	(撤去)						
	PF管撤去 (再使用しない)	37.00	m				
	ケーブル 撤去 (再使用しない)	37.00	m				
	位置ﾎﾞｯｸｽ撤去 (再使用しない)	10.00	個				
一 位 代 価			式				

一 位 代 価 表

代価表 31

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
キッチンパネル	※化粧ケイカル板張を準用						
	化粧ケイカル板張り(ｱ6)	1.00	㎡				
	－(化粧ケイカル板)材料	0.634	枚				
	＋(ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ)材料	1.050	㎡				
一 位 代 価			㎡				

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
一 位 代 価						0	0

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
一 位 代 価						0	0

［単位:円］

名　称	要 素 名 称	数　量	単 位	単　価	乗率	要素単価	単価根拠
一 位 代 価			㎡			0	0

平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事

図 面 リ ス ト

意　匠						電 気 設 備		機 械 設 備	
A－01	特記仕様書（1）	A－11	仕 上 表	A－21	（改修）1階・2階 天井伏図	E－01	電気設備工事 改修特記仕様書	M－01	機械設備工事 改修特記仕様書
A－02	特記仕様書（2）	A－12	（既存）1階平面詳細図	A－22	建 具 表	E－02	＜電灯幹線設備＞（改修）1階平面図	M－02	（改修）1階平面詳細図
A－03	特記仕様書（3）	A－13	（既存）1階 展開図	A－23	（既存）（改修）2階北側立面図	E－03	＜電灯幹線設備＞（改修）2階平面図	M－03	（改修）2階平面詳細図
A－04	特記仕様書（4）	A－14	（既存）2階平面詳細図	A－24	造付家具詳細図.1	E－04	＜コンセント設備＞ 1階平面詳細図	M－04	（既存）1階平面詳細図
A－05	案 内 図　配 置 図	A－15	（既存）2階 展開図	A－25	造付家具詳細図.2	E－05	＜コンセント設備＞ 2階平面詳細図	M－05	（既存）2階平面詳細図
A－06	指定仮設図（屋外）	A－16	（改修）1階平面詳細図			E－06	＜電灯設備＞ 1階平面詳細図	M－06	＜換気設備＞（改修）1階・2階平面図
A－07	（既存）1階平面図　指定仮設図	A－17	（改修）1階 展開図			E－07	＜電灯設備＞ 2階平面詳細図		
A－08	（既存）2階平面図　指定仮設図	A－18	（改修）2階平面詳細図						
A－09	（改修）1階平面図	A－19	（改修）2階 展開図.1						
A－10	（改修）2階平面図	A－20	（改修）2階 展開図.2						

株式会社 山本設計事務所

<図面サイズ：A2>

<平成２４年４月版　建築改修工事特記仕様書　宮城県土木部営繕課>

工事発注図面（図面総枚数：　４０　枚）	建設課長				担当
七ヶ浜町建設課 平成　年　月					

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1　工事番号・名称　　平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事
2　工　事　場　所　　宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺５－１
3　用途地域等
　都市計画区域（⊙内　・外）　用途地域（　第一種中高層住居専用地域　）
　防火地域等　（・防火　・準防火　・指定なし　⊙　２２条　）
　その他の地域・地区（　　）
4　主　要　用　途　　事務所（役場庁舎）
5　敷　地　面　積　　．　㎡
6　工事の概要
　Ａ．建築工事
　　１）１階トイレ改修　　一式
　　２）２階トイレ、湯沸し室改修　　一式
　Ｂ．電気設備工事
　　１）幹線設備改修　　一式
　　２）電灯・コンセント設備改修　　一式
　Ｃ．機械設備工事
　　１）給排水設備改修　　一式
　　２）衛生器具設備改修　　一式
　　３）換気設備改修　　一式
　　４）ガス設備改修　　一式
7　別途工事
8　その他
9　特記仕様書の範囲
　特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
　・構造特記仕様書　・外構工事特記仕様書　・植栽工事特記仕様書
　・解体工事特記仕様書　・電気設備工事特記仕様書　・機械設備工事特記仕様書

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(平成22年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は，「公共建築工事標準仕様書（平成22年版）」(以下「標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(平成18年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
　なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。
2．特記仕様
　１）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
　２）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
　３）特記事項に記載の＜　＞、（　）及び［　］内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①．一般事項	⊙　工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙　請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙　施工体系図を現場に掲示すること。 ・　工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※　図示 ・
	②．適用基準等	・　建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ・　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成21年4月1日施行） ⊙　建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成22年版） ⊙　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成12年版）
	３．概成工期	工事工期より　　日前　　<1.1.2>
	④．工事実績情報(CORINS)の登録	※　適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　<1.1.4> 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 (請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ) ・　適用しない
	⑤．発生材の処理等	発生材の処理　<1.3.8> ・　引渡しを要するもの（　　） ・　特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　再生資源化を図るもの

種類	受入施設名	所在地（Km）	備考
⊙コンクリート塊	(株)NIPPO 多賀城	多賀城市栄2-217-6　（5.5Km）	
・アスファルトコンクリート塊			
⊙建設発生木材	(株)サイコー	仙台市宮城野区蒲生2-2-1　(11.4Km)	
・コンクリートから成る建設資材			
⊙ガラス	東北黒沢建設工業TKR	仙台市若林区卸町東4-4-28　(12.4Km)	
⊙廃プラスチック	(株)サイコー	仙台市宮城野区蒲生2-2-1　(11.4Km)	
⊙石膏ボード	(株)安部工業	黒川郡大和町松坂平8-3-4　(24.5Km)	

・その他の廃棄物（安定型）

種類	受入施設名	所在地（Km）	備考
⊙混合ガラ	大貫工業(株)	仙台市太白区坪沼字硯石56　(39.3Km)	

	⑥．電気保安技術者	・　適用する　※　適用しない　<1.3.3>
	⑦．事故報告	<1.3.10> 工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑧．建築材料等	材料の品質等　<1.4.2> ※　本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。 環境への配慮　<1.4.1> ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合 該当する建築材料 １）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 ２）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 ３）次の表示のあるＪＡＳ適合品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	９．室内の空気中の化学物質濃度の測定	※　ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　<1.6.9> (1.5.9) 試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質 ※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm） ※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm） ※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm） ※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値　3,800μg/m3 ・ 0.88ppm） ※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　870μg/m3 ・ 0.20ppm） 測定する室等：（　　） 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を２部提出する。 ・測定結果 ・試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数） ・試料採取方法，測定方法，使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。 ・　総揮発性有機化合物の測定 測定方法，測定物質及び測定か所等については，別図に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ※　室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については，施設管理者に依頼する。
	⑩．特別な材料の工法	「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

・その他の廃棄物（管理型）

種類	受入施設名	所在地（Km）	備考

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器　・有（数量：　）　[5.4.3]
⊙無
PCB含有シーリング材　・有（施工範囲は図示）[5.4.4]
⊙無

PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

アスベストの処理
吹き付けアスベスト除去工事　・有(図示　)　⊙無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト含有保温材除去工事　・有(図示　)　⊙無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト成形板除去工事　・有(図示　)　⊙無
受け入れ施設名・所在地(km)

ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理
ヒ素又はカドミウムボード　・有(図示　)　・無
次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。
＜対象となる石膏ボード＞
小名浜吉野石膏（株）　いわき工場　昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
日東石膏ボード（株）　八戸工場　平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
指定する処分場
【名称：　　所在地(km)　　】

・　適用する　※　適用しない　<1.3.3>

<1.3.10>
工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

材料の品質等　<1.4.2>
※　本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮　<1.4.1>
※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

※　ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合
該当する建築材料
１）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
２）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
３）次の表示のあるＪＡＳ適合品
ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
ｂ．接着剤等不使用
ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

※　ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　<1.6.9> (1.5.9)
試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。
測定対象物質
※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm）
※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm）
※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm）
※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値　3,800μg/m3 ・ 0.88ppm）
※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　870μg/m3 ・ 0.20ppm）
測定する室等：（　　）
採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。
測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を２部提出する。
・測定結果
・試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数）
・試料採取方法，測定方法，使用した測定機器
測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。

・　総揮発性有機化合物の測定
測定方法，測定物質及び測定か所等については，別図に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※　室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については，施設管理者に依頼する。

「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

11．建築基準法による風圧力等の指定	<3.5.4><3.9.3><5.12.5>(13.2.3)(13.3.3)

適用工事	建築基準法の指定
・　合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0)　※３０　・
・　アルミニウム笠木　・　金属板屋根葺	地表面粗度区分　・Ⅱ　・Ⅲ
・　折板屋根葺　・　ガラスブロック	多雪地域の指定　・有　・無

12．設計ＧＬ	※　図示　　・　現状平均地盤高
13．施工調査	施工数量調査　<1.5.2> ・　既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。　<1.5.3>

調査項目	調査範囲	調査方法	成果品

14．技能士	・　下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。　<1.6.2> ※　下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。 ⊙　下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工事種目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・とび（とび作業）
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工（型枠工事作業）
鉄骨工事	・鉄工（構造物鉄工作業） ・とび（とび作業）
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業）
	・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	・防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾄﾞ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　）
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・タイル張り（タイル張り作業）
木工事	・建築大工（大工工事作業）
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業） ・スレート施工（スレート工事作業）
金属工事	・内装仕上施工（鋼製下地工事作業） ・建築板金（内外装板金作業）
左官工事	・左官（左官作業）
建具工事	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス工事作業） ・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・カーテンウォール施工（金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業） ・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス工事作業）
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上工事作業　）
	・表装（壁装作業）
排水工事	・配管（建築配管作業）
舗装工事	・路面表示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　）
植栽工事	・造園（造園工事作業）

15．完成図等	<1.8.1><1.8.2><1.8.3> 営繕工事完成引渡要領（平成13年4月1日宮城県土木部営繕課・設備室策定）により作成する。 ※　完成原図　１部 ・　マイクロフィルム（県指定様式）　１部 ※　青焼２つ折製本　１部 ※　青焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部 ※　青焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　１部 ※　完成図面電子データJWW形式又はDXF形式 若しくはTIFF形式（解像度300DPI程度）　CD1枚
16．完成写真	※　作成する 宮城県建築工事写真撮影要領により，次のものを原版（ネガ等）とともに監督職員に提出する。

分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式
※カラー ・白黒	※Ｌ ・２Ｌ ・六切り	※宮城県写真撮影要領の完成写真程度 ・　箇所　枚	※１部 ・　部	※工事用アルバムA4版ポケット式程度 ・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度） ・

・　作成しない

17．設備工事との取合い	施工範囲　各工事の区分表による。 施工図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
18．火災保険等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　※　火災保険　※　建設工事保険　・ 保険期間　※　工事着手から工事目的物引き渡しまで　・

2　仮設工事

①．仮囲い　※　設ける　・　設けない
仮囲いの位置及び延長は図示による。
・万能鋼板（H=　）　・波形鉄板（H=　）　⊙単管シート（H=3.0m）
・シートゲート（H=　，W=　）×　箇所
②．交通誘導員　・　配置する（　日　×　人　＝　人日）　※　配置しない
③．工事表示板　※　設置する（設置枚数　１枚）　⊙　設置しない
営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。
④．足場その他　内部足場　※　脚立、足場板等　・　<2.2.1>
外部足場　※　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種 <表2.2.1>
防護シート　※　設ける　・　設けない
材料の運搬　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　<表2.2.2>
・　Ｄ種　※　Ｅ種
足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
⑤．養生　家具の移動　・　行う(図示)　⊙　行わない　<2.3.1>
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管　・　行う　⊙　行わない
養生の方法
保管場所
⑥．仮設間仕切り　⊙　設ける(図示)　<2.3.2><表2.3.1>
・　Ａ種　・　Ｂ種　※　Ｃ種
⑦．監督職員事務所　※　設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）　<2.4.1>
・　設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同様　・可　・否）
備品（
⑧．工事用水　構内既存の施設　⊙　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない
⑨．工事用電力　構内既存の施設　⊙　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない
※　溶接などの消費電力の大きな機器を除く
⑩．工事用通路　※　指定しない　・　指定する（図示）

3　防水改修工事

1．アスファルト防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.3.3><表3.1.1><表3.3.3～10>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※３種　<3.2.2>
脱気装置　・　設ける　・設けない　<3.3.3>
種　類　・　平面部脱気型　・　立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
2．伸縮調整目地　<3.3.2><3.3.5>
※　成型伸縮目地（天端　ＥＰＴゴム，サイド　ブチルゴム製）
3．改質アスファルトシート防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.4.3><表3.4.1～2>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
・			※　カラー
・			・　シルバー
・			

脱気装置　・　設ける　・設けない　<3.4.3>
種　類　・　平面部脱気型　・　立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
4．合成高分子系ルーフィングシート防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.5.3><表3.1.1><表3.5.1>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
・			※　カラー
・			・　シルバー
・			

脱気装置　・　設ける　・設けない　<3.5.3>
種　類　・　平面部脱気型　・　立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
5．塗膜防水　改修工法の種別　<3.1.4><3.6.3><表3.1.1><表3.6.1>

新規防水層の種別	改修工法の種類	施工箇所	仕上塗料
・			※　カラー
・			・　シルバー
・			

脱気装置　・　設ける　・設けない　<3.6.3>
種　類　・　平面部脱気型　・　立ち上がり部脱気型
施工業者　防水層製品の製造所又はその指定業者とする。
6．シーリング材料の種別及び施工箇所　<3.7.2><表3.7.1>
※　被着体に応じたものとし、<表3.7.1>を標準とする。
・　<表3.7.1>によらない箇所及びシーリング材料

<表3.7.1>によらない箇所	シーリング材料

7．シーリング改修工法　改修工法の種別　<3.1.4><3.7.4～8><表3.1.2>

改修工法の種類	施工箇所
・　シーリング充てん工法	
・　シーリング再充てん工法	
・　拡幅シーリング充てん工法	
・　ブリッジ工法（　）	

8．とい　<3.8.2><表3.8.1><表3.8.3～4>

材種	防露
・　配管用鋼管（ＳＧＰ）	※　<表3.8.3～4>により行う
・　硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	
・	

特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。
銅管製といの防露巻き　<3.8.3><表3.8.4>
※　<表3.8.4>による。
・

特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	特記仕様書（１）	S=1/___ S=1/ S=1/	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事				一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久					A／01

<図面サイズ：A2>

3 防水改修工事

9．ルーフドレイン

※ 鋳鉄製　・ 塩ビ製（専用品）　<3.8.3(h)><表3.8.1>
※ 縦型　・ 横型

10．アルミニウム製笠木

部材の種類　<3.9.2><表3.9.1>
・ 押出　２５０形　・ 押出　３００形　・ 押出　３５０形
・ 板材折曲げ形
付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。

表面処理　<3.9.2><表5.2.2>
※ Ｂ－１種　・ Ｂ－２種

11．防水保証

アスファルト防水，改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は，引渡しの日から10年間とし，施工業者との連名の保証書を提出する。
塗膜防水については，メーカー・防水業者が通常定めている期間として，作成し提出する。

4 外壁改修工事

1．ひび割れ部改修

・ コンクリート打放し仕上げ　<4.3.4><4.3.6>

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(m)
※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	０.２未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	０.２～０.３未満 ０.３～０.５未満 ０.５～１.０未満	
※ Ｕカットシール材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	０.２～０.３未満 ０.３～０.５未満 ０.５～１.０未満	
	・ シーリング材ＰＵ－２ ・ 可とう性エポキシ樹脂	１.０～１.５未満 １.５～２.０未満 ～　未満	

・ モルタル塗り仕上げ　<4.4.5><4.5.7>

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(m)
※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	０.２未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	０.２～０.３未満 ０.３～０.５未満 ０.５～１.０未満	
※ Ｕカットシール材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	０.２～０.３未満 ０.３～０.５未満 ０.５～１.０未満	(図示)
	・ シーリング材ＰＵ－２ ・ 可とう性エポキシ樹脂	１.０～１.５未満 １.５～２.０未満 ～　未満	

・ タイル張り仕上げ　<4.5.5～8><4.5.16>

工法	材料	ひび割れの幅(mm)	延べ長さ(m)
※ シール工法	※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	０.２未満	
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	０.２～０.３未満 ０.３～０.５未満 ０.５～１.０未満	(図示)
※ タイル貼り除去後・Ｕカットシール材充てん工法 ・樹脂注入工法の上タイル張替え工法	※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シーリング材ＰＵ－２ ・ 可とう性エポキシ樹脂	０.２～０.３未満 ０.３～０.５未満 ０.５～１.０未満 １.０～１.５未満 １.５～２.０未満 ～　未満	
・ タイル部分張替え工法	・ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂		
・ 目地ひび割れ改修工法	※ 既製調合目地材		

・ 樹脂注入工法　<4.3.4(c)>

ひび割れの幅 (mm)	０.２～０.３未満	０.３～０.５未満	０.５～１.０以下
注入孔の間隔 (mm)	２００程度	３００程度	３００程度
注　入　量 (cc/m)			

コアの抜取り検査　・ 行う　※ 行わない　<4.3.4(f)>

2．欠損部改修

・ コンクリート打放し仕上げ　<4.3.7>

工法	材料	平均深さ(mm)	延べ面積(㎡)
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	２０～３０未満	
		３０～４０未満	
	ポリマーセメントモルタル	５～１０未満	
		１０～１５未満	
		１５～２０未満	

・ モルタル塗り仕上げ　<4.4.8～9>

工法	材料	平均深さ(mm)	延べ面積(㎡)
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	２０～３０未満	
		３０～４０未満	
	ポリマーセメントモルタル	５～１０未満	
		１０～１５未満	
		１５～２０未満	
・ モルタル塗替え工法	・<表4.4.1>による	２０程度 ﾗｽ下地２５程度	
	・ポリマーセメントモルタル		

・ タイル張り仕上げ　<4.5.7～8>

工法	材料	平均深さ(mm)	延べ面積(㎡)
※ タイル部分張替え工法	エポキシ樹脂モルタル	２０～３０未満	
		３０～４０未満	
	ポリマーセメントモルタル	１０～１５未満	
		１５～２０未満	
		～	
・ タイル張替え工法			

3．浮き部改修

・ モルタル塗り仕上げ　<4.4.4><4.4.8～15>

工法	1箇所の面積(㎡)	浮き代(mm)	アンカーピン(本/㎡) 一般部	アンカーピン(本/㎡) 指定部	注入口(箇/㎡) 一般部	注入口(箇/㎡) 指定部	延べ面積(㎡) 一般部	延べ面積(㎡) 指定部
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※16	・ ・ ・				
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※13	・ ・ ・	※12	・ ・ ・		(図示)
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を越える	※13	・ ・ ・	※12	・ ・ ・		
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※ 9	・ ・ ・				
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※ 9	・ ・ ・	※ 9	・ ・ ・		
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を越える	※ 9	・ ・ ・	※ 9	・ ・ ・		
・充てん工法	0.25未満							
・モルタル塗替え工法								

・ タイル張り仕上げ　<4.5.4><4.5.7～15>

工法	1箇所の面積(㎡)	浮き代(mm)	アンカーピン(本/㎡) 一般部	アンカーピン(本/㎡) 指定部	注入口(箇/㎡) 一般部	注入口(箇/㎡) 指定部	延べ面積(㎡) 一般部	延べ面積(㎡) 指定部
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※16	・ ・ ・				
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※13	・ ・ ・	※12	・ ・ ・		(図示)
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を越える	※13	・ ・ ・	※12	・ ・ ・		
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※ 9	・ ・ ・				
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※ 9	・ ・ ・	※ 9	・ ・ ・		
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	0.25以上	1.0を越える	※ 9	・ ・ ・	※ 9	・ ・ ・		
・タイル部分張替え工法	0.25未満							
・タイル張替え工法								

アンカーピンの材質　<4.2.2>
※ <4.2.2(e)(f)>による。
アンカーピン固定用エポキシ樹脂　<4.2.2(e)(f)>
※ JIS A6024のJIS表示認証製品　※硬質　高粘度形
注入用エポキシ樹脂
※ JIS A6024のJIS表示認証製品

4．タイル張り

タイルの種類　<4.5.8><6.16.3>

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ 陶器	きじ せっ器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 注文	再生材利用タイル	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

タイル張替え工法のタイル張り工法は、<表4.5.3>により、小口タイル以上二丁掛け以下は密着張りとする。

5．塗り仕上げ外壁

<4.1.4(d)><4.2.2(j)><表4.2.4～5>

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材E ・外装薄塗材Si(透湿性)	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・ゆず肌	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材E ・		※吹付け ・こて	
⊙複層仕上塗材	・複層塗材CE ※複層塗材E ・複層塗材RS ・複層塗材RE ・複層塗材Si ⊙防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS	⊙ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ⊙ローラー	溶剤 ※水系　・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ※アクリルシリコン系 (可とう形改修用塗材の場合) ・フッ素系
※可とう形改修用仕上塗材	※可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	※ゆず肌 ・さざ波	※吹付け ・ローラー	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状	・吹付け ・こて塗り	

仕上塗材の耐候性　※ 耐候形１種　(可とう形改修塗材の場合)
・ 耐候形２種
※ 耐候形３種　(可とう形改修塗材以外の場合)
※防水型複層塗材Ｅは、外壁材ﾒｰｶｰ推奨の「透湿性」を有するものとする。

6．壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理　<4.6.3>

塗膜の劣化部の除去工法	処理範囲
・ サンダー工法 ※ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法	※ 既存仕上面全体 ・ 図示 ・ 外壁タイル撤去あと

5 建具改修工事

①．一般事項

改修工法　<5.1.3>
・ かぶせ工法　⊙ 撤去工法
新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。

見本の作成等　<5.1.5>
製　作　※ 行わない　・ 行う（建具表による）
仮　組　※ 行わない　・ 行う（建具表による）

防犯建物部品　※ 使用しない　・ 使用する（建具表による）　<5.1.7>

②．アルミニウム製建具

外部に面する建具　<5.2.2><5.2.4><表5.3.2>

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
⊙ Ａ種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時に性能が確保できない場合は，１００）
・ Ｂ種	Ｓ－５			
・ Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	※１００　・

※　適用箇所は図示による

表面処理		
	外部に面する建具	※ Ｂ－１種　・ Ｂ－２種
	内部建具	※ Ｃ－１種　・ Ｃ－２種

Ｂ－２種，Ｃ－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
・ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３

断熱ドアセット，断熱サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３

耐震ドアセット，耐震サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級　・ Ｄ－１　・ Ｄ－２

③．網戸

使用方法による区分　※外部納まりの可動式　・内部納まりの開き式　⊙ 外部納まりの固定式　<5.2.3>

防虫網（線径0.25㎜　網目16-18メッシュ）
・ガラス繊維入り合成樹脂　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)　※合成樹脂

防鳥網
※ステンレス（SUS304）線径1.5㎜　ピッチ15㎜

④．鋼製建具

簡易気密型ドアセット　<5.3.2><5.3.4><表5.3.2>
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※ Ａ－３　・
水密性　※ Ｗ－１　・
⊙ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※ Ｓ－４　・ Ｓ－５

建具寸法が<5.3.4(a)>を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	<表16.3.2>に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			<表16.3.2>に同じ

標準型鋼製建具　※ 使用する　⊙ 使用しない　<5.3.6>

⑤．鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット　<5.4.2～4><表5.4.1>
※ 使用する(適用箇所は図示による)
気密性　※ Ａ－３　・
⊙ 使用しない

戸の鋼板　※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
⊙ カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具　※ 使用する　⊙ 使用しない　<5.4.6>

標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり　※ 鋼製　・ アルミ製

⑥．ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット　<5.5.2>
※ 使用する（適用範囲は図示とする）
気密性　※ Ａ－３　・
水密性　※ Ｗ－１　・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※ Ｓ－４　・ Ｓ－５

表面処理　・ ＨＬ　・　<5.5.4>
鋼板の曲げ加工　※ 普通曲げ　・ かど出し曲げ　<5.5.6>

⑦．木製建具

(16.6.2～4)
建具材の加工、組立時の含水率　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種
かまち戸の樹種　かまちは杉上小節程度　桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り　※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類　※ 戸ふすま　・ 在来型　・ チップ型

⑧．建具用金物

<5.6.2><表5.6.1>

金物の種類	型式	製造所
モノロック		
本締り付きモノロック		
シリンダー箱錠		
シリンダー本締り錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	内蔵型	
ピボットヒンジ		JIS表示認証製品
レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ　L=130程度	錠前類と同一製造所とする。

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー，シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。

マスターキーの作成　・ 要　⊙ 不要
・ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

9．自動ドア開閉装置

性能　・ スライディングドア　<5.7.2><表5.7.1～2>
・ スイングドア

センサーの種類　・ 光線式（反射）スイッチ　<5.7.3><表5.7.3>
・ マットスイッチ式
・ タッチスイッチ
※ 補助センサー併用
・

凍結防止装置　・ 要　※ 不要
全半開装置　※ 設ける（半開幅＝　）
・ 設けない

10．重量シャッター

<5.9.2><表5.9.1>

種類	シャッターケース	耐風圧性能	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 80 ・ 120 ・	※ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター ・ 外部用 ・ 内部用	※ 設ける ・	(JIS A 4705による強さの区分)	※ 上部電動式(手動併用)	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
・ 防煙シャッター				

11．軽量シャッター

<5.10.2～4><表5.10.1>

開閉形式	シャッターケース	耐風圧性能	スラットの形状	保護装置
※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用)	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 65 ・ 80 ・ (JIS A 4705による強さの区分)	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置(自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない

12．オーバーヘッドドア

<5.11.2～3>

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ バーチカル形	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 (JIS A4715による強さの区分)	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置　※ 設ける　・ 設けない

⑬．ガラス

<5.12.2><5.12.3><表5.12.1>
※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。
※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。
合わせガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅱ－１類　・ Ⅱ－２類　・ Ⅲ類
強化ガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅲ類
熱線吸収板ガラス
性能　・ １類　・ ２類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブラウン
複層ガラス
性能　・ １種　・ ２種
・ ３種（・ Ｕ３－１　・Ｕ３－２）
・ ４種　・ ５種
封止の加速耐久性による区分
・ Ⅰ類　・ Ⅱ類　・ Ⅲ類
熱線反射ガラス
日射遮へい性　・ １種　・ ２種　・ ３種
耐久性　・ Ａ類　・ Ｂ類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ
・ シルバー
反射皮膜　・ 内側　・ 外側
映像調整　・ 行う　・ 行わない
ガラスの留め材
※ シーリング　・ ガスケット（可動アルミ建具に限る）
防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。
ガラスの溝幅については、<表5.12.1>による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

特記事項

一級建築士事務所
株式会社　山本設計事務所
ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)

工事名称
平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事

図面名称　特記仕様書（２）　S＝1/---　S＝1/　S＝1/

管理建築士：一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久
承認印 / 検印 / 係員 / 作図 / 図面番号：A／02

<図面サイズ：A2>

5 建具改修工事

14. ガラスブロック(中空) <5.12.5>

表面形状(JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分(長さ×高さ)	厚さによる区分
正方形	・ １２５×１２５　・ １６０×１６０ ・ ２００×２００　・ ３２０×３２０	・ ８０ ・ ９５
長方形	・ ２５０×１２５　・ ３２０×１６０	・ １２５

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白ガラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製(表面処理　　) ・ ステンレス製(表面仕上　　)	・ 規定しない ・ 有(　　分間)

6 内装改修工事

①. 改修範囲 <6.1.3>
既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側６００mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
・ 図示の範囲

２. 既存床の撤去・下地補修 <6.2.2(a)>
合成樹脂塗床の除去方法
・ 目荒工法　　・ 機械的除去工法

③. 改修後の床の清掃範囲 <6.2.2(c)>
・ 当該室全体　　・ 図示の範囲

４. 既存壁の撤去・下地補修 <6.3.2(a)>
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修方法
※ <4.4.9>による　・ (　　)

⑤. 木材 <6.5.1(c)>
表面仕上げの程度　・ A種　※ B種　・ C種

含水率　構造材　※ A種　・ B種 <6.5.2(a)><表6.5.2>
下地材　※ A種　・ B種
造作材　※ A種　・ B種

造作材の材面の品質　※ A種　・ B種 <6.5.2(a)><表6.5.3>

<表6.5.4>
代用樹種を使用しない箇所
※ なし　・ あり(　　)

⑥. 集成材 <6.5.2>
造作用集成材は<6.5.2(b)(ii)>による。

等級	見掛かり	その他
	※ １等　・ ２等	※ １等　・ ２等
単材の樹種		
単材の厚さ(mm)	１０～１５	１０～１５

７. 木材保存剤 <6.5.2>
木材の防腐・防蟻処理は，非有機リン系のものとする。
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし十分に乾燥を行う。ただし，現場における加工が生じた場合には，加工した箇所に対し，現場にて木材保存剤を塗布する。

⑧. 軽量鉄骨天井下地材 <6.6.2><表6.6.1>
野縁などの種類
屋内　※ １９型　・ ２５型
屋外　・ １９型　※ ２５型

<6.6.4(a)>
インサート
⊙ 既存インサートを使用する　・ あと施工アンカーを設ける

<6.6.4(a)>
あと施工アンカーの引抜き試験
・ 行う　※ 行わない

<6.6.4(i)>
耐震性を考慮した補強
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

<6.6.4(k)>
耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等）
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）

⑨. 軽量鉄骨壁下地材 <6.7.3><表6.7.1>
スタッド，ランナーなどの種類は<表6.7.1>による。

10. 体育館の鋼製床下地 ※ JIS A 6519のJIS表示認証製品

⑪. ビニル床シート張り <6.8.2><6.8.3>
JIS A5705のJIS表示認証製品

種類	記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ＮＣ ・	※無地 ⊙マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・耐荷重	※熱溶接 ・突付け
・ 発泡層のあるもの	・	・	・	・	・

⑫. ビニル床タイル張り <6.8.2>
JIS A5705のJIS表示認証製品

種類	記号	寸法	厚さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	※ ＣＴ（半硬質） ・ ＣＴＳ（軟質）	※ 300×300 ・	※ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動加重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・ ＨＴ	・ 300×300 ・ 450×450	・ 2.0 ・	・帯電防止 ・耐動加重

13. ビニル床タイル・ビニル床シートの特殊機能
帯電防止
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）1.2～3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kv以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）3.2～5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1445）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満

耐動加重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

14. 視覚障害者用床タイル <6.8.2>

材質	寸法(mm)
・ 塩化ビニル系　・ せっ器質タイル系	３００×３００

⑮. ビニル幅木 <6.8.2>
材種　※ 軟質　・ 硬質　・ 溶接
高さ(mm)　・ ６０　※ ７５　・ １００
厚さ(mm)　・ １．５　※ ２．０

16. カーペット敷き
・ タフテッドカーペット <6.9.3～4><表6.9.1>

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質	帯電性
	・	・	※全面接着工法 ・グリッパー工法		・<6.9.3(c)>による

・ タイルカーペット <6.9.3～4><表6.9.1>

施工箇所	種類	パイル形状	工法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※全面接着工法 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

17. フローリング張り
・ 単層フローリング <6.11.2～7><表6.11.1～4>

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード	※ナラ ・	※１５ 幅 ７５ ・ 長さ500以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り
・ フローリングブロック	※ナラ ・	※１５ 303×303 ・	・モルタル埋込み工法	・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・ モザイクパーケット	※ナラ ・	・６　・８　・９ ・		
・	・	・		

・複層フローリング

種別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合１種フローリング	※ナラ ・サクラ ・ヒノキ ・	・Ａ種 ・Ｂ種 ※Ｃ種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステン塗りの上ワックス ・生地のままワックス ・既塗装品
・ 複合２種フローリング					
・ 複合３種フローリング					
・ 大型積層フローリング	・ナラ ・サクラ ・	・	・行う ・行わない	・特殊張り工法(体育館床)	

18. 畳敷き <6.12.2><表6.12.1>
畳の種別　・ A種　・ B種
※ C種　・ D種

19. 石こうボード その他ボード張り <6.13.2～3><表6.13.1><表6.13.5>

種類又は記号	種別など	厚さ(mm)	規格番号
けい酸カルシウム板(繊維強化セメント板)0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁 ・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430(タイプ2)
		天井 ⊙ 6(不燃) ・ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード(吸音材料) ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品	25(不燃)	JIS A 6301(32K)
ロックウール化粧吸音板(吸音材料) ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通 ※ 9(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様 ・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	
せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｒ		壁 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｓ		壁 ⊙12.5(不燃) ⊙ 9.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色 ※白・黄	9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード(せっこうボード製品) ＧＢ－Ｄ	木目模様	壁 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
	木目模様(裏桟付き) 特殊模様	天井 ・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理　・ 継目処理工法　⊙ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法　・ 目透し工法

20. 遮音シール材 ・アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド <6.13.2>

21. 壁紙張り <6.14.2>

施工箇所	品質	防火性能の級別

22. タイル張り <6.16.3>
タイルの種類

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ			うわ薬		役物		色		再生材利用	備考
		磁器	せっ器	陶器	無釉	施釉	ありな	し	標準	注文		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・		

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う

内装タイルの工法 <6.16.5><表6.16.5>
・ 積上げ張り　施工箇所(　　)
・ 接着剤張り　施工箇所(　　)

23. セルフレベリング材塗り
種別　・ 石こう系　・ セメント系 <6.17.2～3>
塗厚　※ 10mm　・

7 塗装改修工事

①. 防火材料 <7.1.3>
※ 屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。　(　　)

②. 錆止め塗料塗り <7.3.2～3><表7.2.2～3><表7.3.1～4>

下地	種別	下地調整	塗装種別	塗料種別
鉄鋼面	新規	※RA種 ・RB種 ・RC種	※A種(見え掛かり) ※B種(見え隠れ)	※A種 ※B種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ・B種 ※C種	<塗の場合>
亜鉛めっき鋼面	新規建具	・RA種 ・RB種 ※RC種	※A種 ・B種 ・C種	※A種・B種
	新規	※RA種 ・RB種 ・RC種	・A種 ・B種 ※C種	※C種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ・B種 ※C種	<塗の場合>

③. 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ） <7.2.2><7.4.2～5><表7.2.1～3><表7.4.1～3>

下地	種別	下地調整	塗装種別	塗料種別
木部	新規	・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種(外部) ※B種(内部) ・C種	※1種 ・2種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種	
鉄鋼面	新規	※RA種 ・RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種	※1種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種	・2種
亜鉛めっき鋼面	建具塗替	・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種	※1種
	新規	※RA種 ・RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種	・2種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種	

④. 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ） <7.2.5～7><7.10.2><表7.2.4～7><表7.10.1>

下地	種別	下地調整	塗装種別	塗料種別
コンクリート面	新規	※RA種 ・RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種	※1種
	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種	
ＡＬＣパネル面				
押出成形セメント板面				
モルタル面	新規	・RA種 ※RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種	※1種
プラスター面	塗替え	・RA種 ※RB種 ・RC種	・A種 ※B種 ・C種	
石こうボード	新規	※RA種 ・RB種 ・RC種	※A種 ・B種 ・C種	※1種
その他の	塗替え	※RA種(継目処理工法)	・A種 ※B種 ・C種	
ボード等の面		※RB種(その他)・RC種		

8 アスベスト含有建材の処理工事

①. 一般事項
石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。

<9.1.1(d)>
施工調査
・ 行わない。
※ 行う　(調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。
調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)
調査箇所　※ 図示　⊙ 改修対象範囲内の仕上材等
調査事項
※ アスベスト含有建材等の使用部位
※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ
※ 施工範囲と工事範囲区分
※ 廃棄物などの搬出方法
・
・

<9.1.1(d)>
アスベスト含有分析
⊙ 行わない
・ 行う（分析結果は監督職員に提出する。）
分析方法　※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

材料名	定性分析	定量分析
	・(試料数：　)	・(試料数：　)
	・(試料数：　)	・(試料数：　)
	・(試料数：　)	・(試料数：　)
	・(試料数：　)	・(試料数：　)

②. 除去工事共通事項

<9.1.2(a)>
専門工事業者
アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。

<9.1.2(b)>
作業主任者の選出
石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。

<9.1.2(c)>
除去作業者の教育
作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。
また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。

<9.1.2(d)>
特別管理産業廃棄物管理責任者の選出
排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。
ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。

<9.1.2(f)>
表示及び掲示
更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。
※ アスベスト作業主任者名と職務内容
※ 関係者以外立入禁止
※ 喫煙・飲食の禁止
※ 「アスベスト除去作業中」の表示
※ アスベストの有害性
※ 取り扱い上の注意事項
※ 使用すべき保護具

アスベスト粉じん濃度測定
⊙ 行わない。　<9.1.1(e)>
※ 行う（測定する時期・場所等は下表による）
「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部－：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	室名等
・	測定１	処理作業前	処理作業室内(注１)	※２点　・　点 ※２点　・　点 ※２点　・　点 ※２点　・　点	
・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	※２点　・　点 ※２点　・　点	
・	測定３	処理作業中	処理作業室内(注１)	※２点　・　点 ※２点　・　点 ※２点　・　点 ※２点　・　点	
・	測定４		セキュリティゾーン入口(空気の流れを確認)	※１点　・　点 ※１点　・　点 ※１点　・　点	
・	測定５		負圧・粉じん装置の排出吹出口(除じん装置の性能確認)	※１点　・　点 ※１点　・　点 ※１点　・　点	
・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	※２点　・　点 ※２点　・　点	
・	測定７	処理作業後シート撤去前	処理作業室内	※２点　・　点 ※２点　・　点 ※２点　・　点 ※２点　・　点	
・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	※２点　・　点 ※２点　・　点	
・	測定９	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	※２点　・　点 ※２点　・　点 ※２点　・　点 ※２点　・　点	
		測定点総計		点	

注１：周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。

（例）アスベスト粉じん濃度測定方法

	測点３	測点１，２，４，６，７，８	測点５
数計機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	２５mm		４７mm
試料の吸引流量	１Ｌ／min	５Ｌ／min	１０Ｌ／min
試料の吸引時間	5min	１２０min	２４０min
試料の透明化	アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法		
計数条件	総合倍率４００倍、アスベスト繊維総数、通常５０視野		
計数アスベスト	幅３μm未満、長さ５μm以上、アスペクト比（長さ／幅）３以上		
定量限界	５０本／Ｌ	０．４７本／Ｌ	０．３本／Ｌ

記録する項目
ア．測定結果
イ．測定時間
ウ．測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）
エ．サンプリング条件
（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ．マウンティング法
カ．顕微鏡視野面積、計数視野数
キ．測定時（各測定場所ごと）の
天候、温度、湿度、外気の風速及び風量

<9.1.1(e)>
測定機関
都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関

施工記録報告書の提出
１．施工計画書
２．工事記録及び工事写真
３．産業廃棄物処理記録（廃石綿）
４．施工調査等記録（条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等）
５．作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録
６．その他必要事項

提出部数　３部作成

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 山本設計事務所
ＴＥＬ 仙台（022）233-6028（代）

工事名称：平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事

図面名称：特記仕様書（３）　S＝1／---　S＝1／　S＝1／

管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久		斎藤		斎藤	A／03

<図面サイズ：A2>

8-1 環境配慮含有建材の処理工事（アスベスト含有吹付け材の処理工事）

周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。
※「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ（労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等）」

保護具、保護衣 <9.1.2(g)>
作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。

除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 <9.1.3(c)><9.1.4(c)><9.1.5(C)>
※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管
※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形版を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。

3．アスベスト含有吹付け材の除去工事

アスベスト含有吹き付け材の除去工事 <9.1.3(b)>
・ 行う （適用範囲 ・図示 ・ ）
・ 行わない

作業場等の隔離等 <9.1.3(a)>
※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。

隔離シートの性能

※ 床面	※ 0.15㎜以上のプラスチックシート等で二重
※ 壁面	※ 0.08㎜以上のプラスチックシート等

ただし、（財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。

セキュリティーゾーンの設置 <9.1.3(a)>
※ 下表による

適用	室名	状態	
※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備 ・
※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー（温水シャワー） ・
※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご

ただし、（財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。

除去物及び汚染等の処理方法 <9.1.3(b)>
※ 密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。
・ セメント固化

4．アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の除去工事 <9.1.4(b)>
・ 行う （適用範囲 ・図示 ・ ）
・ 行わない

養生等 <9.1.4(a)>
※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。

掻き落とし、破砕、切断による除去方法
※ 行わない
・ 行う（<9.1.3>「アスベスト含有吹き付け材の除去」による）

除去工法 <9.1.4(b)>
※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。
※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。

5．アスベスト含有成形板の処理

アスベスト含有成形板の除去工事 <9.1.5(b)>
・ 行う （適用範囲 ・図示 ・ ）
・ 行わない

養生 <9.1.5(a)>
※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。

除去工法 <9.1.5(b)>
※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

8-2 環境配慮改修工事（断熱材）

1．断熱材

断熱材の打込み及び現場発泡工法 <9.5.2～3>

種類		箇所	厚さ(㎜)	備考
※ ポリスチレンフォーム（発泡プラスチック保温材）	・A種ビーズ法2種b ※A種押出法2種b	下記以外	※ 25 ・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
	※A種押出法3種b（スキン層付き） ・	接地部分及び屋根防水部分ビット内部		
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ・	・		
・ フェノールフォーム保温材	※A種 ・	・	・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 ・	JIS A 9526による難燃性 ・2級 ※3級
・	・	・	・	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。

9 土工事

①．埋戻し及び盛土の種別

・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (3.2.3)(表3.2.1)
C種の場合 建設発生土受入れ量 ㎥
発生場所
受入条件

2．建設発生土の処理

・ 構外に搬出し適切に処理する。
・ 構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・住所（㎞）
・ 構内指示の場所に敷きならす。
・ 構内指示の場所にたい積する。

10 地業工事

1．既製コンクリート杭・鋼杭事業

杭の種類 (4.3.2)(4.4.2)
・ プレストレストコンクリート杭（JIS表示承認製品）
・A種 ・B種 ・C種
・

(4.3.2)

	記号	杭径（㎜）	長さ(m)及び種別	設計支持力	セット数	備考
試験杭	⊗					
本杭	○					

継手 ※ アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手 (4.3.6)(4.4.5)
・

先端部形状 ・閉塞平坦型 ・開放型 (4.3.2)(4.4.2)(表4.4.2)(図4.4.1)

杭の施工法
・ 掘削打撃併用工法 プレボーリングの掘削深さ (4.3.3)(4.4.3)
杭先端予定レベルの上方 mのレベルまで
オーガー径 杭径－５０㎜程度
・ セメントミルク工法 (4.3.4)(4.4.3)
・ 特定埋込杭工法 (4.3.5)(4.4.4)
（旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法）

杭打機の種類
ハンマーの種別 ※ 油圧パイルハンマー ・ ドロップハンマー
パイルドライバー ※ 三点支持式クローラークレーン

騒音・振動の測定 ・ 行う ※ 行わない

2．場所打ちコンクリート杭地業

コンクリートの種別 ・ A種 ・ B種 (4.5.3)(表4.5.1)
掘削工法 ・ アースドリル工法 ※ 安定液使用 (4.5.4)
・ リバース工法
・ オールケーシング工法
孔内の水張り ※ 行う ・ 行わない

3．地盤改良

工法（・ ）

④．床下防湿層

(4.6.5)
※ 設ける 地中梁がある場合は、250㎜のみ込みとする。
・ 設けない

⑤．土間スラブ（土間コン）下断熱材

※ 設ける A種ポリスチレンフォーム３種b 厚25㎜＋砂30㎜敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図（図7-01-1）による。
⊙ 設けない

⑥．砂利地業

※ 再生クラッシャラン ・ （ ）(4.6.2～3)

11 鉄筋工事

①．鉄筋の種別

(5.2.1)(表5.2.1)

規格名称	種類の記号	径（㎜）
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ SD295A	※ D16以下
	※ SD345	※ D19以上

2．溶接金網

※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 (5.2.2)
線径(㎜) 6.0 × 網目(㎜) 100
使用箇所（ ）

③．鉄筋の継手

接合方法	径(㎜)	施工箇所
※ 重ね継手	D16以下	(5.3.4)
※ ガス圧接	D19以上	はり 柱の主筋

4．耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ

施工箇所等	表5.3.5の値に加える寸法(㎜)

(5.3.5)

⑤．各部配筋

各部の配筋は，図示による。図示がなければ，標準仕様書 末尾資料の「各部配筋 参考図」による。 (5.3.7)

6．柱の帯筋

※ H形 ・ W－１形 ・SP形 (参考図 図2.2)

7．耐震壁を除く壁の開口部補強

・ A形 ※ B形 (参考図 表4.3～4.4)

8．はり貫通孔の補強

補強形式 ※H３形以上 ・M型 ・MH型 (参考図 表7.1～7.3)

9．圧接完了後の抜取試験

試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験 (5.4.9)

12 コンクリート工事

①．設計基準強度

普通コンクリート（JIS A5308のJIS表示認証製品） (6.1.4)

Fc（N/㎟）	適用箇所
・ 24	
※ 21	
⊙ 18	土間コンクリート、スラブ穴塞ぎ用コンクリート

②．レディーミクスコンクリート

種別 ※ Ⅰ類 ・ Ⅱ類 (6.1.5)(表6.1.1)
・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ)
（アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験）
・コンクリート単位水量測定を実施する。

③．スランプ

基礎，基礎梁，土間スラブ ※ １５㎝ ⊙ １８㎝ (6.2.3)(表6.2.1)
柱，梁，スラブ，壁 ※ １８㎝

4．打放し仕上げの種類

(6.2.5)(表6.2.3)

種別	施工箇所
・ A 種	
※ B 種	
・ C 種	

⑤．セメントの

※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.2)

⑥．型枠

(6.9.3)

せき板の種類	板厚(㎜)	適用箇所	備考
※ 合板	※ １２ ・		・宮城県グリーン製品
・ 床型枠用鋼製デッキプレート			
・ 断熱材兼用型枠			

MCR工法用シート ※ 適用しない ・ 適用する

・ ひび割れ誘発目地 (6.9.2)
目地寸法 ※ 図示
位置 ※ 図示

7．軽量コンクリート

(6.11.1)(表6.11.1)

種別	適用箇所	所要気乾単位容積質量（t／m3）

8．寒中コンクリート

(6.12.2～4)
適用期間 コンクリート圧縮強度が５N/㎟に達するまで行うこと。

9．無筋コンクリート

適用箇所は(6.14.1)による他、下記による。 (6.14.1)

適用範囲

10．流動化コンクリート

(6.16.1)(6.16.3)

種別	ベースコンクリートのスランプ(㎝)	流動化コンクリートのスランプ(㎝)	使用箇所
普通コンクリート	・１０ ・１２ ・１５	・１８ ・２１	

13 鉄骨工事

①．鉄骨の製作工場

(7.1.3)
※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場
・ S ・ H ・ M ・ R ・ J
⊙ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

②．施工管理技術者

※ 適用する ⊙ 適用しない (7.1.3)

③．鋼材の種別

(7.2.1)(表7.2.1)

材質	規格
⊙SS400 ⊙SSC400 ・STK400 ・STKR400	JIS表示認証製品
・SN400B,C ・SN490B,C ・SM400 ・SM490	

4．高力ボルト

(7.2.2)
※ トルシア形高力ボルト セットの種類 ※ ２種(S10T) ・
・ ＪＩＳ形高力ボルト セットの種類 ※ ２種(F10T) ・
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト セットの種類 ※１種(F8T相当) ・

5．溶接部の試験

完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。 (7.6.11)

溶接の区分	AQQL(%)	検査水準	備考
工場溶接	・2.5 ※4.0	※６ ・	
現場溶接			

⑥．錆止め塗装

※ 適用する (7.8.3)(7.8.4)(表18.3.2)(表18.3.3)
(標準仕様書18章3節による)
・ 適用しない

7．耐火被覆

(7.9.2)(7.9.4～7)

種別	材料及び工法製造所	備考
・ラス張モルタル	標準仕様書15章2節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	※半乾式 ・湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8．アンカーボルトの保持及び埋込み工法

(7.2.4)(7.10.3) (表7.10.1)

種別	適用箇所
・ A 種	
※ B 種	
・ C 種	

9．柱底均しモルタル

(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種別	適用箇所	柱底均しモルタル
※ A 種		※無収縮モルタル
・ B 種		※無収縮モルタル

10．溶融亜鉛めっき

(7.12.3)(14.2.3)

亜鉛めっき	適用箇所
※ A 種	

14 コンクリートブロック・ALC・パネル・押出成形セメント板工事

1．コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類 (8.3.2)(表8.3.1)
※ 空洞ブロック 16 ・
（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。）

15 舗装工事

1．再生材

※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)

2．盛土材料

路床の盛土材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (22.2.3)

3．遮断層及び凍上抑制層用材料

遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂 (22.2.3)
凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4．路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験

※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土） (22.2.5)

5．路床締固め度の試験

※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

6．路盤材料

(22.3.3)(表22.3.3)
※ 再生クラッシャラン ＲＣ－４０（透水性舗装の場合を除く）
・ クラッシャラン Ｃ－４０
・ クラッシャランスラグ ＣＳ－４０

7．アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

表層	※	再生密粒度アスファルト混合物（１３）
	・	密粒度アスファルト混合物（１３）
	・	細粒度アスファルト混合物（１３）
	・	
基層	※	再生粗粒度アスファルト混合物（２０）
	・	粗粒度アスファルト混合物（２０）
	・	

アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)

8．コンクリート舗装

早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない (22.5.3)
溶接金網 ※ あり ・ なし

9．ブロック系舗装

・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 (22.9.2)(表22.9.1)
・ モルタル目地
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石舗装 基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

10．縁石及び側溝

地業の材料 ・再生クラッシャラン (22.10.2)

11．砂利敷き

・ A種(通路) ※ B種(建物周辺) (22.11.2)

12．区画線

※ ３種１号白 ・

16 ユニット及びその他の工事

1．可動間仕切（パーテーション）

構造形式による種類	スタッド式密閉形 (20.2.3)
構成材の種類	アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材	焼付塗装鋼板（標準色）ｔ＝０.５以上
遮音性	３６dB以上
防火性能	不燃

2．移動間仕切（スライディングドア）

パネルの操作方法による種類	規定しない (20.2.4)
パネル表面材の材質及び仕上げ	製造所仕様の化粧鋼板（標準色）ｔ＝０.５以上
パネル圧接装置の操作方法	ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性	３６dB以上
防火性能	不燃
取り付け用あと施工アンカー	材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

③．トイレブース

表面材	メラミン化粧板（標準色） (20.2.5)
幅木	ステンレス製 H＝６０
フレーム	アルミ製
扉	厚４０中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

4．階段滑り止め（ノンスリップ）

材種	ステンレス（ＳＵＳ３０４） (20.2.6)
	ビニールタイヤ入り（幅約35㎜）
取り付け方法	※ 接着工法 ・ 埋込み工法

⑤．床目地棒

ステンレスＦＢ（ＳＵＳ３０４） ｔ５～６×Ｈ１２ (20.2.7)
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

⑥．鏡

耐湿鏡 ｔ＝５ ステンレスフレーム付き (20.2.9)

⑦．表示

衝突防止表示 ステンレス製 ＨＬ仕上げ Φ３０程度 市販品 (20.2.10)
誘導標識 市販品
室名札 市販品

⑧．点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製	※ ４５０×４５０	※ 目地タイプ
		・ ６００×６００	・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製	・ ４５０×４５０	※ 一般型貼物用
		※ ６００×６００	・ 一般型充填用

9．視覚障害者用誘導ブロック

屋外 ※ コンクリート製
・ 磁器質タイル（※１００角 ・１５０角）

10．手すり

⑪．ステンレス流し台

※ ＢＬ商品（システム ※ Ａ－１型） トラップ付
・

⑫．コンロ台

※ ＢＬ商品（システム ※ Ａ－１型）バックガード（※有 ・無）

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 山本設計事務所
ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)

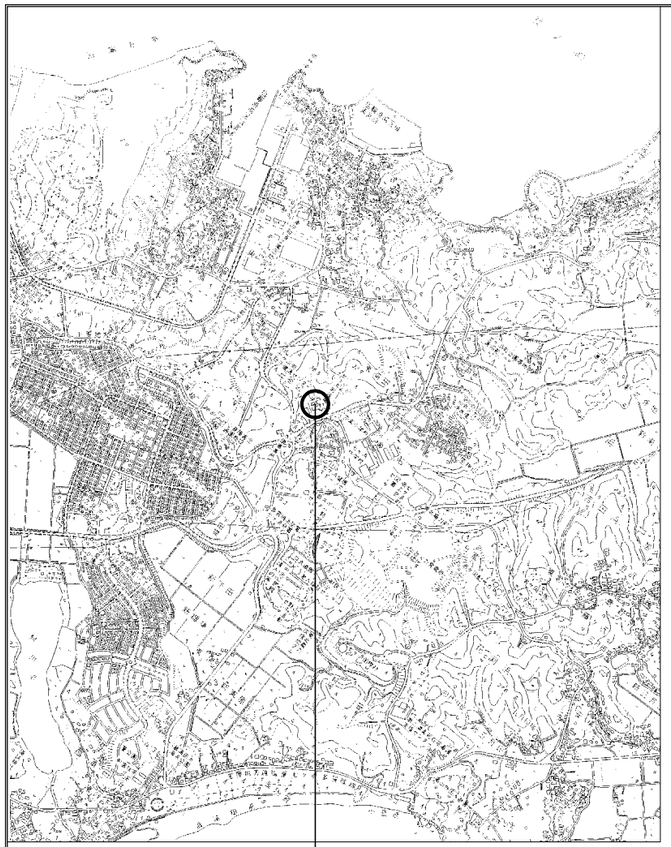
工事名称：平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事

図面名称：特記仕様書（４） S＝1/___ S＝1/ S＝1/

管理建築士：一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤 久

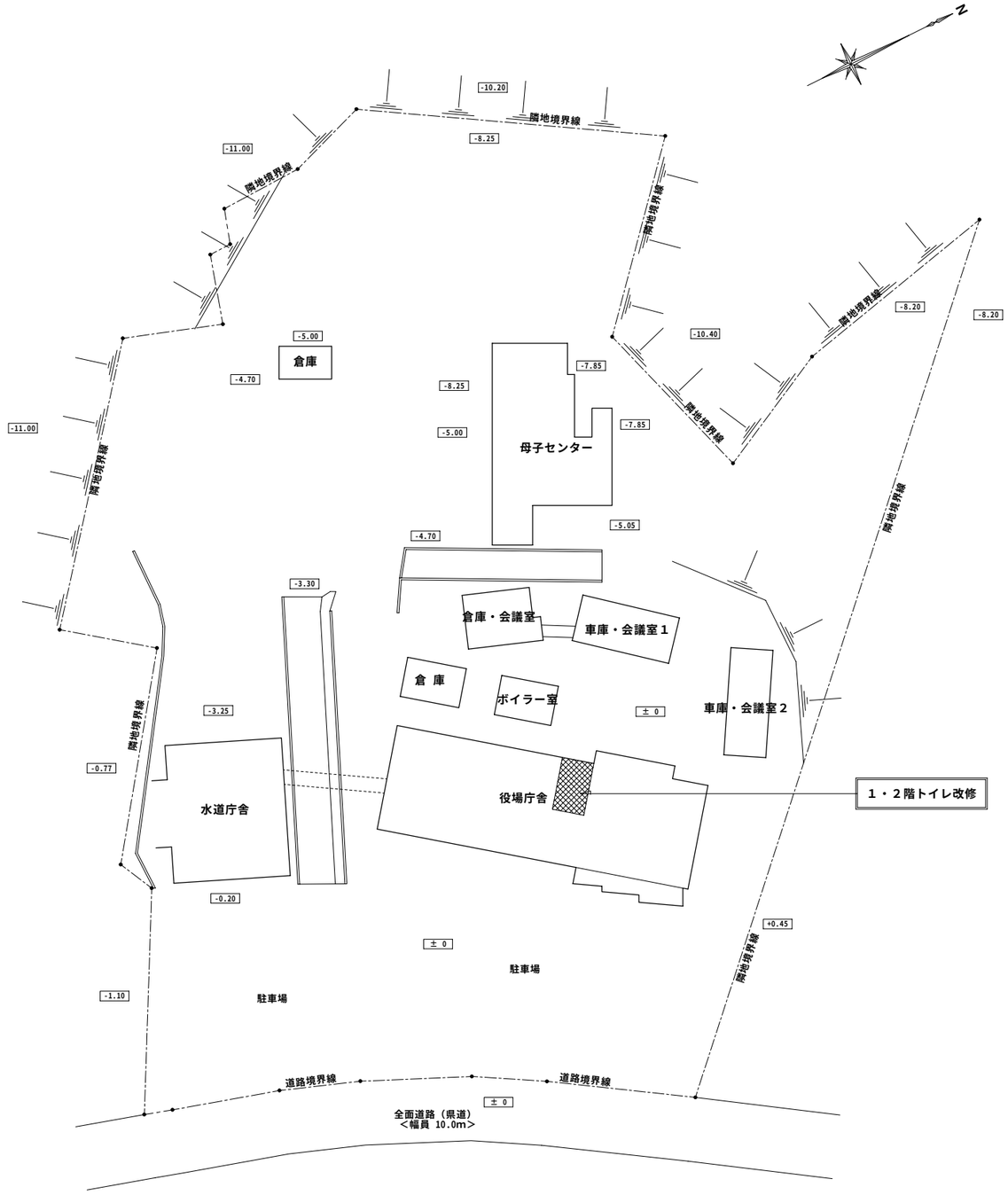
承認印	検印	係員	作図	図面番号
				A／04

図面サイズ：A2



工事場所：宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺５－１
＜七ヶ浜役場＞

案　内　図　　N.S



配　置　図　　1/600

特記事項	一級建築士事務所 株式会社　山本設計事務所 ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	案内図	S＝1/---	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事		配置図	S＝1/600	一級建築士登録 第173121号 斎藤　久					A/05
					S＝1/						

<図面サイズ：A2>

仮設用トイレの仕様等

・身障者用トイレ（簡易水洗式、引戸タイプ）
　屋根：ＦＲＰ製　　床：ＦＲＰ製（ノンスリップ）
　壁：断熱材入りＦＲＰ製サンドイッチパネル
　衛生器具：洋風便器（ロータンク）、手洗器、傾斜鏡
　　※参考：洗浄水用タンク内蔵（100Ｌ）、汚物タンク（450Ｌ）
　補助手すり：固定式アーム、Ｌ形アーム 各１ヶ所（洋便器用）
　付属品：紙巻器、荷物棚、換気扇（ｺﾝｾﾝﾄ用プラグ付）、照明カバー
　スロープ：ＦＲＰ製組立て式、手すり付（片側）

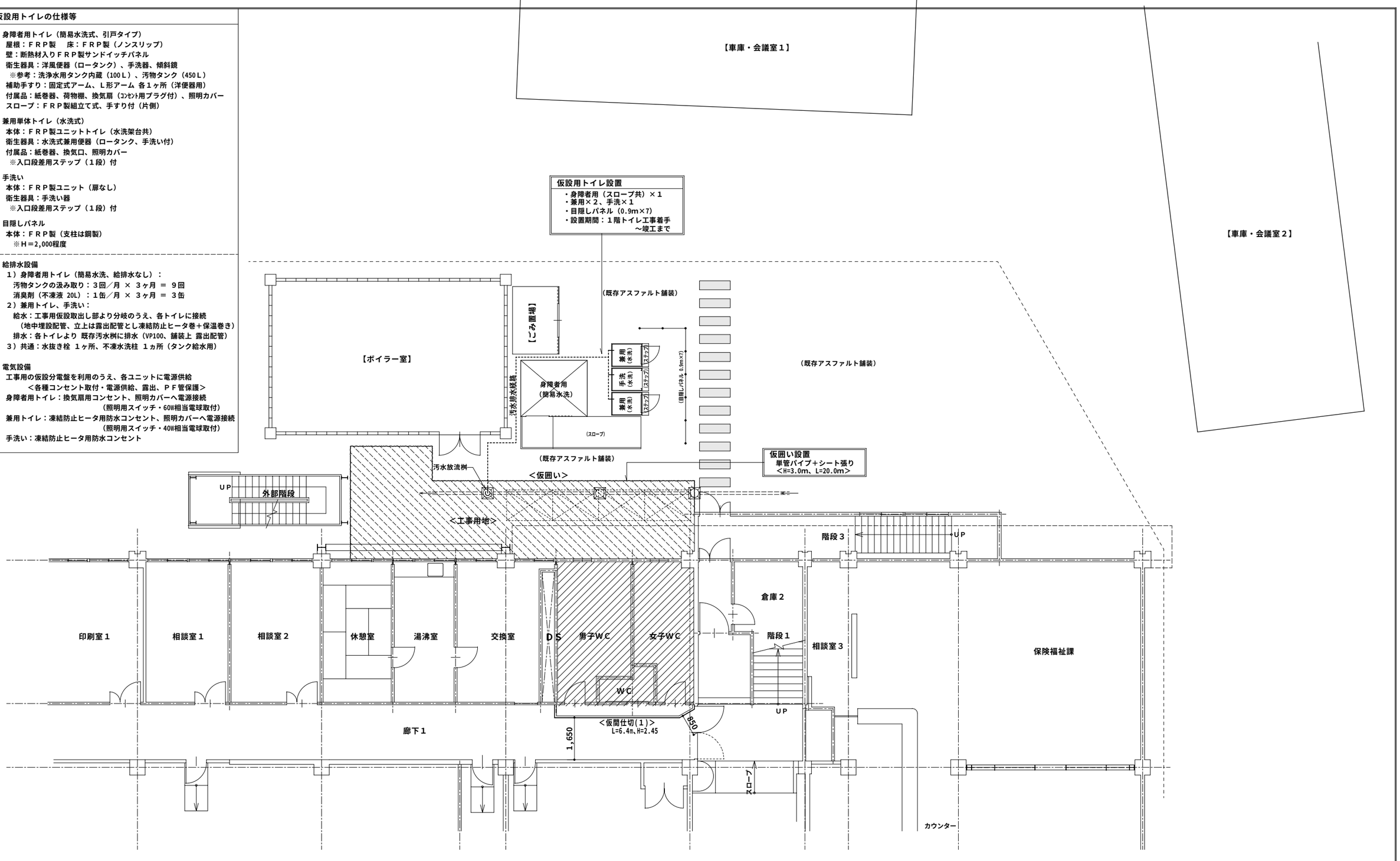
・兼用単体トイレ（水洗式）
　本体：ＦＲＰ製ユニットトイレ（水洗架台共）
　衛生器具：水洗式兼用便器（ロータンク、手洗い付）
　付属品：紙巻器、換気口、照明カバー
　　※入口段差用ステップ（１段）付

・手洗い
　本体：ＦＲＰ製ユニット（扉なし）
　衛生器具：手洗い器
　　※入口段差用ステップ（１段）付

・目隠しパネル
　本体：ＦＲＰ製（支柱は鋼製）
　　※Ｈ＝2,000程度

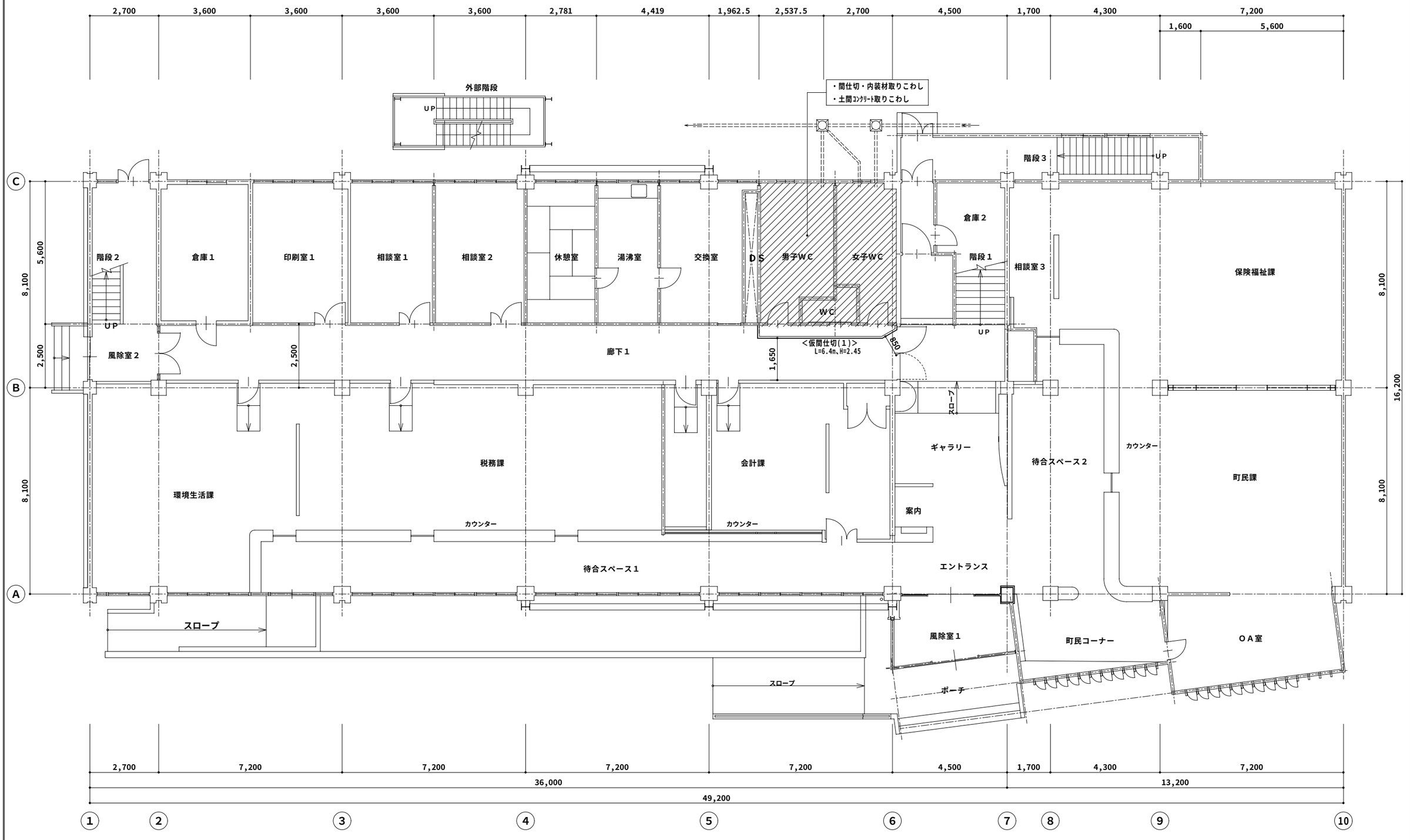
・給排水設備
　１）身障者用トイレ（簡易水洗、給排水なし）：
　　汚物タンクの汲み取り：３回／月 × ３ヶ月 ＝ ９回
　　消臭剤（不凍液 20L）：１缶／月 × ３ヶ月 ＝ ３缶
　２）兼用トイレ、手洗い：
　　給水：工事用仮設取出し部より分岐のうえ、各トイレに接続
　　（地中埋設配管、立上は露出配管とし凍結防止ヒータ巻＋保温巻き）
　　排水：各トイレより 既存汚水桝に排水（VP100、舗装上 露出配管）
　３）共通：水抜き栓 １ヶ所、不凍水洗柱 １ヵ所（タンク給水用）

・電気設備
　工事用の仮設分電盤を利用のうえ、各ユニットに電源供給
　　＜各種コンセント取付・電源供給、露出、ＰＦ管保護＞
　身障者用トイレ：換気扇用コンセント、照明カバーへ電源接続
　　（照明用スイッチ・60W相当電球取付）
　兼用トイレ：凍結防止ヒータ用防水コンセント、照明カバーへ電源接続
　　（照明用スイッチ・40W相当電球取付）
　手洗い：凍結防止ヒータ用防水コンセント



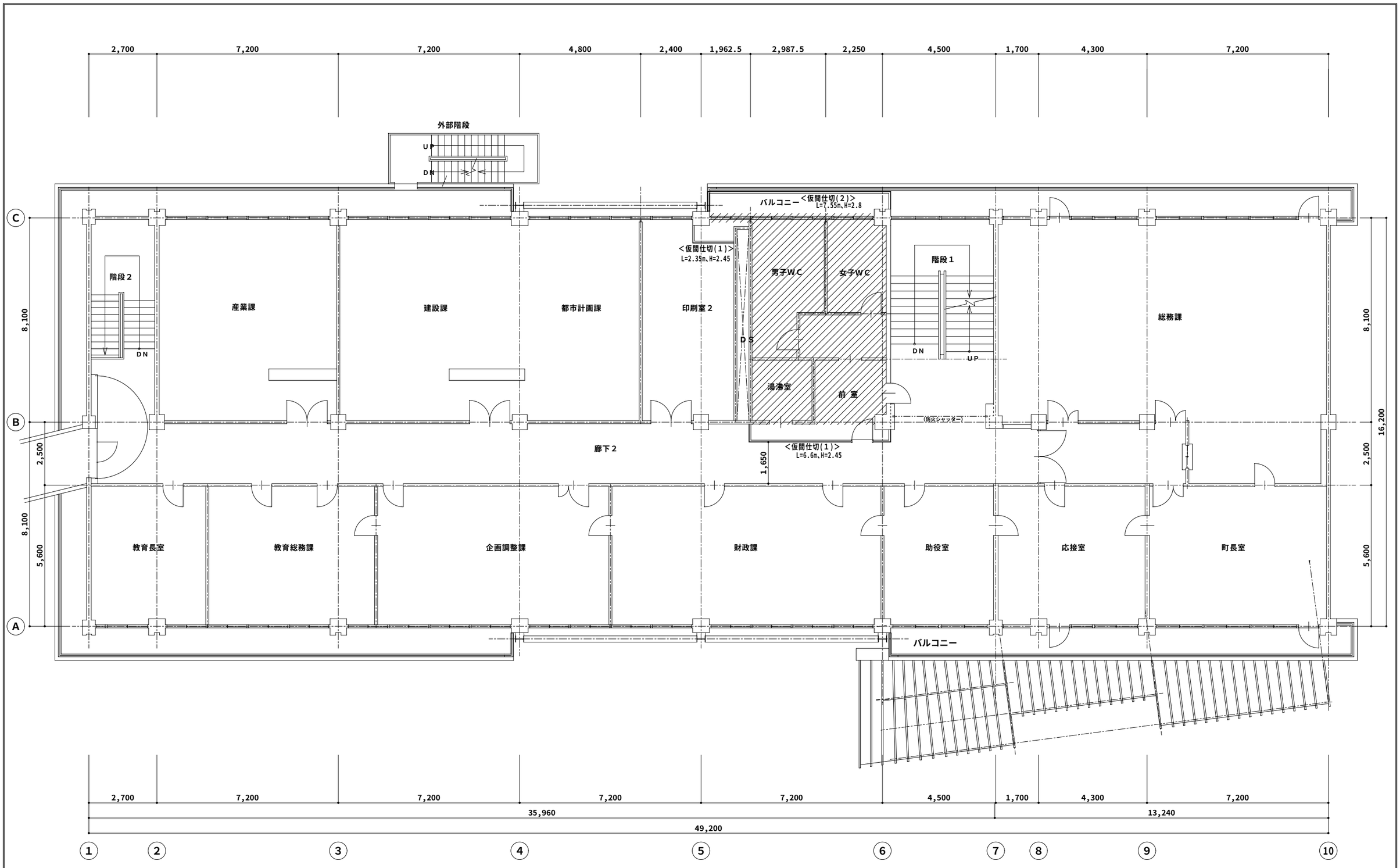
特記事項	一級建築士事務所	工事名称	図面名称	指定仮設図（屋外）	S=1/100	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
1．「仮間仕切(1)」：ＬＧＳ65 ＋ ＧＢ㋈12.5（片面）	株式会社 山本設計事務所	役場庁舎トイレ改修工事			S=1/	一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A/06
2．アスファルト舗装復旧は、下記による。	ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)				S=1/						
表層：再生密粒アスコン ㋈50、路盤：再生砕石 ㋈150											

<図面サイズ：A2>



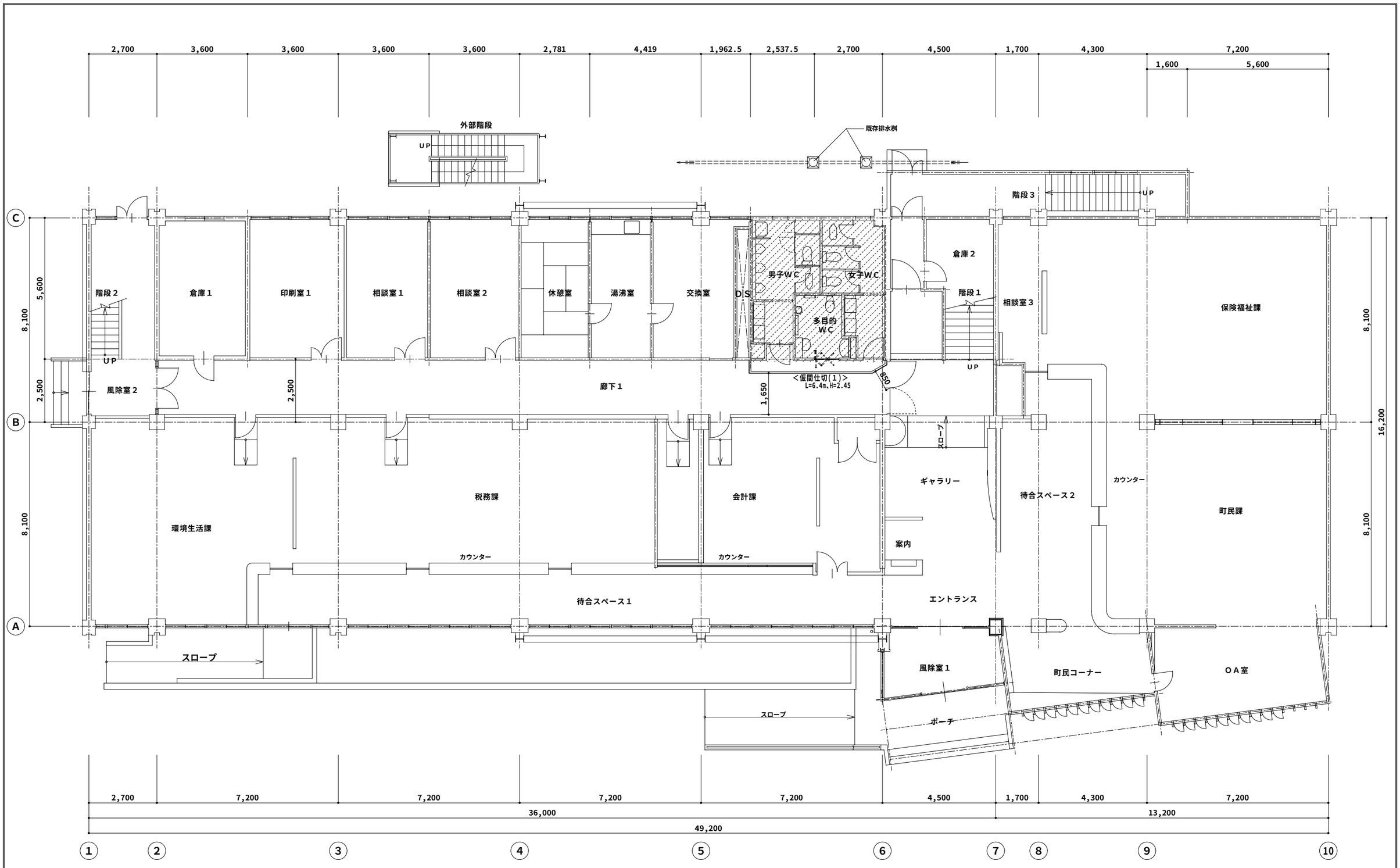
特記事項	一級建築士事務所	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
1.「仮間仕切(1)」：ＬＧＳ65 ＋ ＧＢ12.5（片面）	**株式会社 山本設計事務所** ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	役場庁舎トイレ改修工事	（既存）１階平面図	S=1/100		一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A/07
			＜指定仮設図＞	S=1/							
				S=1/							

<図面サイズ：A2>



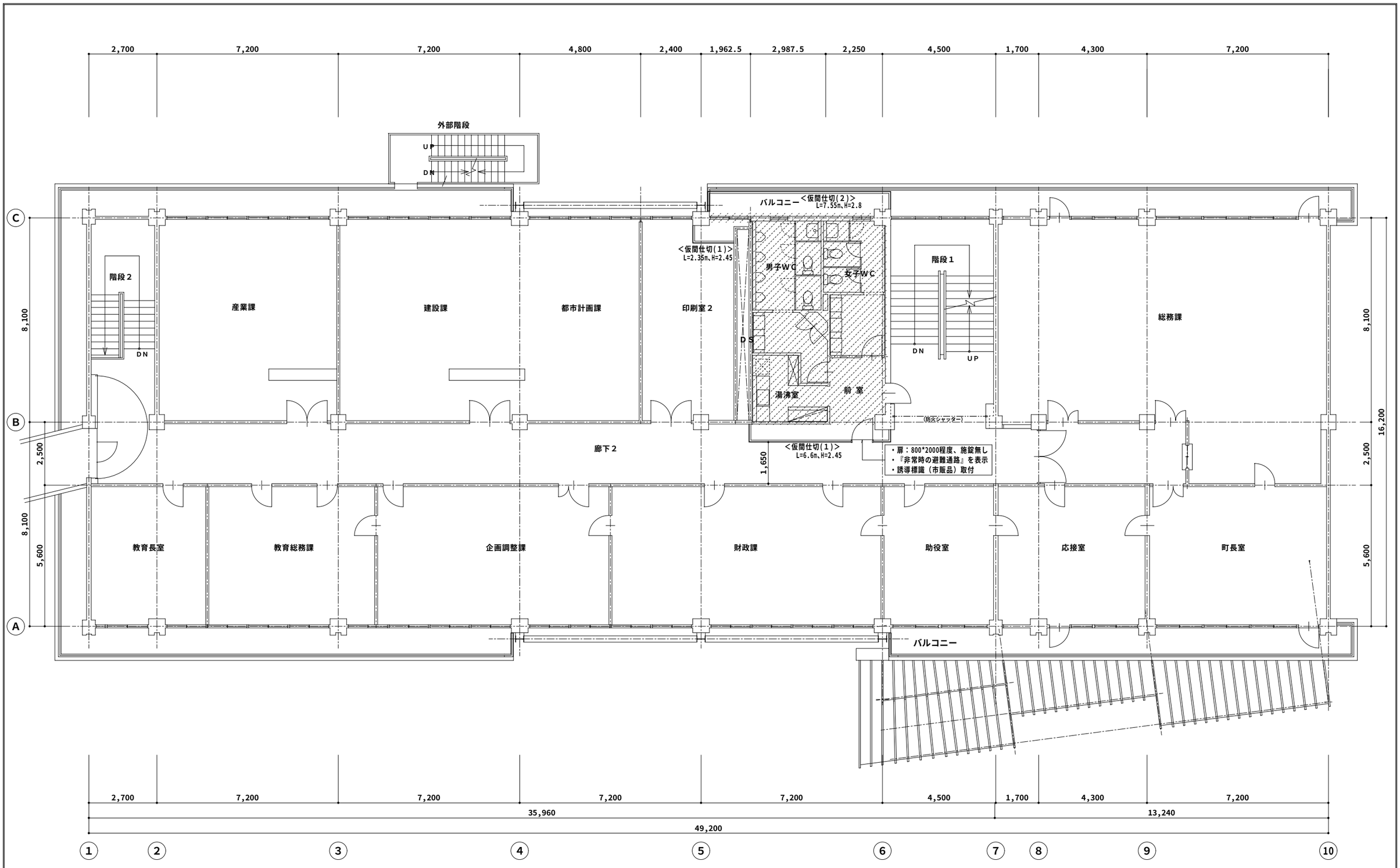
特記事項	一級建築士事務所	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
1.「仮間仕切(1)」：ＬＧＳ65 ＋ ＧＢ-12.5 (片面) 2.「仮間仕切(2)」：ＬＧＳ65 ＋ 合板-12 (片面)	**株式会社 山本設計事務所** ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	役場庁舎トイレ改修工事	(既存) ２階平面図	S=1/100		一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A/08
			＜指定仮設図＞	S=1/							
				S=1/							

＜図面サイズ：A2＞



特記事項	一級建築士事務所	工事名称	図面名称	（改修）１階平面図	S=1/100	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
1.「仮間仕切(1)」：ＬＧＳ65 ＋ ＧＢ12.5（片面）	株式会社 山本設計事務所 ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	役場庁舎トイレ改修工事			S=1/	一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A/09
					S=1/						

<図面サイズ：A2>



特記事項 1.「仮間仕切(1)」：LGS65 ＋ GB7t12.5（片面） 2.「仮間仕切(2)」：LGS65 ＋ 合板7t12（片面）	一級建築士事務所 **株式会社 山本設計事務所** TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称 役場庁舎トイレ改修工事	図面名称	（改修）２階平面図	S=1/100 S=1/ S=1/	管理建築士 一級建築士登録 第173121号 斎藤 久	承認印	検印	係員	作図	図面番号 A／10

<図面サイズ：A2>

外部仕上表

部位	（既存）仕上材料	（改修）仕上内容
屋根	<改修なし>	－－－－－
外壁	モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	＜既存のまま＞　＜２階トイレ部分のみ＞　既存建具撤去部分 外壁新設 新規外壁：鉄骨胴縁下地 強化ＧＢ7215＋中空押出成形セメント板 15（金具留め）　【耐火構造：FP060NE-9234】 透湿性防水型複層塗材Ｅ　（参考：キクスイ 「アルコートＳ」程度）

部位	（既存）仕上材料	（改修）仕上内容
テラス	モルタル防水 目地切仕上	＜既存のまま＞
建具	アルミサッシ	＜２階トイレ部分のみ＞　既存建具撤去の上 アルミサッシ新設（新規外壁部分）

内部仕上表（既存）

階	室名		床仕上	床の高さ	幅木（高さ）	壁仕上	壁下地	天井仕上	天井高	廻縁	備考
1階	既存	男子WC	［モルタル塗下地］ ビニル床シート張り　【⇒ 土間コンクリート(7120) 撤去】 【⇒ モルタル塗+ビニル床シート 撤去】	FL± 0 ～－90	塩ビ幅木 H=100 【⇒ 撤去】	100角内装タイル貼　【⇒ 女子・多目的トイレ、廊下側間仕切壁 撤去】 【⇒ DS、外壁側 タイル（下地モルタル共）撤去】	RC・CB	［軽量鉄骨天井下地］ＧＢ7 9　ＥＰ塗 【⇒ 天井下地+ＧＢ 撤去】	2,450 ～2,540	塩ビ 【⇒ 撤去】	トイレブース 【⇒ トイレブース 撤去】
	既存	女子WC	［モルタル塗下地］ ビニル床シート張り　【⇒ 土間コンクリート(7120) 撤去】 【⇒ モルタル塗+ビニル床シート 撤去】	FL± 0 ～－90	塩ビ幅木 H=100 【⇒ 撤去】	100角内装タイル貼　【⇒ 男子・多目的トイレ、廊下側間仕切壁 撤去】 【⇒ 階段、外壁側 タイル（下地モルタル共）撤去】	RC・CB	［軽量鉄骨天井下地］ＧＢ7 9　ＥＰ塗 【⇒ 天井下地+ＧＢ 撤去】	2,450 ～2,540	塩ビ 【⇒ 撤去】	トイレブース 【⇒ トイレブース 撤去】
	既存	多目的WC	［モルタル塗下地］ ビニル床シート張り　【⇒ 土間コンクリート(7120) 撤去】 【⇒ モルタル塗+ビニル床シート 撤去】	FL± 0	塩ビ幅木 H=100 【⇒ 撤去】	100角内装タイル貼　【⇒ 男子・女子トイレ、廊下側間仕切壁 撤去】	RC・CB	［軽量鉄骨天井下地］ＧＢ7 9　ＥＰ塗 【⇒ 天井下地+ＧＢ 撤去】	2,450	塩ビ 【⇒ 撤去】	
	既存	廊　下	［モルタル塗下地］ ビニル床タイル張り　【⇒ モルタル塗+ビニル床シート 一部（改修取合部分）撤去】	FL± 0	ﾓﾙﾀﾙ、FP塗 H=100 【⇒ 一部撤去】	モルタル塗+ゾラコート吹付け　【⇒ 男子・女子・多目的トイレ側間仕切壁 撤去】	RC・CB	［木製天井下地］化粧石膏吸音ボード7 9.5張 【⇒ 既存のまま 、一部(改修取合部)化粧石膏吸音ボード取外し】	2,450	塩ビ 【⇒ 一部撤去】	
2階	既存	男子WC	［モルタル防水 ＋ モルタル塗下地］ 25角磁器タイル貼　【⇒ タイル貼+タイル下地モルタル塗 撤去】 【 モルタル防水は既存のまま、便器等の撤去跡：穴塞ぎ 】	FL± 0	（タイル） 【⇒ 撤去】	腰 ： 内装タイル貼　【⇒ バルコニー側 外壁 撤去】 壁 ： モルタル塗 ＶＰ　【⇒ 女子トイレ、化粧室、湯沸し室側間仕切壁 撤去】 【⇒ DS側 タイル（下地モルタル共）撤去】	RC・CB	［木製天井下地］耐水合板張　ＶＰ 【⇒ 天井下地+耐水合板 撤去】	2,450	木製 【⇒ 撤去】	トイレブース 【⇒ トイレブース 撤去】
	既存	女子WC	［モルタル防水 ＋ モルタル塗下地］ 25角磁器タイル貼　【⇒ タイル貼+タイル下地モルタル塗 撤去】 【 モルタル防水は既存のまま、便器等の撤去跡：穴塞ぎ 】	FL± 0	（タイル） 【⇒ 撤去】	腰 ： 内装タイル貼　【⇒ バルコニー側 外壁 撤去】 壁 ： モルタル塗 ＶＰ　【⇒ 男子トイレ、化粧室側間仕切壁 撤去】 【⇒ 階段側 タイル（下地モルタル共）撤去】	RC・CB	［木製天井下地］耐水合板張　ＶＰ 【⇒ 天井下地+耐水合板 撤去】	2,450	木製 【⇒ 撤去】	トイレブース 【⇒ トイレブース 撤去】
	既存	化粧室	［モルタル防水 ＋ モルタル塗下地］ 25角磁器タイル貼　【⇒ タイル貼+タイル下地モルタル塗 撤去】 【 モルタル防水は既存のまま、便器等の撤去跡：穴塞ぎ 】	FL± 0	（タイル） 【⇒ 撤去】	腰 ： 内装タイル貼　【⇒ 階段側 タイル（下地モルタル共）撤去】 壁 ： モルタル塗 ＶＰ　【⇒ 男子・女子トイレ、湯沸し室側間仕切壁 撤去】 一部 木製スクリーン　【⇒ 木製スクリーン 撤去】	RC・CB	［木製天井下地］耐水合板張　ＶＰ 【⇒ 天井下地+耐水合板 撤去】	2,450	木製 【⇒ 撤去】	
	既存	湯沸し室	［モルタル塗下地］ 人造研出張り　【⇒ 人造研出張+下地モルタル塗 撤去】	FL± 0	人造研出 H=100 【⇒ 撤去】	モルタル塗 ＶＰ　【⇒ ＤＳ側 モルタル塗 撤去】 一部 木製スクリーン　【⇒ 男子トイレ、化粧室側間仕切壁 撤去】 【⇒ 木製スクリーン 撤去】	RC・CB	［木製天井下地］ＧＢ7 9　ＥＰ塗 【⇒ 天井下地+ＧＢ 撤去】	2,450	木製 【⇒ 撤去】	流し台（人造研出＋SUS）　木製タナ（800*600*700）　【⇒ 流し台 木製タナ 撤去】 木製戸棚（400*400*1780、1000*400*1230）　【⇒ 木製戸棚 撤去】 製氷機（450*500*670）　ガステーブル（560*400*190）　【⇒ 製氷機・ガステーブル 移設】
	既存	前　室	［モルタル塗下地］ ビニル床タイル張り　【⇒ ビニル床タイルのみ 撤去】	FL± 0	ﾓﾙﾀﾙ、FP塗 H=100 【⇒ 一部撤去】	モルタル塗+ゾラコート吹付け　【⇒ 既存のまま】 一部 木製スクリーン　【⇒ 木製スクリーン 撤去】	RC・CB	［木製天井下地］ジャパナイト 吸音テックス張 【⇒ 天井下地+吸音テックス 撤去】	2,450	木製 【⇒ 撤去】	
	既存	廊　下	［モルタル塗下地］ ビニル床タイル張り　【⇒ 既存のまま】 【⇒ 一部（改修取合部）ビニル床タイルのみ 撤去】	FL± 0	ﾓﾙﾀﾙ、FP塗 H=100 【⇒ 一部撤去】	モルタル塗+ゾラコート吹付け　【⇒ 既存のまま】 一部 木製スクリーン　【⇒ 木製スクリーン 撤去】	RC・CB	［木製天井下地］ジャパナイト 吸音テックス張 【⇒ 既存のまま 、一部（改修取合部）吸音テックス取外し】	2,450	木製 【⇒ 一部撤去】	
						※2 ＥＰ－Ｍは、多彩模様塗料塗りを示す（JIS 5667の規格相当）					

内部仕上表（改修）

※1 仕上表（改修）に記載の 「明朝体」表記は、既存の下地・仕上を示す
※2 仕上表（改修）に記載の 「ゴシック体」表記は、新規の下地・仕上（及び改修内容）を示す
※3 ビニル床シート（耐摩耗性）は、トップ層7 0.5㎜程度のものとする。
※4 化粧ケイ酸カルシウム板は、1.0ＦＫとする
※5 ライニング用の甲板は、ポストフォーム（メラミン化粧板）とする。
※6 室名札（ピクトサイン）は、杉田エース「FK200（平付型）」「FKY-200（突出型）」程度とする。
※7 ＥＰ－Ｍは、多彩模様塗料塗りを示す（JIS 5667の規格相当）
※8 キッチンパネルは、アイカ工業「セラール（フラット）」程度とする

階			室名	床仕上	床の高さ	幅木（高さ）	壁仕上	壁下地	天井仕上	天井高	廻縁	備考
1階	改修		男子WC	新規土間コンクリート金ゴテ仕上のうえ 新規ビニル床シート貼 7 2（耐摩耗性）	FL± 0	塩ビ幅木 H=75	防水ＧＢ7 9.5(GL工法) ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング） 防水ＧＢ7 9.5＋ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング） ※女子便所側：防水ＧＢ7 9.5＋7 9.5（ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 7 50充填）＋ケイ酸カルシウム板	RC・CB LGS65	新規軽量鉄骨天井下地　化粧ＧＢ 7 9.5	2,450	新規 塩ビ廻縁	洗面カウンター（造付）　間接照明　室名札（突出型、ピクトサイン） トイレブース　小物棚（※建具表参照）　ライニング（小便器、ＳＫ） 天井点検口　化粧鏡（耐食 350*800、2ヶ所、参考：YM3580FC）
	改修		女子WC	新規土間コンクリート金ゴテ仕上のうえ 新規ビニル床シート貼 7 2（耐摩耗性）	FL± 0	塩ビ幅木 H=75	防水ＧＢ7 9.5(GL工法) ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング） 防水ＧＢ7 9.5＋ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング） ※男子便所側：防水ＧＢ7 9.5＋7 9.5 ＋ケイ酸カルシウム板	RC・CB LGS65	新規軽量鉄骨天井下地　化粧ＧＢ 7 9.5	2,450	新規 塩ビ廻縁	洗面カウンター（造付）　間接照明　室名札（突出型、ピクトサイン） トイレブース　小物棚（※建具表参照） 天井点検口　化粧鏡（耐食 350*800、2ヶ所、参考：YM3580FC）
	改修		多目的WC	新規土間コンクリート金ゴテ仕上のうえ 新規ビニル床シート貼 7 2（耐摩耗性）	FL± 0	塩ビ幅木 H=75	防水ＧＢ7 9.5+ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング）	LGS65	新規軽量鉄骨天井下地　化粧ＧＢ 7 9.5	2,450	新規 塩ビ廻縁	間接照明　室名札（突出型、ピクトサイン）　化粧鏡（耐食 450*1000、参考：YM4510FAC） ベビーシート（参考:YKA25）　ベビーチェア（参考:YKA13） フッティングボード（参考:YKA40）　チャームボックス（参考：YKB102、YKB104 各1ヶ所）
	改修		廊　下	【 既存のまま 】 ※一部（改修取合部）下地調整のうえ、 新規ビニル床タイル貼替 7 2	FL± 0	ﾓﾙﾀﾙ、FP塗 H=100 塩ビ幅木 H=75	新規間仕切り部分： ＧＢ7 12.5 目地処理の上　ＥＰ－Ｍ(水性)塗 （既存取合シーリング W=10）	LGS65	一部 既存天井下地 部分補修の上 化粧石膏吸音ボード7 9.5張替（既存品再使用）	2,450	一部 新規 塩ビ廻縁	
2階	改修		男子WC	下地調整のうえ、新規ビニル床シート貼 7 2（耐摩耗性）	FL± 0	塩ビ幅木 H=75	防水ＧＢ7 9.5(GL工法) ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング） 防水ＧＢ7 9.5＋ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング） ※女子便所側：防水ＧＢ7 9.5＋7 9.5（ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 7 50充填）＋ケイ酸カルシウム板	RC・CB LGS65･50	新規軽量鉄骨天井下地　化粧ＧＢ 7 9.5	2,450	新規 塩ビ廻縁	洗面カウンター（造付）　間接照明　室名札（平付型、ピクトサイン） トイレブース　小物棚（※建具表参照）　ライニング（小便器、ＳＫ） 天井点検口　化粧鏡（耐食 350*800、2ヶ所、参考：YM3580FC）
	改修		女子WC	下地調整のうえ、新規ビニル床シート貼 7 2（耐摩耗性）	FL± 0	塩ビ幅木 H=75	防水ＧＢ7 9.5(GL工法) ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング） 防水ＧＢ7 9.5＋ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング） ※男子便所側：防水ＧＢ7 9.5＋7 9.5 ＋ケイ酸カルシウム板	RC・CB LGS65･50	新規軽量鉄骨天井下地　化粧ＧＢ 7 9.5	2,450	新規 塩ビ廻縁	洗面カウンター（造付）　間接照明　室名札（平付型、ピクトサイン） トイレブース　小物棚（※建具表参照）　ライニング（ＳＫ） 天井点検口　化粧鏡（耐食 350*800、3ヶ所、参考：YM3580FC）
	改修		湯沸し室	下地調整のうえ、新規ビニル床シート貼 7 2（マーブル）	FL± 0	塩ビ幅木 H=75	防水ＧＢ7 9.5(GL工法) ＋ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング） 防水ＧＢ7 9.5+ 化粧ケイ酸カルシウム板7 6 目透し（シーリング） ※流し台廻り：不燃防水ＧＢ7 12.5+ キッチンパネル7 3 目透し（シーリング）	RC・CB LGS65	新規軽量鉄骨天井下地 ケイ酸カルシウム板7 6 目透し ＥＰ塗	2,450	新規 塩ビ廻縁	流し台(L=1200)・コンロ台(L=600)　収納戸棚（造付、２台）　収納棚（造付） 天井点検口　室名札（突出型、ピクトサイン） 電気温水器（機械）　製氷機移設（機械）　ガステーブル移設
	改修		前　室	下地調整のうえ、新規ビニル床シート貼 7 2（マーブル）	FL± 0	塩ビ幅木 H=75	下地調整のうえ ＥＰ－Ｍ塗替え ＧＢ7 12.5 目地処理の上　ＥＰ－Ｍ(水性)塗	RC・CB LGS65	新規軽量鉄骨天井下地　化粧ＧＢ 7 9.5	2,450	新規 塩ビ廻縁	室名札（突出型、ピクトサイン：男女ＷＣ表示）
	改修		廊　下	【 既存のまま 】 ※一部（改修取合部）下地調整のうえ、 新規ビニル床タイル貼替 7 2	FL± 0	ﾓﾙﾀﾙ、FP塗 H=100 塩ビ幅木 H=75	新規間仕切り部分： ＧＢ7 12.5 目地処理の上　ＥＰ－Ｍ(水性)塗 （既存取合シーリング W=10）	LGS65	一部 既存天井下地 部分補修の上 ジャパナイト吸音テックス張替（既存品再使用）ＥＰ塗替	2,450	一部 新規 塩ビ見切	

特記事項
※1 下地調整　25角タイル撤去跡 ：モルタル塗り補修
テラゾー撤去跡 ：モルタル塗り補修
ビニル床タイル撤去跡：ケレン・清掃
※2 壁内のグラスウール7 50は、24kg品とする。

一級建築士事務所
株式会社 山本設計事務所
ＴＥＬ 仙台（022）233-6028（代）

工事名称：平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事

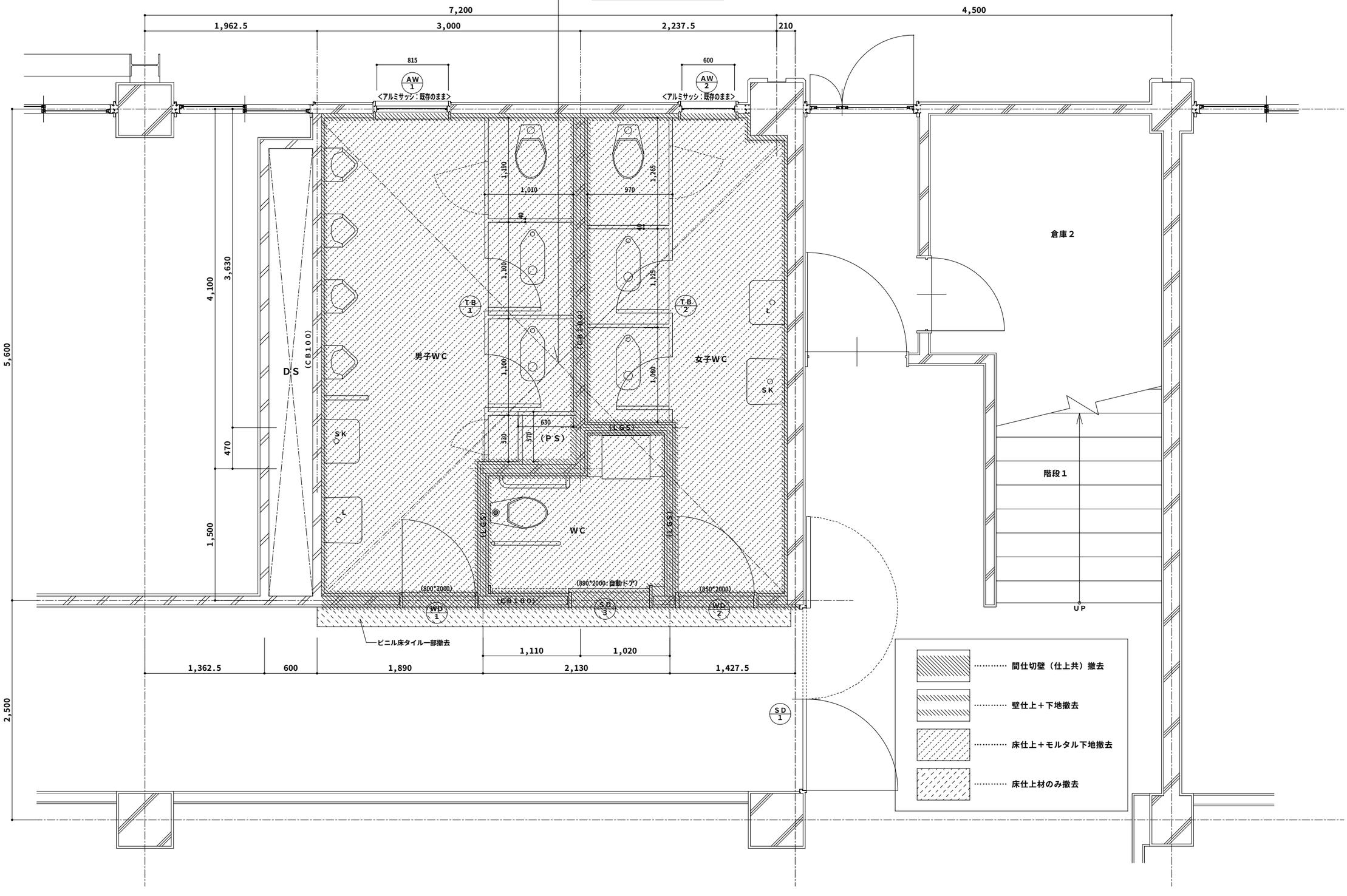
図面名称：仕上表　S＝1/＿＿

管理建築士：一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久

承認印	検印	係員	作図	図面番号
				A／11

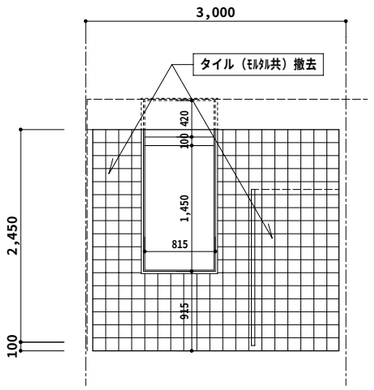
<図面サイズ：A2>

１階土間コン 取りこわし・復旧
＜ァ１２０、新規鉄筋：D10@150＞
※地業：再生砕石 平均r100

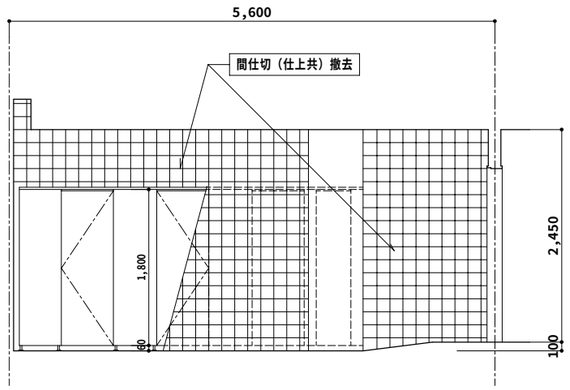


特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	（既存）１階平面詳細図	S=1/30 S=1/ S=1/	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事				一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A/12

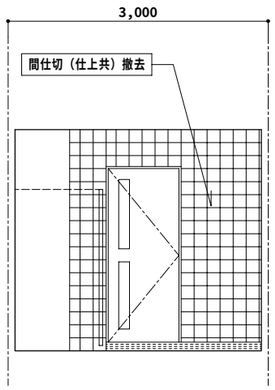
<図面サイズ：A2>



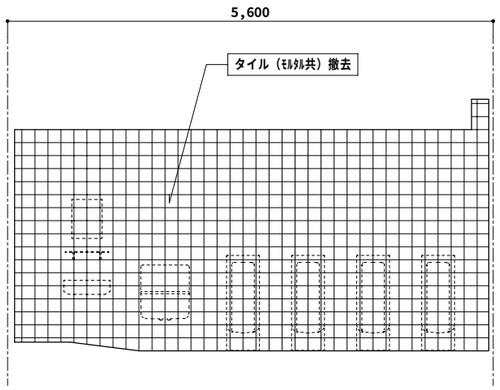
男子ＷＣ　Ａ面



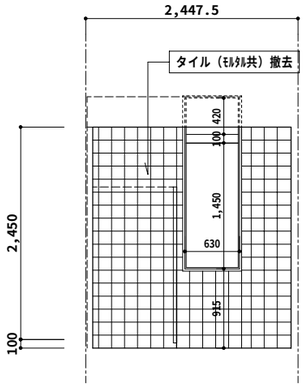
男子ＷＣ　Ｂ面



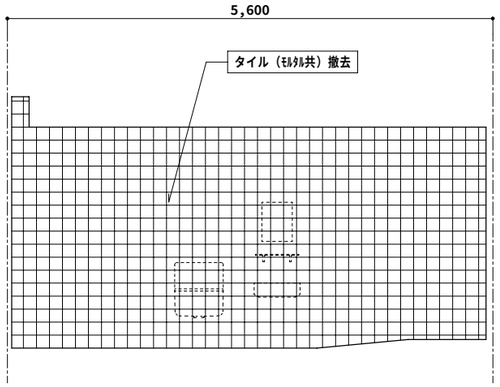
男子ＷＣ　Ｃ面



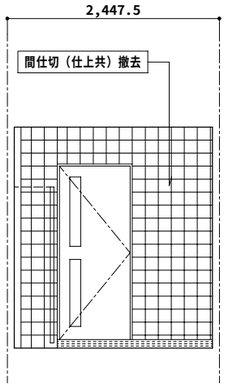
男子ＷＣ　Ｄ面



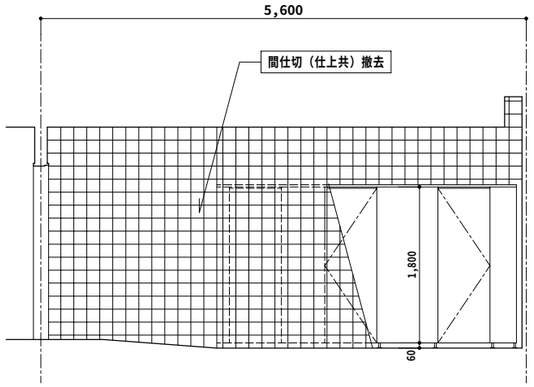
女子ＷＣ　Ａ面



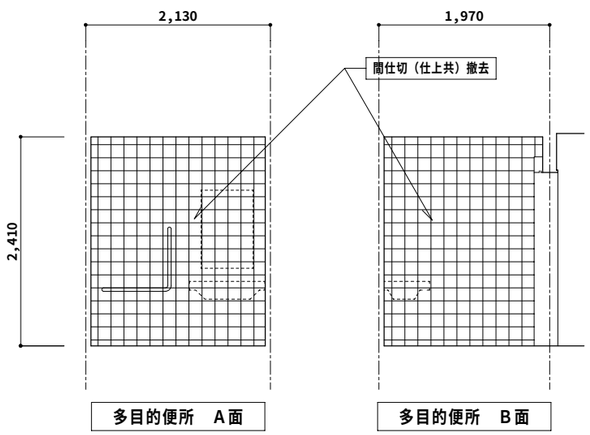
女子ＷＣ　Ｂ面



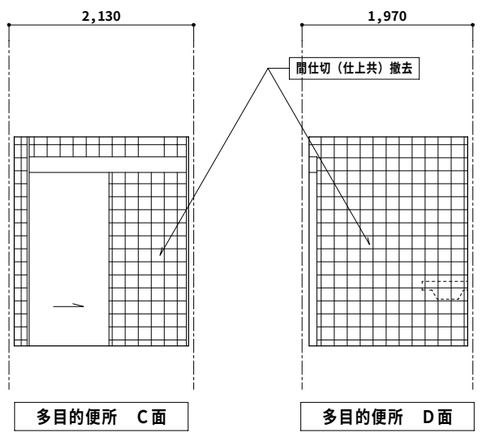
女子ＷＣ　Ｃ面



女子ＷＣ　Ｄ面



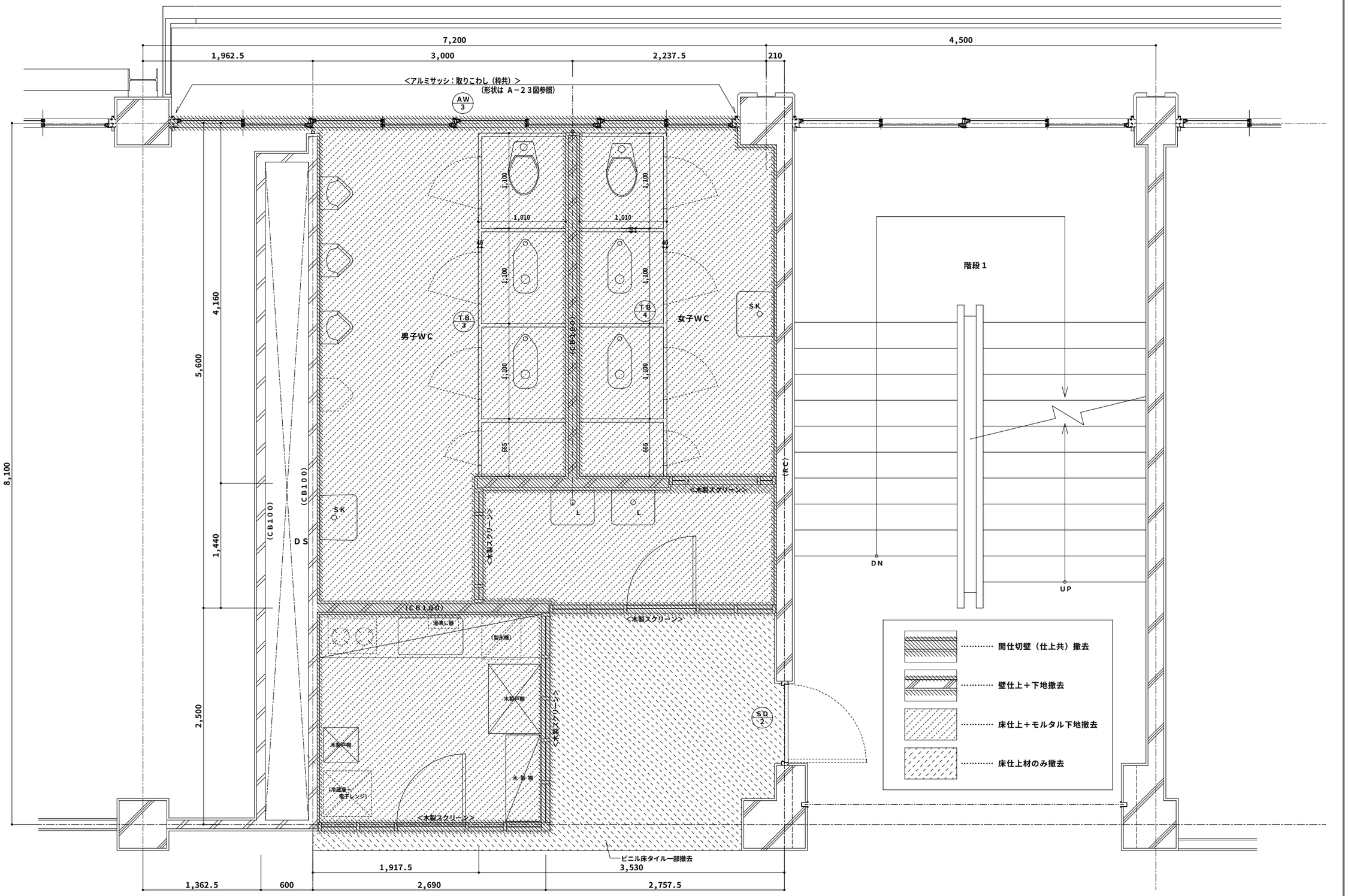
多目的便所　Ａ面　　多目的便所　Ｂ面



多目的便所　Ｃ面　　多目的便所　Ｄ面

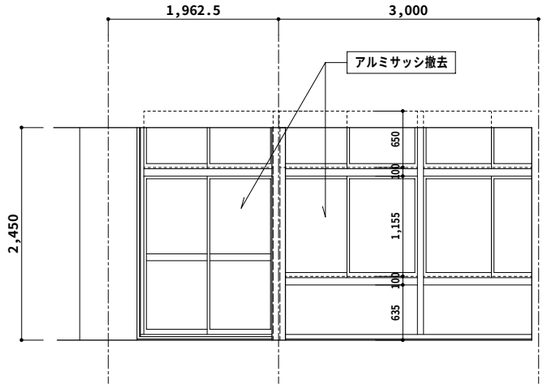
特記事項	一級建築士事務所 株式会社　山本設計事務所 ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	（既存）１階展開図	S=1/50 S=1/ S=1/	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事				一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久		斎藤		斎藤	A／13

<図面サイズ：A2>

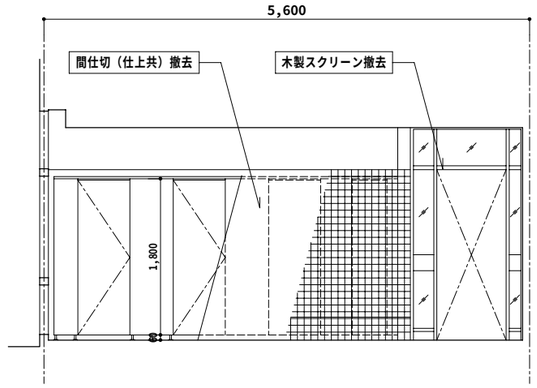


特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	（既存）２階平面詳細図	S=1/30 S=1/ S=1/	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事				一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A/14

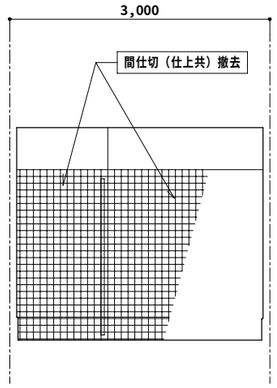
<図面サイズ：A2>



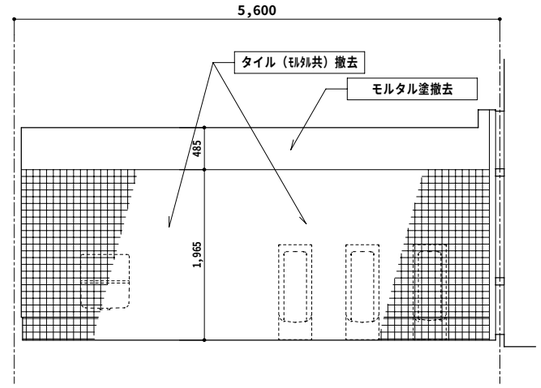
男子ＷＣ　Ａ面



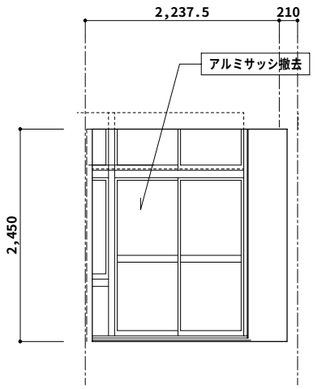
男子ＷＣ　Ｂ面



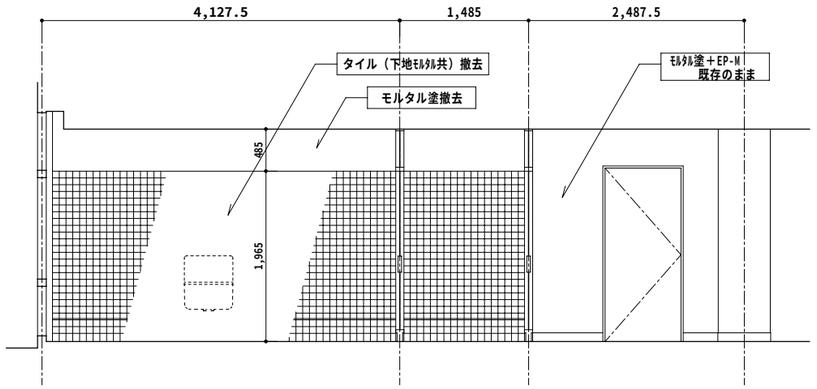
男子ＷＣ　Ｃ面



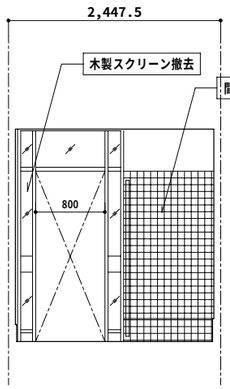
男子ＷＣ　Ｄ面



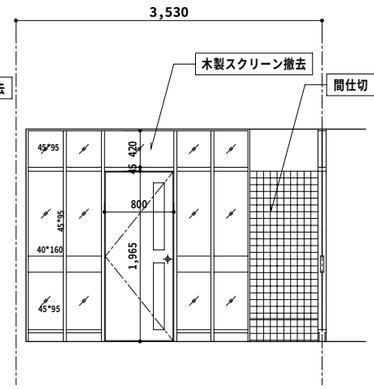
女子ＷＣ　Ａ面



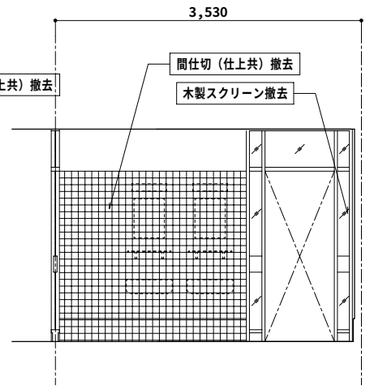
女子ＷＣ　Ｂ面　化粧室　Ｂ面　前　室　Ｂ面



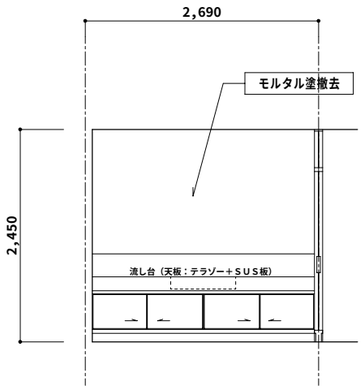
女子ＷＣ　Ｃ面



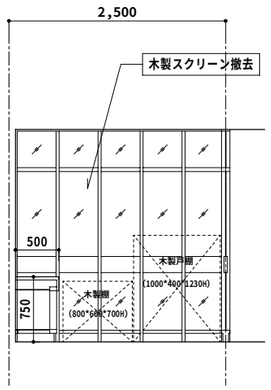
化粧室　Ｃ面



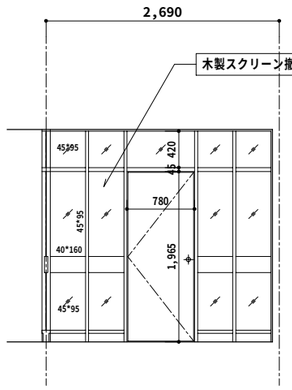
化粧室　Ａ面



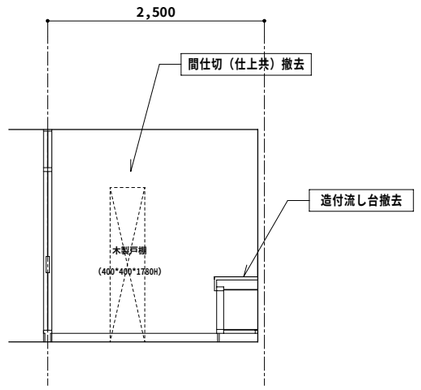
湯沸し室　Ａ面



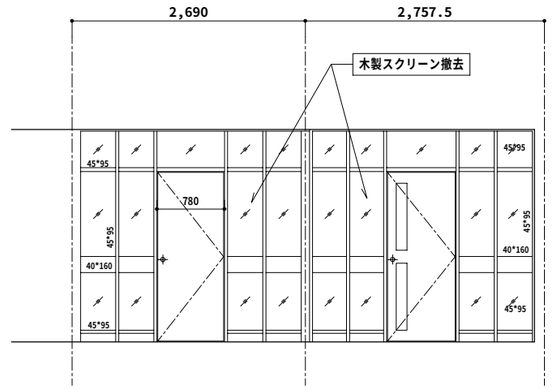
湯沸し室　Ｂ面



湯沸し室　Ｃ面



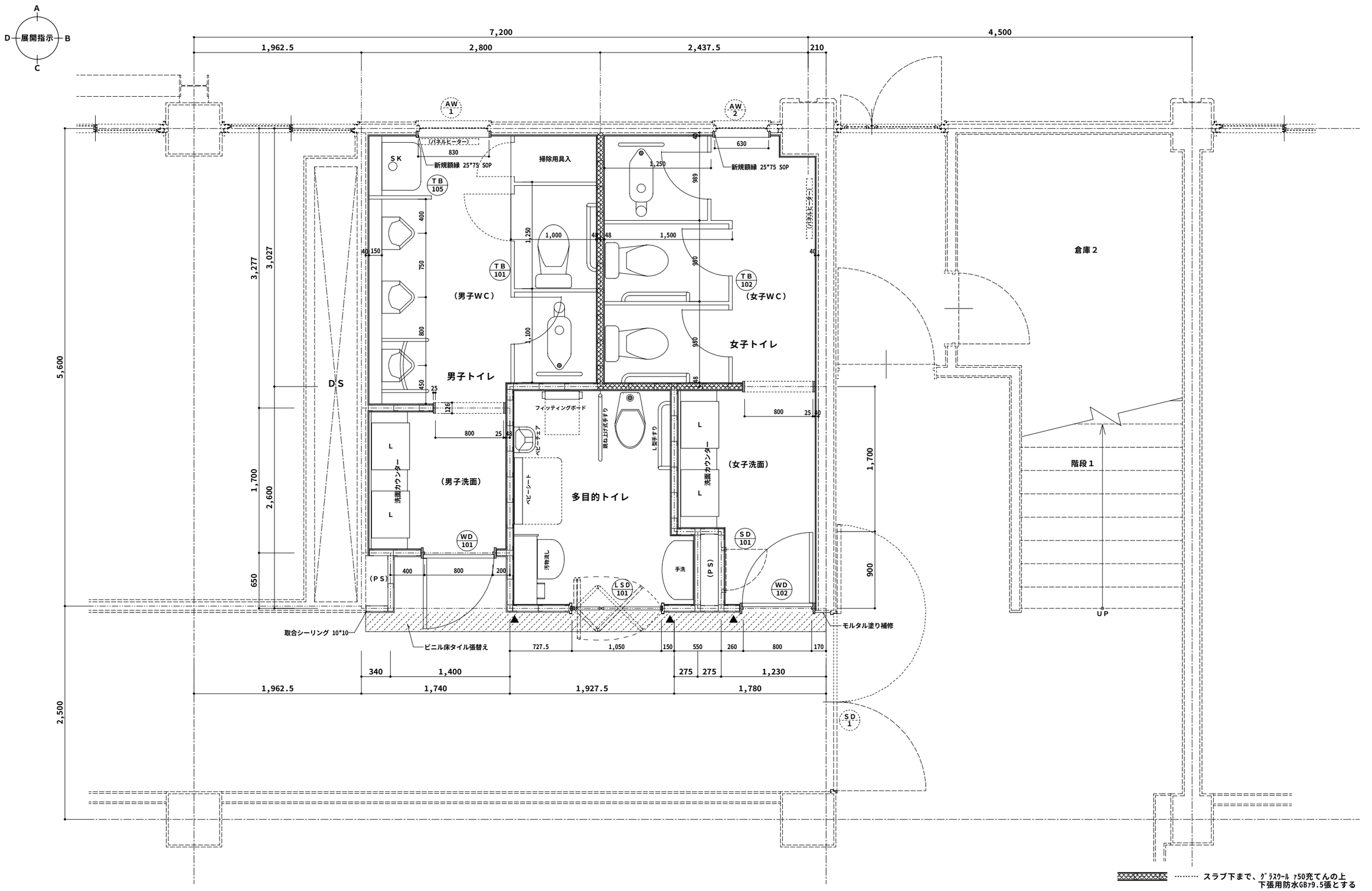
湯沸し室　Ｄ面



廊下　Ａ面　前室　Ａ面

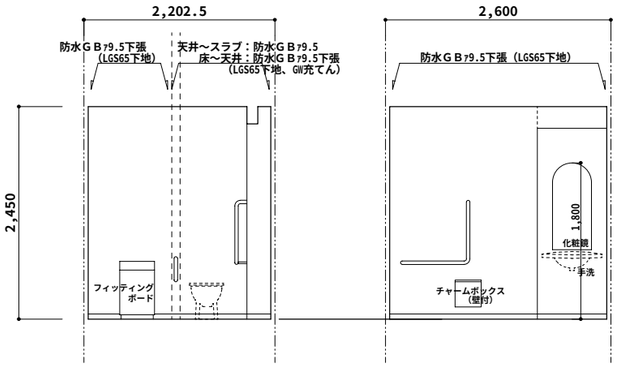
特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	（既存）２階展開図	S=1/50	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事			S=1/	一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A/15
					S=1/						

<図面サイズ：A2>



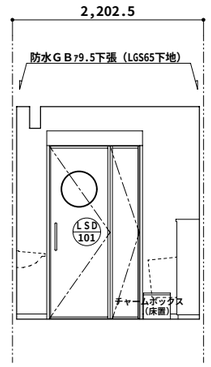
特記事項	一級建築士事務所	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
※1 壁・ブース等：手すり、衛生器具取付用の適切な下地補強を設けること。 ※2 △：室名札（平付型） ▲：室名札（突出型）位置を示す	株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	役場庁舎トイレ改修工事	（改修）１階平面詳細図	S=1/30 S=1/ S=1/		一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A/16

<図面サイズ：A2>

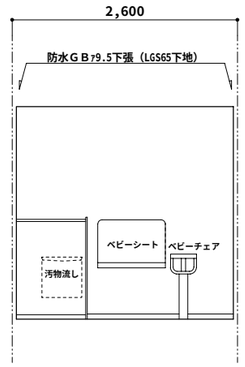


多目的トイレ　A面

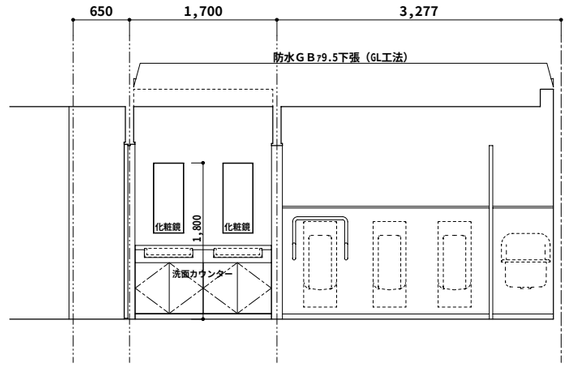
多目的トイレ　B面



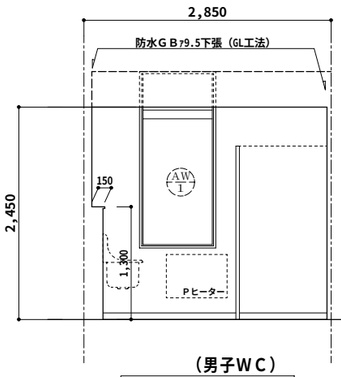
多目的トイレ　C面



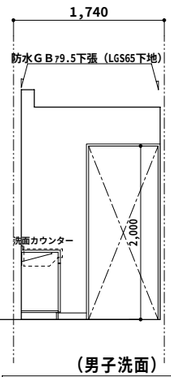
多目的トイレ　D面



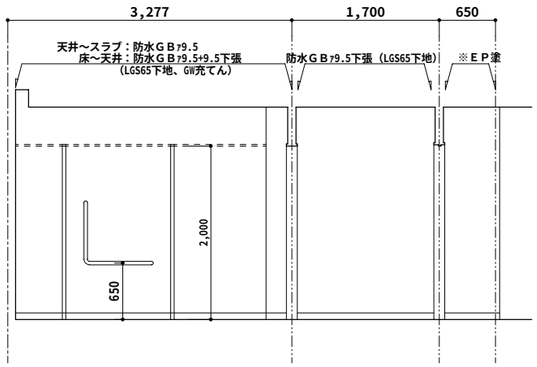
男子トイレ　D面



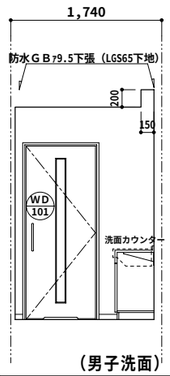
（男子WC）
男子トイレ　A面



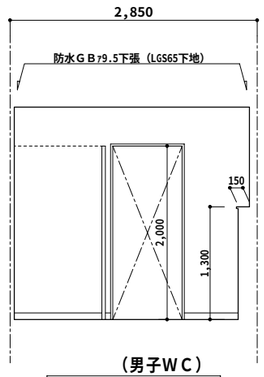
（男子洗面）
男子トイレ　A面



男子トイレ　B面



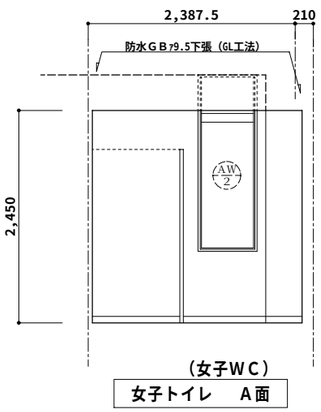
（男子洗面）
男子トイレ　C面



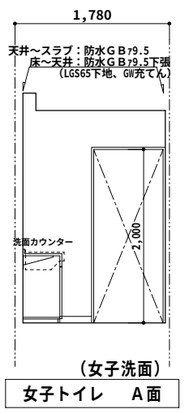
（男子WC）
男子トイレ　C面

男子トイレ		
床	ビニル床シート ｱ2（耐磨耗）	
幅木	塩ビ幅木	H＝75
壁	防水ＧＢ79.5＋化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板ｱ6 ＜一部：防水ＧＢ79.5+9.5下張＞	
天井	化粧ＧＢ79.5	
廻縁	塩ビ製	CH＝2、450
備考	※「仕上表」参照	

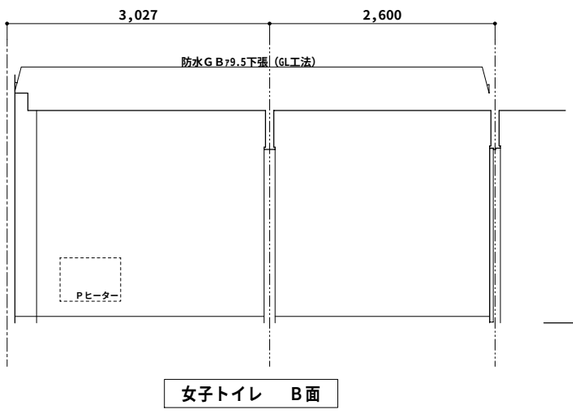
女子トイレ		
床	ビニル床シート ｱ2（耐磨耗）	
幅木	塩ビ幅木	H＝75
壁	防水ＧＢ79.5＋化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板ｱ6 ＜一部：防水ＧＢ79.5+9.5下張＞	
天井	化粧ＧＢ79.5	
廻縁	塩ビ製	CH＝2,450
備考	※「仕上表」参照	



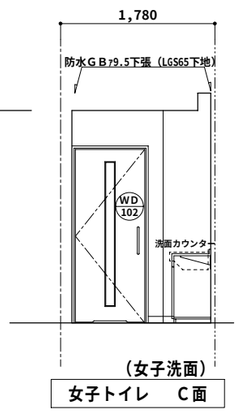
（女子WC）
女子トイレ　A面



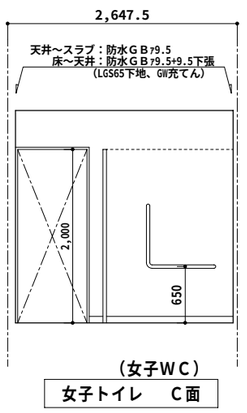
（女子洗面）
女子トイレ　A面



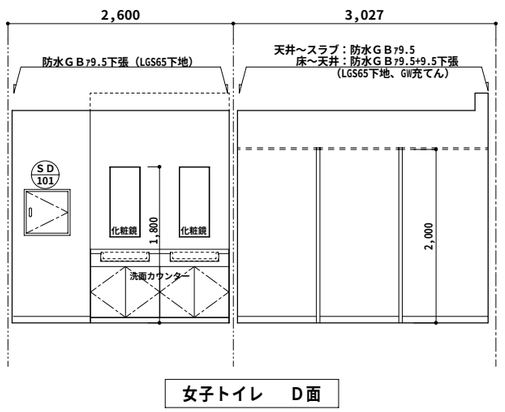
女子トイレ　B面



（女子洗面）
女子トイレ　C面



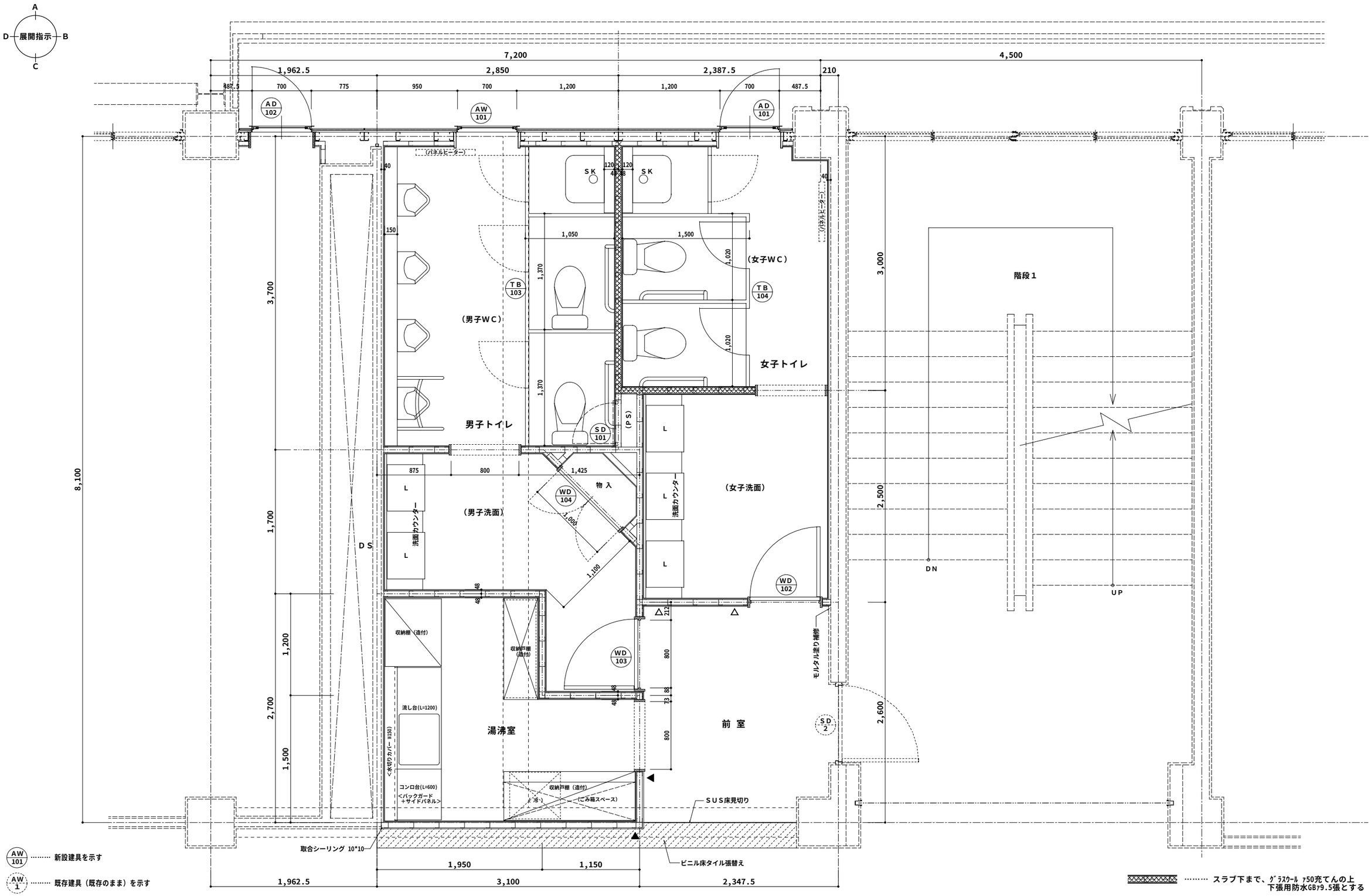
（女子WC）
女子トイレ　C面



女子トイレ　D面

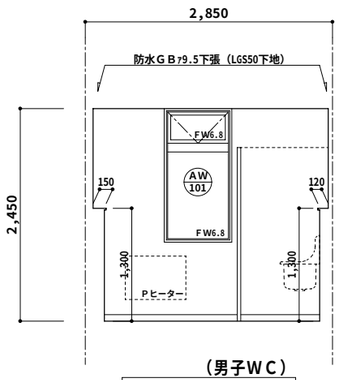
特記事項	一級建築士事務所 株式会社　山本設計事務所 ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	（改修）１階 展開図	S＝1／50 S＝1／ S＝1／	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事				一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A／17

<図面サイズ：A2>

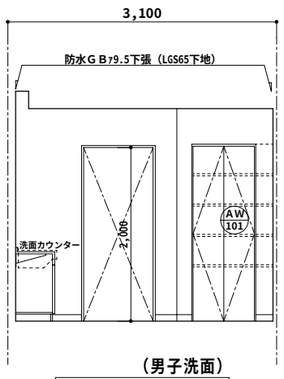


特記事項 ※1 壁・ブース等：手すり、衛生器具取付用の適切な下地補強を設けること。 ※2 △：室名札（平付型） ▲：室名札（突出型）位置を示す	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称 役場庁舎トイレ改修工事	図面名称	（改修）２階平面詳細図	S=1/30 S=1/ S=1/	管理建築士 一級建築士登録 第173121号 斎藤 久	承認印	検印 斎藤	係員	作図 斎藤	図面番号 A/18

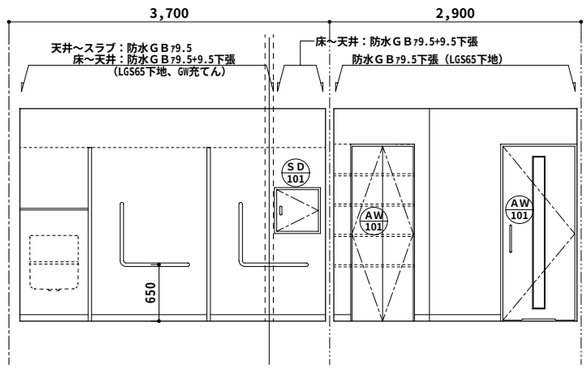
<図面サイズ：A2>



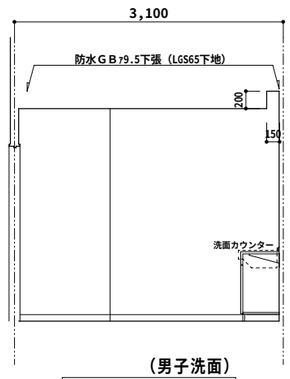
（男子ＷＣ）
男子トイレ　Ａ面



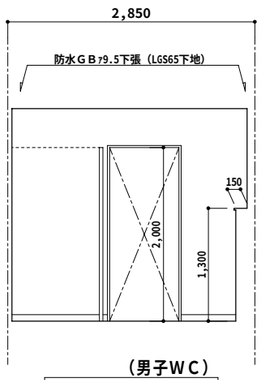
（男子洗面）
男子トイレ　Ａ面



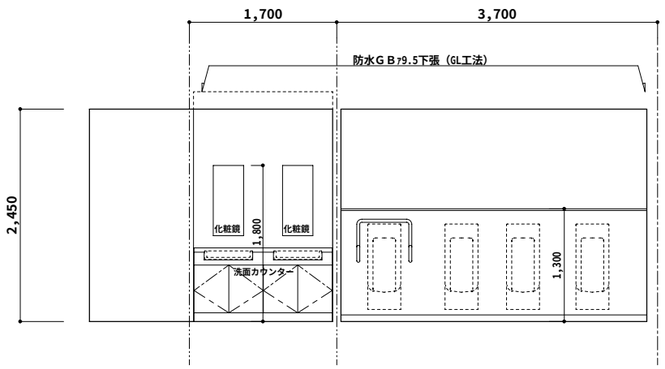
男子トイレ　Ｂ面



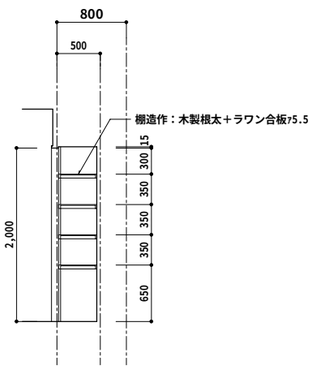
（男子洗面）
男子トイレ　Ｃ面



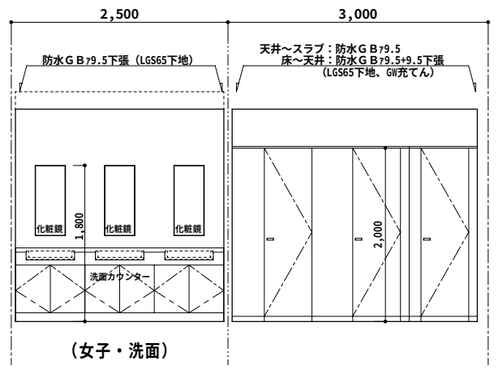
（男子ＷＣ）
男子トイレ　Ｃ面



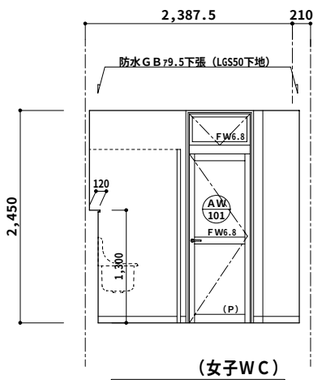
男子トイレ　Ｄ面



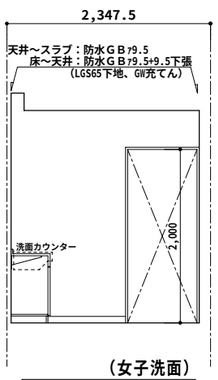
（男子洗面：物入れ部分）



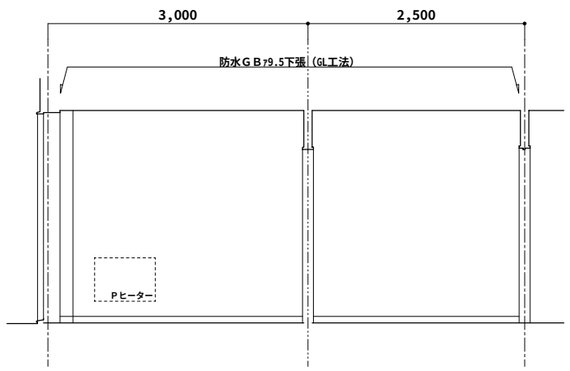
（女子・洗面）
女子トイレ　Ｄ面



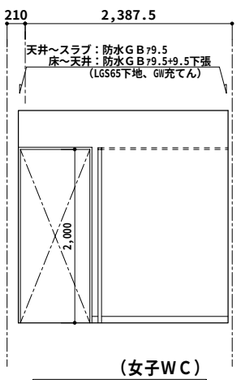
（女子ＷＣ）
女子トイレ　Ａ面



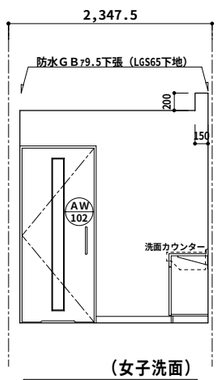
（女子洗面）
女子トイレ　Ａ面



女子トイレ　Ｂ面



（女子ＷＣ）
女子トイレ　Ｃ面



（女子洗面）
女子トイレ　Ｃ面

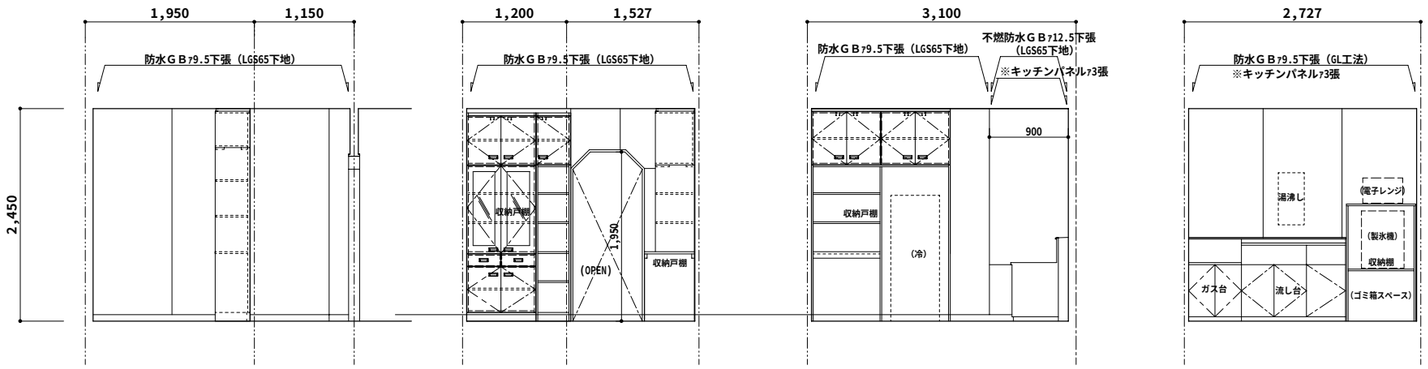
多目的トイレ		
床	ビニル床シート ｱ2（耐磨耗）	
幅木	塩ビ幅木	H=75
壁	防水ＧＢ79.5＋化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板7.6 <一部：防水ＧＢ79.5+9.5下張>	
天井	化粧ＧＢ79.5	
廻縁	塩ビ製	CH=2,450
備考	※「仕上表」参照	

男子トイレ		
床	ビニル床シート ｱ2（耐磨耗）	
幅木	塩ビ幅木	H=75
壁	防水ＧＢ79.5＋化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板7.6 <一部：防水ＧＢ79.5+9.5下張>	
天井	化粧ＧＢ79.5	
廻縁	塩ビ製	CH=2,450
備考	※「仕上表」参照	

女子トイレ		
床	ビニル床シート ｱ2（耐磨耗）	
幅木	塩ビ幅木	H=75
壁	防水ＧＢ79.5＋化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板7.6 <一部：防水ＧＢ79.5+9.5下張>	
天井	化粧ＧＢ79.5	
廻縁	塩ビ製	CH=2,450
備考	※「仕上表」参照	

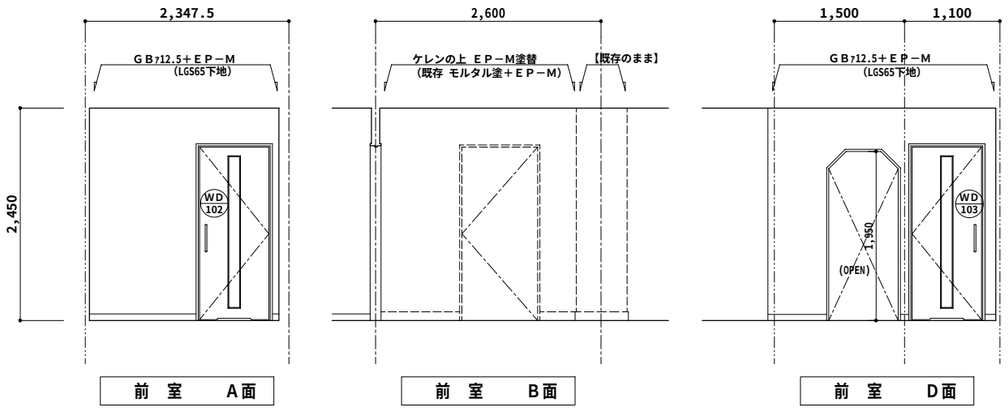
特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	（改修）２階 展開図.１	S=1/50 S=1/ S=1/	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事				一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A/19

<図面サイズ：A2>



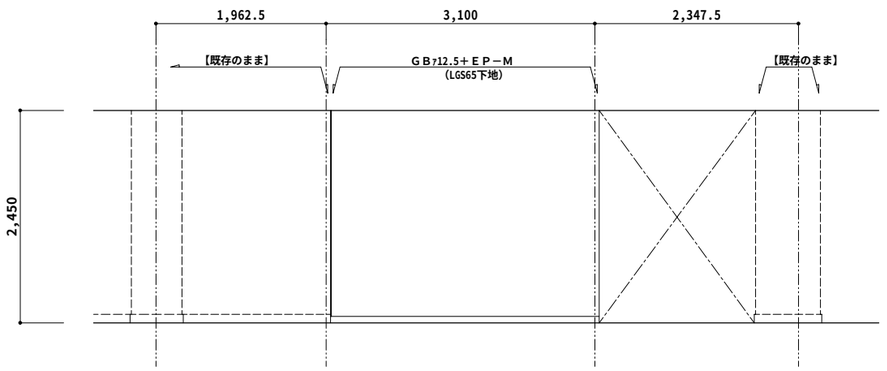
湯沸室　　A面　　湯沸室　　B面　　湯沸室　　C面　　湯沸室　　D面

湯 沸 室		
床	ビニル床シート 7 2（マーブル）	
幅木	塩ビ幅木	H＝7 5
壁	防水ＧＢ7 9.5＋化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板7 6	
天井	ケイ酸カルシウム板7 6目透シ ＥＰ	
廻縁	塩ビ製	ＣＨ＝2、4 5 0
備考	※「仕上表」参照	



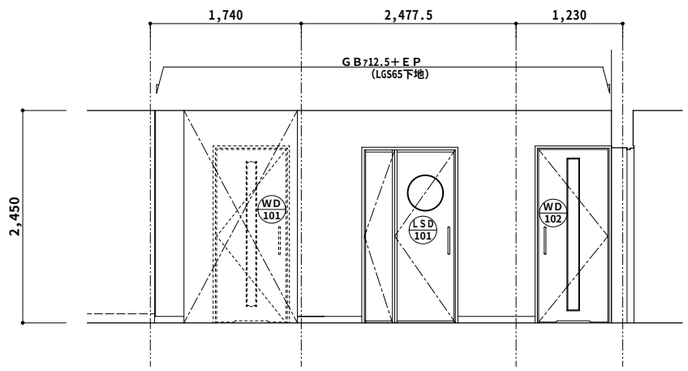
前　室　　A面　　前　室　　B面　　前　室　　D面

前　室		
床	ビニル床シート 7 2（マーブル）	
幅木	塩ビ幅木	H＝7 5
壁	ＧＢ7 12.5目地処理　ＥＰ－Ｍ塗 <一部：ＥＰ－Ｍ塗替>	
天井	化粧ＧＢ7 9.5	
廻縁	塩ビ製	ＣＨ＝2、4 5 0
備考	※「仕上表」参照	



２階廊下　　A面

２階 廊下		
床	一部 ビニル床タイル 7 2貼替	
幅木	一部 新規塩ビ幅木	H＝7 5
壁	ＧＢ7 12.5 目地処理 ＥＰ－Ｍ塗	
天井	一部化粧吸音テックス復旧（既存品）	
廻縁	一部 新規塩ビ製	ＣＨ＝2、4 5 0
備考	※「仕上表」参照	



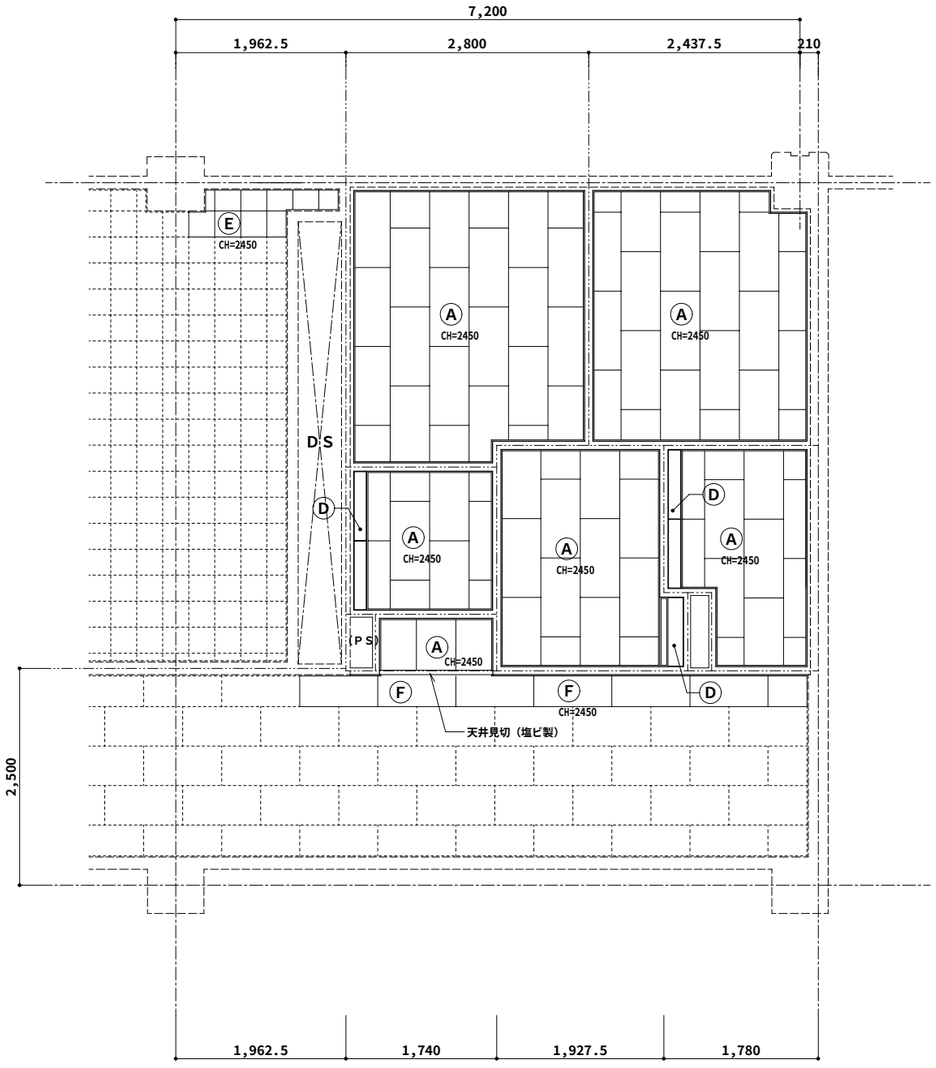
１階廊下　　A面

１階 廊下		
床	ビニル床シート 7 2（耐磨耗）	
幅木	塩ビ幅木	H＝7 5
壁	防水ＧＢ7 9.5＋化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板7 6 <一部：防水ＧＢ7 9.5+9.5下張>	
天井	一部化粧吸音ＧＢ7 9.5復旧（既存品）	
廻縁	一部 新規塩ビ製	ＣＨ＝2、4 5 0
備考	※「仕上表」参照	

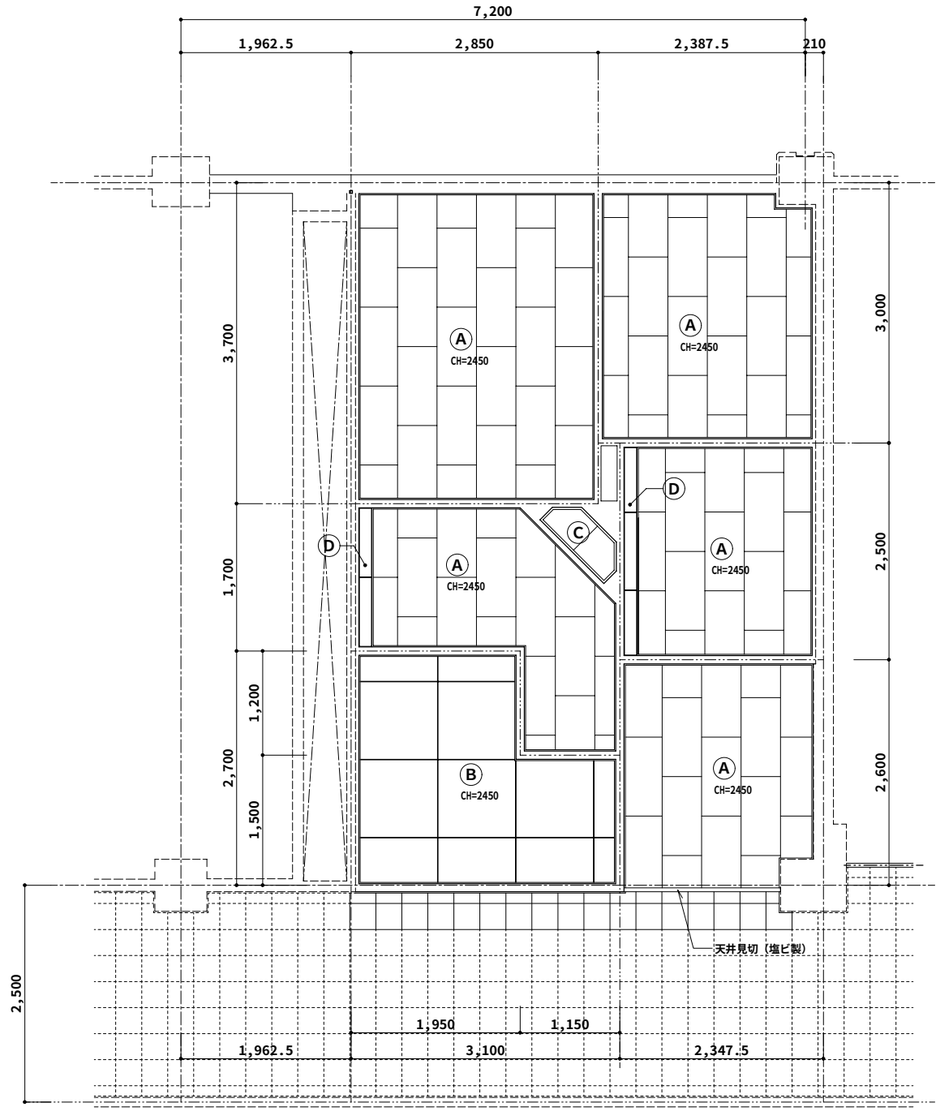
特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	(改修) ２階 展開図.２	S＝1／50 S＝1／ S＝1／	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事				一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A／20

<図面サイズ：A2>

符号	仕 上 材 料
A	（新規）化粧ＧＢ ｔ9.5
B	（新規）ケイ酸カルシウム板76 目透シ ＥＰ塗
C	（新規）ラワン合板 ｔ9
D	（新規）化粧ケイ酸カルシウム板76 目透シ （シーリング工法）
E	ジャパナイト吸音テックス張替 （既存品再使用）ＥＰ塗替
F	半貫通穴あき石膏ボード ｔ9 張替 （既存品再使用）ＥＰ塗替



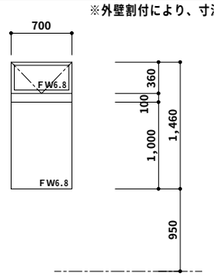
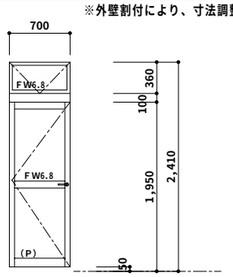
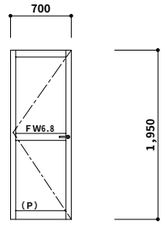
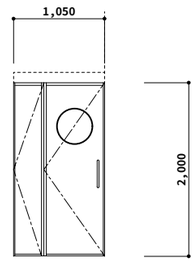
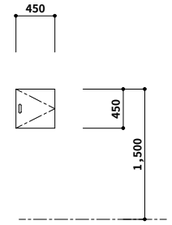
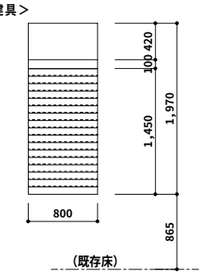
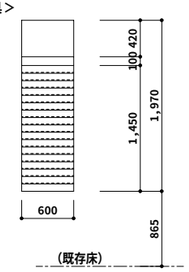
（改修）１階天井伏図　1/50

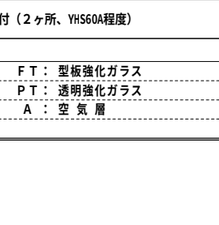
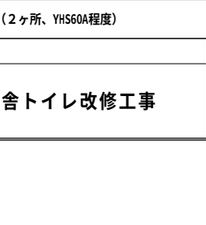


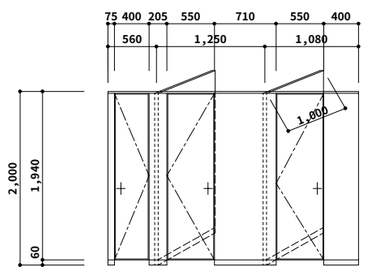
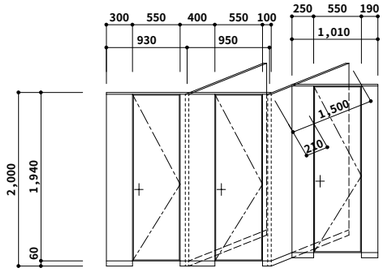
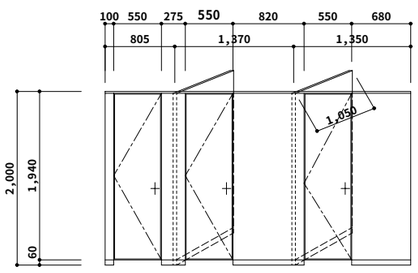
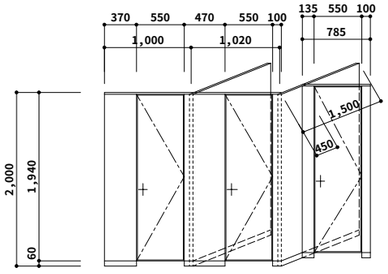
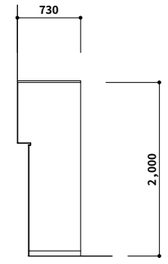
（改修）２階天井伏図　1/50

特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事	（改修）１階 天井伏図	S=1/50		一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A/21
			（改修）２階 天井伏図	S=1/50							
				S=1/							

<図面サイズ：A2>

番号・名称	AW－101 （内倒しランマ付 Ｆｉｘ窓）	AD－101 （内倒しランマ付 片開き框ドア）	AD－102 （片開き框ドア）	LSD－101 （軽量鋼板自由開き折れ戸）	SD－101 （片開き点検扉）	AW－1 （ＦＩＸランマ付ジャロジー窓）	AW－2 （ＦＩＸランマ付ジャロジー窓）
姿図・寸法	※外壁割付により、寸法調整可 	※外壁割付により、寸法調整可 	※外壁割付により、寸法調整可 			＜既存建具＞ 	＜既存建具＞ 
場所・個数	２階男子トイレ　1カ所	２階女子トイレ　1カ所	２階 印刷室　1カ所	１階多目的トイレ　1カ所	１階女子トイレ　２階男子トイレ　2カ所	１階男子トイレ　1カ所	１階女子トイレ　1カ所
仕上材料	アルミ（シルバー）	アルミ（シルバー）	アルミ（シルバー）	化粧鋼板（標準色）　t＝0.5 枠・点検カバー：ＳＯＰ塗	スチール　ＳＯＰ塗	アルミ（シルバー）	アルミ（シルバー）
使用金物	網戸、アルミ額縁（四方）、付属金物一式	SUS丁番、サムタン付シリンダー錠、レバーハンドル SUS沓ズリ、アルミ額縁（四方）、付属金物一式	SUS丁番、サムタン付シリンダー錠、レバーハンドル SUS沓ズリ、アルミ額縁（四方）、付属金物一式	回転ハンドル、表示錠（非常開錠付） 手詰防止ゴム、標準小窓（丸型）	ワンタッチ平面ハンドル（鍵付）、付属金物一式		
使用ガラス	FW 6.8	FW 6.8　腰：アルミパネル ｔ2	FW 6.8　腰：アルミパネル ｔ2	F4	---		
備考（見込）	外付けサッシ、網戸(ﾗﾝﾏ)付　見込：（枠見込： 70 ）	外付けサッシ、網戸(ﾗﾝﾏ)付　見込：（枠見込： 70 ）	外付けサッシ　見込：（枠見込： 70 ）	見込： 36 （枠見込：125 ）	点検用扉　見込：25程度） （枠見込：50程度）	改修内容　既存額縁撤去の上新規木製額縁取付	改修内容　既存額縁撤去の上新規木製額縁取付

番号・名称	WD－101 （額入り 片開きフラッシュドア）	WD－102 （額入り 片開きフラッシュドア）	WD－103 （額入り 片開きフラッシュドア）	WD－104 （両開きフラッシュドア）			
姿図・寸法	額：125*1700程度 	額：125*1700程度 	額：125*1700程度 				
場所・個数	１階男子トイレ　1カ所	１・２階女子トイレ　2カ所	２階男子トイレ　1カ所	２階女子トイレ　1カ所			
仕上材料	メラミン化粧板張	メラミン化粧板張	メラミン化粧板張	ポリエステル化粧合板　裏面：シナ合板			
使用金物	ＳＵＳ丁番、押 棒、ドアクローザ	ＳＵＳ丁番、押 棒、ドアクローザ、戸当り（床面）	ＳＵＳ丁番、押 棒、ドアクローザ、戸当り（床面）	ＳＵＳ丁番、取 手、キャッチ、アームストッパー			
使用ガラス	アクリル板 ｱ3	アクリル板 ｱ3	アクリル板 ｱ3	---			
備考（見込）	アンダーカット　見込： 40 床見切り：ＳＵＳ製　（枠見込： 123 ）	アンダーカット　見込： 40 床見切り：ＳＵＳ製　（枠見込： 123 ）	アンダーカット　見込： 40 床見切り：ＳＵＳ製　（枠見込： 123 ）	見込： 35 （枠見込： 80 ）			

番号・名称	ＴＢ－101（トイレブース）	ＴＢ－102（トイレブース）	ＴＢ－103（トイレブース）	ＴＢ－104（トイレブース）	ＴＢ－105（隔て板）
姿図・寸法					
場所・個数	１階男子トイレ　１カ所	１階女子トイレ　１カ所	２階男子トイレ　１カ所	２階女子トイレ　１カ所	１階男子トイレ　１カ所
仕上材料	メラミン化粧板張り　アルミエッジ付き	メラミン化粧板張り　アルミエッジ付き	メラミン化粧板張り　アルミエッジ付き	メラミン化粧板張り　アルミエッジ付き	メラミン化粧板張り　アルミエッジ付き
使用金物	中心吊グレティヒンジ、表示付ラッチ錠（非常開錠付）、ストライク、戸当り ＳＵＳ幅木（Ｈ＝６０）、ＳＵＳコ型頭ツナギ	中心吊グレティヒンジ、表示付ラッチ錠（非常開錠付）、ストライク、戸当り ＳＵＳ幅木（Ｈ＝６０）、ＳＵＳコ型頭ツナギ	中心吊グレティヒンジ、表示付ラッチ錠（非常開錠付）、ストライク、戸当り ＳＵＳ幅木（Ｈ＝６０）、ＳＵＳコ型頭ツナギ	中心吊グレティヒンジ、表示付ラッチ錠（非常開錠付）、ストライク、戸当り ＳＵＳ幅木（Ｈ＝６０）、ＳＵＳコ型頭ツナギ	ＳＵＳ幅木（Ｈ＝６０）、ＳＵＳコ型頭ツナギ
使用ガラス	----	----	----	----	----
備考（見込）	小物棚取付（２ヶ所、YHS60A程度）　見込： 40	小物棚取付（３ヶ所、YHS60A程度）　見込： 40	小物棚取付（２ヶ所、YHS60A程度）　見込： 40	小物棚取付（２ヶ所、YHS60A程度）　見込： 40	見込： 40

特記事項

Ｆ ： 型板ガラス	ＦＴ： 型板強化ガラス
ＦＬ： フロート板ガラス	ＰＴ： 透明強化ガラス
ＦＷ： 網入り型板ガラス	Ａ ： 空 気 層
ＰＷ： 網入り磨き板ガラス	

一級建築士事務所
株式会社 山本設計事務所
ＴＥＬ 仙台（022）233-6028（代）

工事名称：平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事

図面名称：建具表

S＝1/50
S＝1/
S＝1/

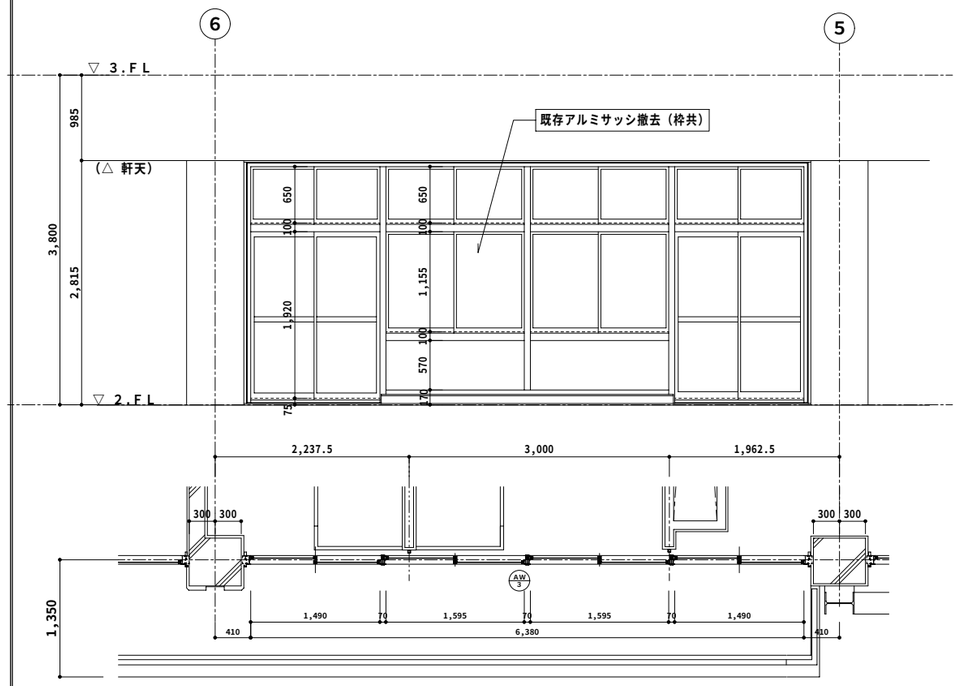
管理建築士：一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤 久

承認印 | 検印 | 係員 | 作図

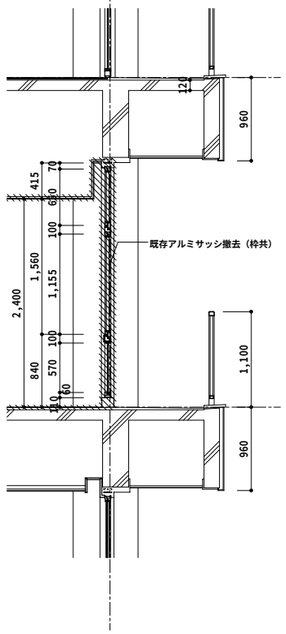
図面番号：A／22

<図サイズ：A2>

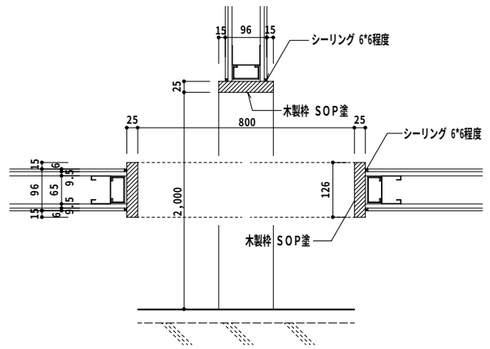
（既存）２階北側立面図　1/50



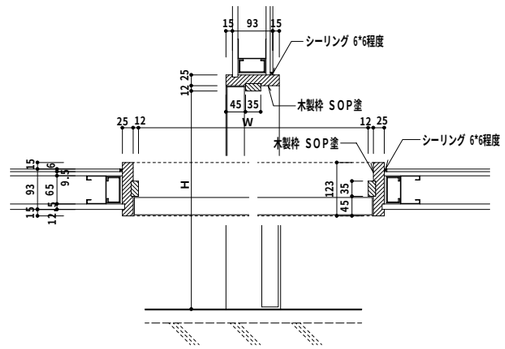
（既存）２階北側断面図　1/50



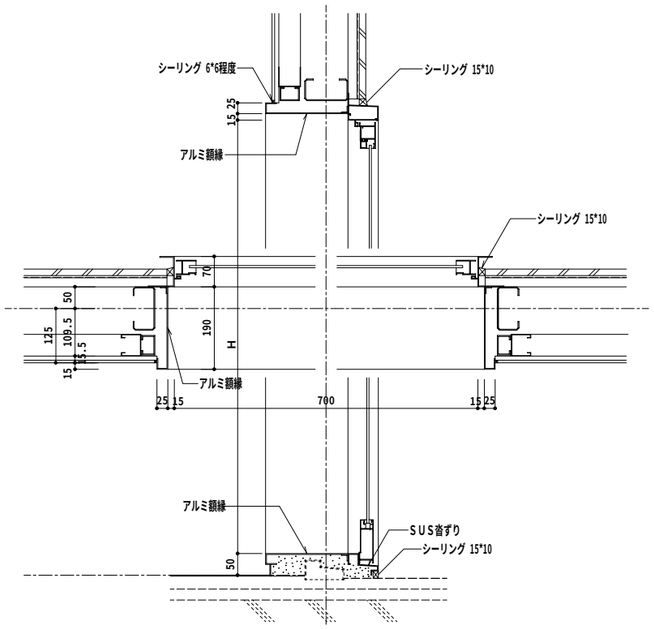
（改修）開口枠詳細図　1/10



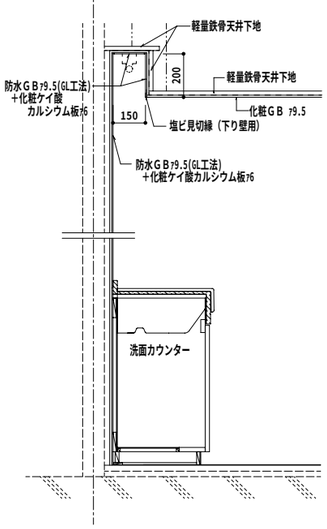
（改修）木製建具枠詳細図　1/10



（改修）アルミサッシ廻り詳細図　1/10

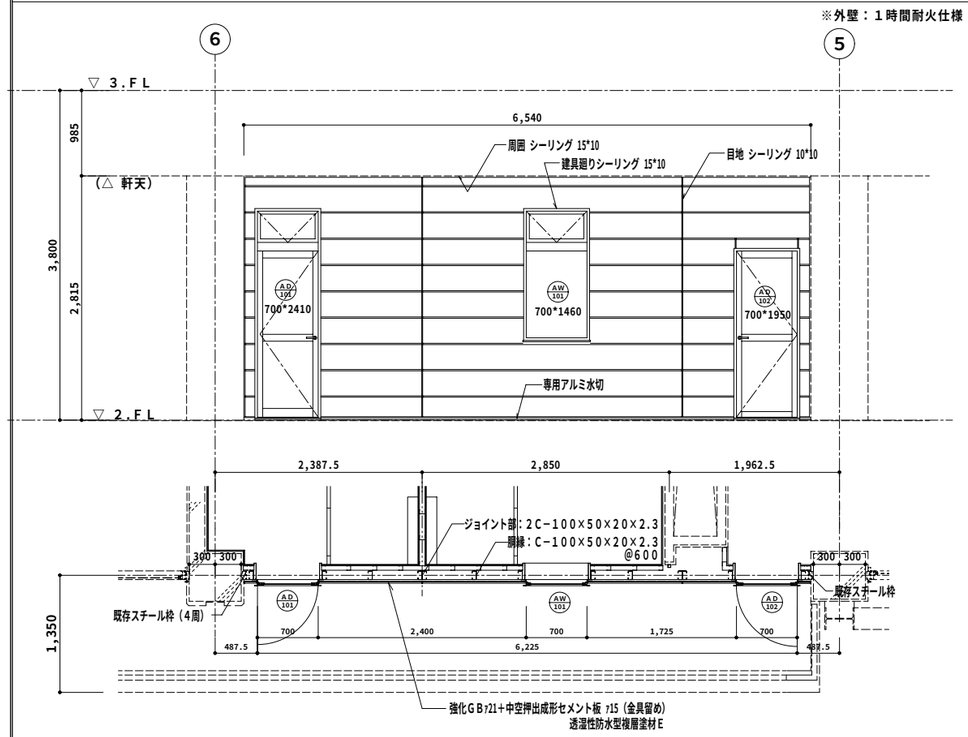


（改修）間接照明部分詳細図　1/20

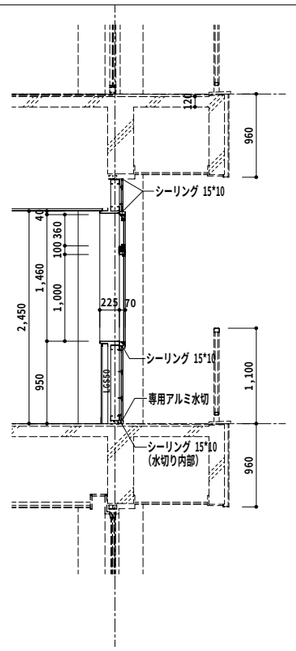


（改修）２階北側立面図　1/50

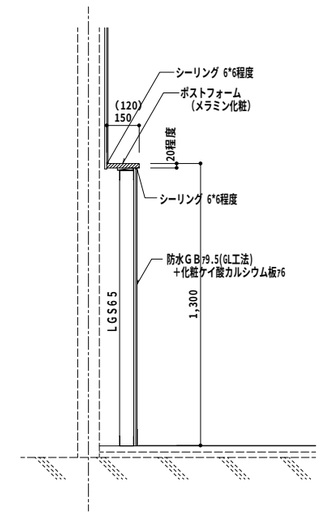
※外壁：１時間耐火仕様



（改修）２階北側断面図　1/30



（改修）ライニング断面詳細図　1/20



特記事項

一級建築士事務所
株式会社　山本設計事務所
ＴＥＬ 仙台（022）233-6028（代）

工事名称
平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事

図面名称		
	（既存）２階北側立面図	S=1/50
	（改修）２階北側立面図	S=1/50
	（改修）部分詳細図	S=1/10・20

管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久					A／23

<図面サイズ：A2>

共通仕様

「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

1 本体・棚板　室内VOC（ ホルムアルデヒド等 ）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した
両面メラミン化粧パーティクルボード（ ユニボードピュアＨｉ ）厚さ２０mm、Ｆ☆☆☆を使用する。
両面メラミン化粧パーティクルボード（ ユニボードピュアＨｉ ）は、ＪＩＳ－Ａ５９０８適合、グリーン購入法適合品とし、
新ＪＩＳマーク認定工場での生産品とする。

2 木口処理　躯体からの水分浸入を防ぐ為に、本体は背面も含めてフラットエッジ（ ＡＢＳ製樹脂をホットメルト練付 ）加工とする。
開き扉・抽斗前板はセフティーエッジ（ ＡＢＳ製　厚さ3mm又は木樹脂　厚さ2mm　ホットメルト練付 ）加工とする。

3 表面処理　本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制する為に鉛筆硬度　９Ｈ　以上の表面材を使用する。
本体色については色見本帳（ ４２色以上 ）を提出の上決定する。

4 裏板　ポリ化粧合板　Ｆ☆☆☆☆　厚さ4mm　を使用し片面フラッシュ（ ４５０mm　ピッチ以内に格子状桟組構造 ）とする。

5 巾木・台輪　耐水性があるポリ化粧合板仕上げ　Ｆ☆☆☆☆（ 塗装不要 ）とする。

6 建具　板戸・戸枠はくるいやホゾ抜け防止の為、１枚物の両面メラミン化粧パーティクルボード（ ユニボードピュアＨｉ ）厚さ２０mmで製作する。
戸枠付きガラス戸は安全性の為、透明強化の刻印入り　厚さ4mmを使用し　樹脂成型　押縁（ ＡＢＳ製 ）で固定する。

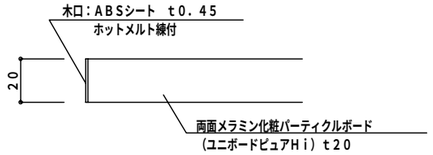
7 把手・蝶番　抗菌機能のある樹脂成型品（ ＡＢＳ製 ）把手・引手を使用する。
蝶番はメンテナンスが容易なキャッチ機構付１１０°開きインターマートヒンジを使用する。

8 抽斗箱　細菌・カビ・悪臭のつきにくい樹脂化粧ＭＤＦ　厚さ１５mmで開閉がスムーズなＭＳスライドレールを使用する。
安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ　φ８－Ｍ６を使用する。

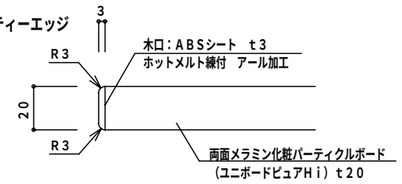
9 棚板受け　棚板は、外れ止めの為のダボ受けシャクリ加工をする。

10 特記事項　品質確保の為、製作は ＩＳＯ ９００１ 取得工場とする。
製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材・金物の承認を受ける。
室内空気清浄保持の為に、学校環境衛生基準に対して参考となる類似製品のＶＯＣ測定データを提出する。

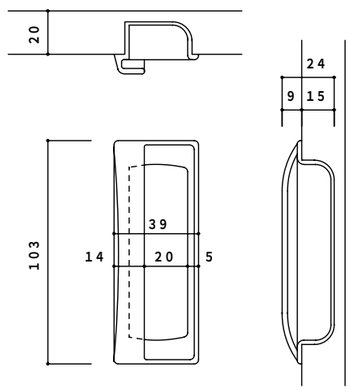
フラットエッジ



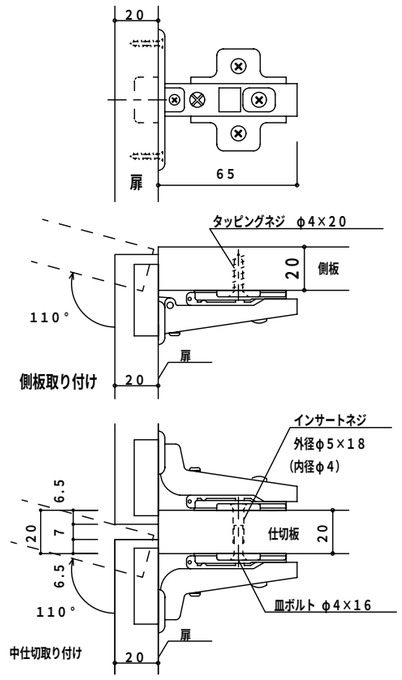
セフティーエッジ



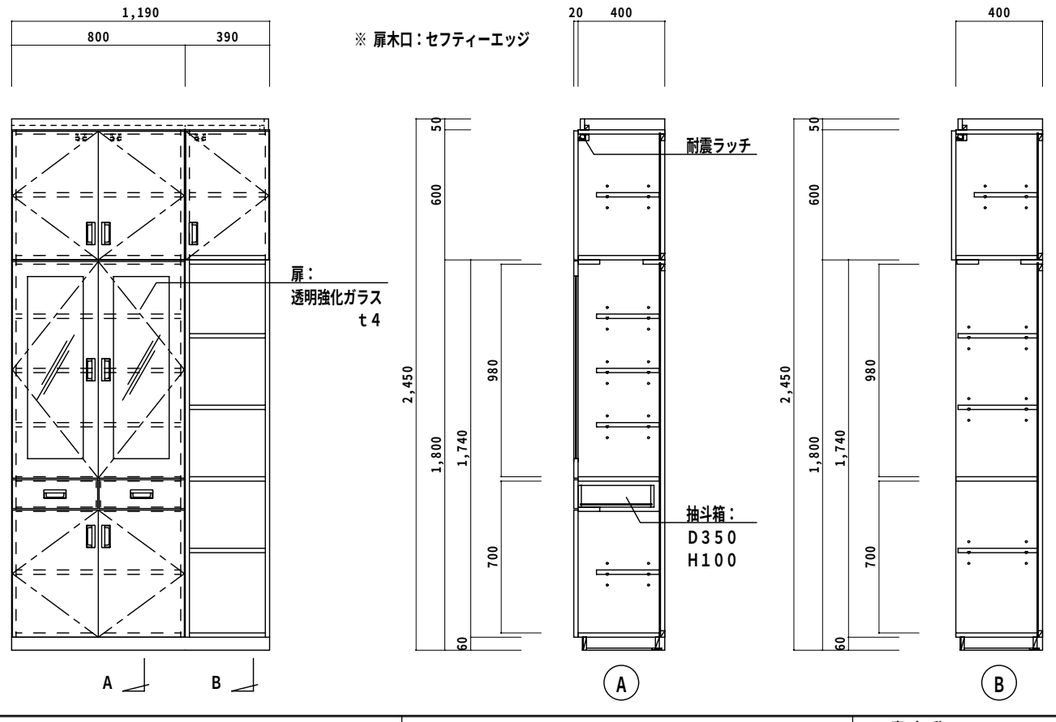
把手（扉・抽斗用）詳細図



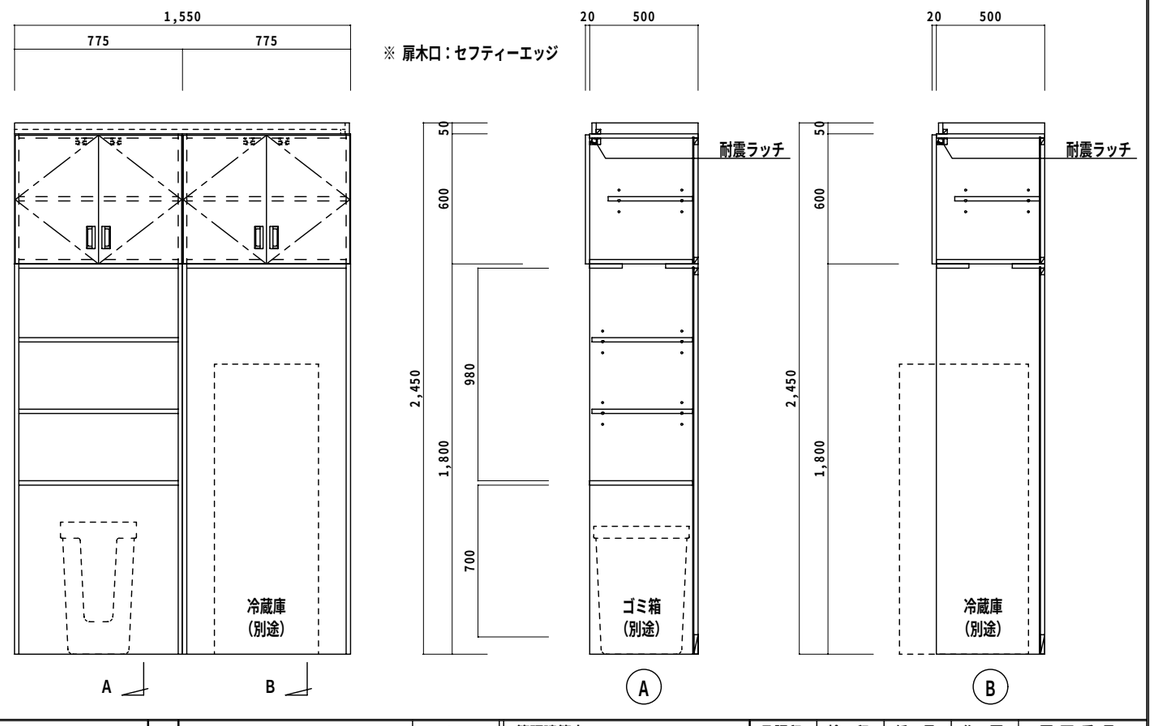
キャッチ機構付インターマートヒンジ１１０°詳細図



①　収納戸棚　２階　湯沸室　１ヶ所　１／２０



②　収納戸棚　２階　湯沸室　１ヶ所　１／２０

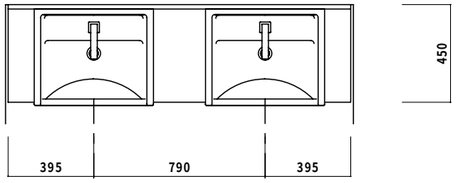


特記事項	一級建築士事務所 株式会社　山本設計事務所 ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称		管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事	造付家具詳細．１	S=1/20 S=1/ S=1/	一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久		斎藤		斎藤	A/24

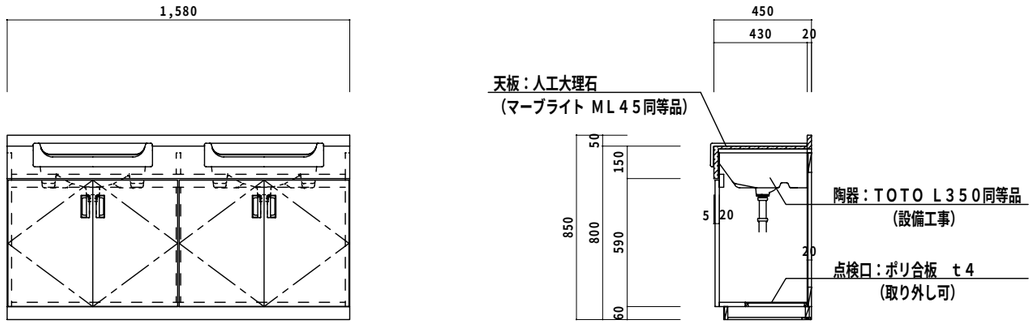
<図面サイズ：A2>

③ 洗面カウンター　１階・２階　男女洗面　計３ヶ所　１／２０

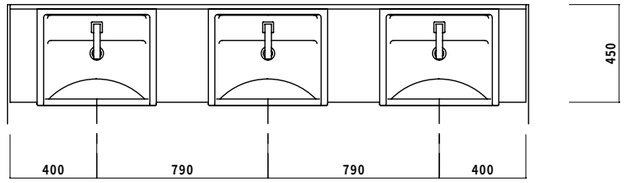
	部屋名	箇所
A	1階　男子洗面	1
B	1階　女子洗面	1
C	2階　男子洗面	1



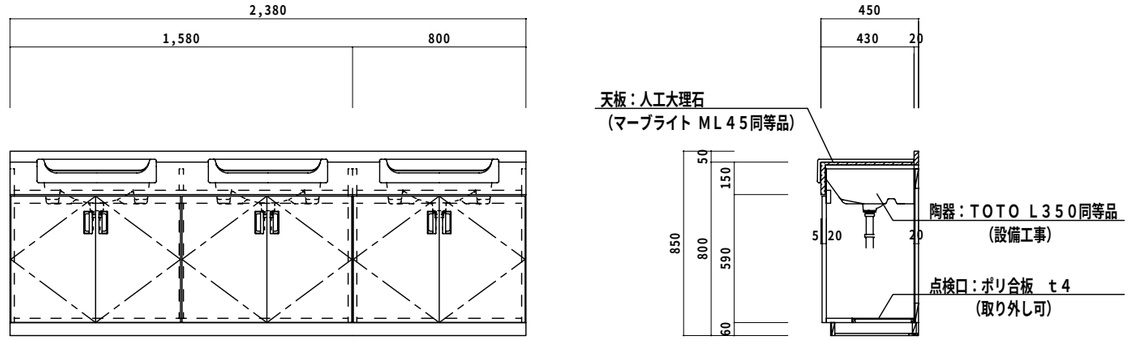
※ 扉木口：セフティーエッジ



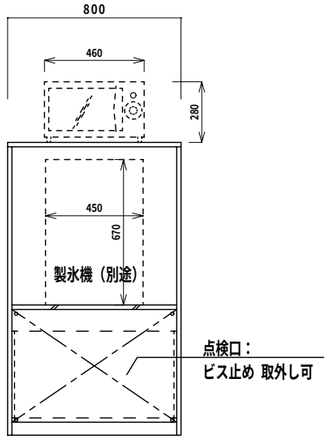
④ 洗面カウンター　２階　女子洗面　１ヶ所　１／２０

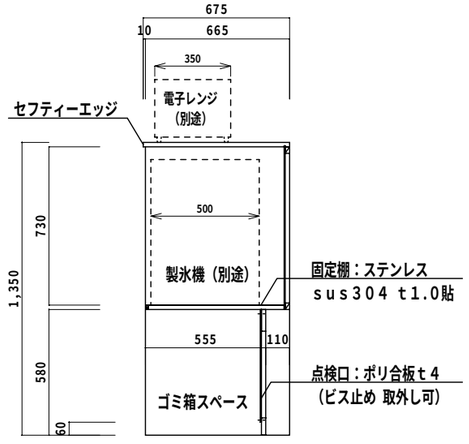


※ 扉木口：セフティーエッジ



⑤ 収納棚　２階　湯沸室　１ヶ所　１／２０





特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	造付家具詳細．２	S=1/20 S=1/ S=1/	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事				一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	A／25

<図面サイズ：A2>

電気設備改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

１．工事名称　役場庁舎トイレ改修工事

２．工事場所　宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺５－１

３．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
七ヶ浜役場	ＲＣ	３階	2400.32㎡		１５項	

４．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 トイレ改修工事	屋外	備考
◎電灯設備	改修一式		
・動力設備			
・電熱設備			
・雷保護設備			
・受変電設備			
・電力貯蔵設備			
・発電設備			
・構内情報通信網設備			
・構内交換設備			
・情報表示設備			
・映像・音響設備			
・拡声設備			
◎誘導支援設備	改修一式		
・テレビ共同受信設備			
・監視カメラ設備			
・防犯・入退室管理設備			
・自動火災報知設備			
・中央監視制御設備			
・			
・構内配電線路			外灯設備を含む
・構内通信線路	別紙仕様書による		
・電波障害調査			

５．指定部分　※　なし　・　あり（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　　）

Ⅱ．特記仕様書

１．一般事項

（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，平成２２年版），公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編，平成２２年版），国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，平成２２年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（平成２２年版）」による。

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図，建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

２．特記事項

（１）項目は番号に◎印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は，◎印の付いたものを適用する。◎印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	※　建設工事執行規則(昭和３９年３月宮城県規則第９号) ※　宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ※　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（平成２１年４月１日施行）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施行に当たっては，「所有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド径は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリンが不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，請負者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑧ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	９．工事実績情報の登録（CORINS）	請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を，監督職員に提出のこと。（請負額が2,500万未満の場合は，受注時のみ）
	⑩ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑪ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⑫ 工事用電力，水	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	13．工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	⑭ 監督員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事）
	⑮ 足場，さん橋類	・　別契約の隣接請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・　本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑯ 工事表示板	※　設置する　設置枚数　１枚 宮城土事における工事及び表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。 ・　設置しない
	⑰ 工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	⑱ 発生材の処理等	発生材の処理 ・　引渡しを要するもの　（　　） ・　特別管理産業廃棄物　（・　PCB使用機器　・　　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　　） ◎　再資源化を図るもの

蛍光管			

◎　その他安定型廃棄物　（照明器具　　）
受入施設名・所在地　：（財）宮城県環境事業校舎　小鶴沢処理場）
・　その他管理型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
ＰＣＢを含有する機器等については，飛散，流出がないように適切な場所に保管し，工事完了後，監督職員に引き渡す。

⑲ 残土処理	※　構内指示の場所に敷き均し　・構内指示の場所に堆積　・構外搬出	
⑳ 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。本工事の施設分類は（　・　特定の施設　・一般の施設　）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。	

設計用標準震度	特定の施設		一般の施設	
設置場所	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
・　配電盤　・　発電装置　・　ＵＰＳ装置　・　直流電源装置
・　交換機　・　受信機（自立型）　・　中央監視装置　・　情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。

一般共通事項

㉑ 他工事との工事区分　他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。

㉒ 保温，結露防止　外部に面する壁，天井でＰＦ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。

㉓ 電線類　本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編　通信情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1　電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。
（ＥＭ－ＭＥＥＳ）

㉔ 合成樹脂製可とう管　合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ－25とする。

㉕ 二種金属製可とう管　露出箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし
いんぺい箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし

㉖ 電線本数，管路など　分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受け計変更してもさしつかえない。

㉗ インサート　鋼鈑製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。

㉘ 呼び線　長さ１ｍ以上の通線しない電線管には，１．２ｍ以上のビニル被覆鉄線を通線する。

㉙ フラッシュプレート　図面に特記なき場合，（　※　金属製（ステンレス・新金属も含む）　・　樹脂製　）とする。

㉚ フロアプレート・ベース　※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　鋼合金製　・　アルミ合金製

㉛ ハンドホール蓋　県章およびチェーン付のものとする。

㉜ 支持金物，固定金物　屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。

㉝ あと施工アンカー　施工方法　・　接着系　（　※　有機系　・　接着剤　）
・　金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　）
性能・施工確認　※　行わない　・　行う

㉞ 接地極の種別・表示等　接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００ｍｍとする。
ただし，Ｄ＝１０は１，０００ｍｍ，Ｗ＝３０は１，２００ｍｍとする。
装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×３連一組
・　共用接地	EA・ED・ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×３連一２組
・　共同接地	EA・EC・ED	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×３連一２組
・　Ａ種	EA	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×３連一２組
・　Ｂ種	EB	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×２
・　Ｃ種	EC	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×３連一２組
・　Ｄ種	ED	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×１
・			
・　構内交換機（隔極）用	Et	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×３連一組
・　本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×３連一２組
・　電話引込口の保安器	EDt	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×１
・　拡声増幅器	EDa	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×１
・　防犯装置用	ES	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×３連一組
・			
・　測定用	Eo	―――	ＥＢ(Ｄ＝10又は16Ｗ＝30)×１
・　避雷設備用（低圧用）	ELL	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×３連一２組
・　避雷設備用（高圧用）	ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は16Ｗ＝40)×３連一２組
・　構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

㉟ 塗装工事　下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※　屋外　※　厨室　・

㊱ 山留め　切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが1.5mを超える場合には，山留めを行うものとする。

㊲ 舗装工事　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事）２２章（舗装工事）及び建築工事監理指針（舗装工事）による。

㊳ はつり　既存コンクリート床，壁などの配管貫通は，原則としてダイヤモンドカッターによる。

㊴ 再使用機器　再使用する機器は，現場内で清掃，絶縁抵抗測定のうえ，取り付ける。

㊵ 撤去後の補修等　機器撤去後の天井，壁及び床等の補修は，既存仕上げと同等とする。なお，施工に際し，既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は，原状に復旧する。

41．アスベスト　アスベストについては，労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。
アスベスト使用状況（　　）

42．有害物質の取り扱い　ＰＣＢ（変圧器，コンデンサ，安定器等），鉛・カドミウム（鉛蓄電池，小形二次電池等），水銀，放射性物質（イオン化式感知器等）の有害物質の含有を掲出前に確認し，監督職員に報告書を提出するとともに，その処理方法を監督職員と協議し，関係法令に基づき適正に取り扱うこと。

電灯設備

① 工事範囲　◎　配管　◎　配線　◎　分電盤類

② 電気方式　◎　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ
◎　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ
◎　分岐　単相２線式　１００Ｖ

③ 施工方法　幹線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線
分岐　電灯　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　○　ケーブル配線
コンセント　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　フロアダクト配線
屋外露出　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　○　ケーブル配線
ボックス　◎　合成樹脂製　・　金属製

④ 蛍光灯　蛍光灯器具安定器の種別および点灯方式，力率，定格入力電圧，周波数は図示以外は下記による。

蛍光灯の種類			標準図記号
直管形のランプ	２０形	防雨形器具，防湿形器具，シーリングライトプルスイッチ付き電池内蔵形非常用照明器具	ＧＬ １５
		上記以外のもの	ＧＨ １５
高輝度誘導灯			Ｅ １５
Ｈｆ形のランプ		ルーバー又は照明カバー付，防雨形，防湿形	ＰＨ ９５
		ルーバー又は照明カバーが取付可能な器具	ＰＴ ９５
		センサー等と組み合わせて連続調光を行う器具	ＰＸ ９５
		連続調光に使用する器具	ＰＺ ９５
		初期照度補正制御を行う器具	ＰＫ ９５
		上記以外の露出形及び下面開放形	ＰＮ ９５
コンパクト形のランプ	Ｈｆ形	ＦＨＰ３２形 ＦＨＰ４５形 ＦＨＴ３２形 ＦＨＴ４２形 ＦＨＴ４８形	ＰＮ ９５

⑤ 蛍光ランプ　◎　省エネ形（　・　全部　・　廊下を行う部屋，廊下などに限る。）　・　一般形

⑥ 非常用照明器具　※　電池内蔵形　・　電源別置形
※　飛び出し形　・　外壁固定形

⑦ 照度測定　照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。

⑧ ハイテンションアウトレット　※　鋼合金製　・　アルミ製

⑨ 人感センサープレート　照明の人感センサー制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。

１０．予備配管　埋込形分電盤からの立上り予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。
梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。

動力設備

① 工事範囲　・　配管　・　配線　・　制御盤類

② 電気方式　・　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ
・　分岐　三相３線式　２００Ｖ

③ 施工方法　幹線　・　金属管配線　・　ケーブル配線
分岐　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線
屋外露出　・　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　ケーブル配線
ボックス　・　合成樹脂製　・　金属製

④ 警報盤　※　壁掛形（電源装置　※　内蔵　・　別置　）　・

⑤ 電磁開閉器用押釦（遠方操作用）　※　埋込通用形配線器具　・

⑥ 機器への接続　電動機などへの接続は本工事とする。

⑦ 電動機等の接地　図示以外は金属管接地とする。

⑧ 進相用コンデンサ　各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。

⑨ 電気自動車用急速充電装置　・　機器類　・
・　定格容量　ｋＶＡ

電気設備

① 工事範囲　◎　機器類　・

② 電気方式　◎　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ
・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ

③ 引込ケーブル　・　ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・　ＥＭ－ＣＥＴ６０°
・　ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・　ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・

④ 配電盤　・　屋内形　○　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す）
◎　キュービクル式配電盤　・　高圧開閉器配電盤　・

⑤ 主遮断装置　※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・　高圧交流遮断器（ＣＢ）
定格遮断電流　ｋＡ

⑥ 高圧機器類　◎　油入式　・　乾式

⑦ 変圧器　◎　単相変圧器　２００　ｋＶＡ　○　三相変圧器　３００　ｋＶＡ
（油入式：ＪＩＳＣ４３０４-２００５適合品 乾式：ＪＩＳ Ｃ４３０６-２００５適合品）

⑧ 進相用コンデンサ　※　低圧　◎　高圧　◎　６％　・　１３％

⑨ リアクル　◎　６％　・　１３％

⑩ 自動力率制御装置　※　無効電力検出方式　・　力率検出方式

11．測定用補助接地極　・　設置

受変電設備

① 工事範囲　・　機器類　・

② 形式　・　簡易形　・　キュービクル式　・　オープン形　・
・　屋内形　・　屋外形

③ 発電機　電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ

④ 原動機　種類　・　ディーゼル　・　ガスタービン　・
定格出力　ｋＷ以上（　・　ＰＳ以上）
始動方式　※　電気式　・　空気式
冷却方式　・　ラジエータ式　・　水冷循環式

⑤ 燃料　種類　・　軽油　・　灯油　・　Ａ重油
燃料小出槽　Ｌ
主貯油槽　・　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：　　）

⑥ 太陽光発電装置　太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ
パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋＷ

発電設備

① 工事範囲　・　機器類　・

② 形式　・　簡易形　・　キュービクル式　・　オープン形　・
・　屋内形　・　屋外形

③ 発電機　電気方式　三相３線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ

④ 原動機　種類　・　ディーゼル　・　ガスタービン　・
定格出力　ｋＷ以上（　・　ＰＳ以上）
始動方式　※　電気式　・　空気式
冷却方式　・　ラジエータ式　・　水冷循環式

⑤ 燃　料　種類　・　軽油　・　灯油　・　Ａ重油
燃料小出槽　Ｌ
主貯油槽　・　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：　　）

⑥ 太陽光発電装置　太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ
パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　ｋＷ

構内交換設備

① 工事範囲　・　交換機　・　電話機　・　配線（　・　全部　・　端子盤以降　）

② 電話交換機　形式　・　ボタン電話装置　・　ＰＢＸ
回線数　局線　／　回線　内線　／　回線

③ 電話機への配線　電話機１台につき，下記のものを見込む。
・　ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ　（　・　２０ｍ　・　）
・　ＥＭ－ＥＢＴ０．４－２Ｐ　（　・　２０ｍ　・　）
・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法２０×８）１．５ｍ

④ ローテンションアウトレット（亀甲形）　※　一般電話用　個（　・　納入する　・　取り付ける　）
※　鋲合金製　・　アルミ製

⑤ 保守盤用接地　※　本工事　・　別途工事

通信・情報設備

① 工事範囲及び施工方法

項目	配管	配線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線
・　構内情報通信網	・	・	・	・	・	・
・　情報表示	・	・	・	・	・	・
・　映像・音響	・	・	・	・	・	・
・　拡声	・	・	・	・	・	・
◎　誘導支援	◎	◎	◎	◎	・	◎
・　テレビ共同受信	・	・	・	・	・	・
・　監視カメラ	・	・	・	・	・	・
・　防犯・入退室管理	・	・	・	・	・	・

ボックス　◎　合成樹脂製　・　金属製　・

② 構内情報通信網設備　種類　・　１０ＢＡＳＥ－Ｔ　・　１００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・　１０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・　ＡＴＭ
・　・

③ 情報表示設備　・　情報表示盤　（　・　発光ダイオード式　・　プラズマ式　・　液晶式　）
・　親時計　回線（　※　壁掛形　・　自立形　）
（　・　電子チャイム組込　・　プログラムタイマー組込　）

④ 映像・音響設備　・　増幅器　Ｗ
・　ＶＴＲ　（　・　ＤＶＤ　・　ＤＶ　・　Ｓ－ＶＨＳ　・　）
・　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　）
・　音響設備　（　・　ＣＤ　・　ＭＤ　・　カセット　・　）

⑤ 拡声設備　・　一般放送用　・　非常放送兼用
・　増幅器　Ｗ（　※　卓上形　・　キャビネットラック形）

⑥ 誘導支援設備　・　身体障害者用インターホン　◎　トイレ呼出装置　・　音声誘導装置

⑦ テレビ共同受信設備　・　テレビアンテナ（　・　ＡＶ－　・　ＡＵ－　・　ＢＳＡ－　・　ＣＳＡ－　）
・　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　・　自立形　）
・　ＢＳ用アンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　）

⑧ 監視カメラ設備　・　白黒方式　・　カラー方式

⑨ 防犯・入退室管理設備　・　接地工事（　※　本工事　・　別途　）

火災報知設備

① 工事範囲　・　配管　・　配線　・　機器類

② 火災報知装置　・　壁掛形　・　自立形
・　受信機　型　級　回線（　アドレス）
・　複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線）
・　副受信機　型　級　回線
・　機器収容箱　・　専用形（　・　埋込形　・　露出形　）　・　屋用消火栓箱に組込み
・　感知器類　型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）

③ 非常警報装置　・　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置

④ 自動閉鎖装置　・　連動制御盤　回線（遠方復帰機構　回路）
・　単独（　・　壁掛形　・　自立形）　・　火災受信機などとの複合盤
・　自動閉鎖機構　・　防火戸用（本工事，電磁式又はラッチ式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下）
・　防煙ダンパ用（別途，瞬時通電式又は電動式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下，
遠方復帰機構（電動式），ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下）
・　防火シャッター用（別途，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下）
・　自動閉鎖機構　・　排煙ダンパ（別途，排煙機運転用連動機構付）

⑤ ガス漏れ警報装置　・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用）
・　単独（　・　壁掛形　・　自立形　）　・　火災受信機などとの複合盤
・　感知器
・　供給　・　連動
・　定格電圧　（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　）
・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）

⑥ 消火器類　・　消火器　種別　・　数量　本
・　消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面

電気時計設備

１．電気方式　幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ
分岐　相　線式　Ｖ

２．施工場所及び面積　（　㎡）　・　（　㎡）

中央監視制御設備

１．工事範囲　・　配管　・　配線　・　機器類

２．監視制御対象設備　・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備

３．表示操作盤　・　壁掛形　・　自立形
組込み機器　・
・

４．監視制御装置　構成機器　・　グラフィックパネル　・　ミニグラフィックパネル
・　プラズマディスプレイ　・内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓
・　ＣＲＴディスプレイ　（・　キャラクタ　形　・　グラフィック　形）
・　中央処理装置　・　伝送端末局（子局）
・　作表用印字装置　・　雑印字装置　形
・　ロギングタイプライタ

構内配電線路

１．工事範囲　・　管路　・　配線　・　機器類

２．電気方式　・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ
・　低圧　三相３線式　２００Ｖ
・　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ
・　低圧　単相２線式　１００Ｖ

３．布設方法　※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管　）　・　架空線式

４．柱上機器　・　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐塩塩じん用
※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性）
・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用
・　高圧カットアウト，がいしなど　※　一般用　・　耐塩用

５．高圧ケーブルの端末処理　屋外側　※　一般用　・　耐塩用
※　処理者銘板取付（屋内外共，緒名，作業日，氏名を表示）

６．その他　東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。

７．外灯設備　・　定格電圧　Ｖ　Ｗ

８．次下対策　地中線路及びハンドホール等次下が考慮される場合は，次下対策を施す。（　　）

９．標識シート　・　高圧ケーブル　・　電力幹線ケーブル

10．予備配管　屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。
分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。

構内通信線路

１．工事範囲　・　管路　・　配線

２．用途　・　電話用　・　時計，拡声用　・　火災報知用

３．施工方法　※　地中埋設式（　・　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管）　・　架空線式

４．標識シート　・　弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備 名称	測点	取付高（mm）
電力共通 取引用計器	地上～型中心	約 1,800
〃 引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200
〃 分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
電灯 スイッチ（一般）	床上～中心	1,300
〃 （和室）	〃	1,200
〃 コンセント（一般）	〃	300
〃 （和室）	〃	150～200
〃 （台上）	台上～中心	100
〃 （ファン用）	床上～下端	ファン下端
〃 （調度）	床上～中心	800～1,000
〃 （車庫）	〃	1,300
〃 （機械室）	〃	500～1,000
〃 （上階）	〃	800～1,300
灯 ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300
〃 （踊場）	〃	2,000～2,500
〃 （廊上）	廊上端～中心	150
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
動力 壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
開閉器箱	〃	1,500
電熱 電磁開閉器用ボタン	〃	1,300
雷保 受信機	床上～中心	800～1,500
身障者用 警報ボタン（一般）	〃	1,300
〃 （玄関子機）	〃	1,100
廊下表示灯（復旧ボタン付）	〃	1,300
身障表示ランプ	〃	1,500
スイッチ	〃	1,100

通信設備 名称	測点	取付高（mm）
電話 引込線管の高	地上～引込点	
〃 集合保安器箱	天井下～上端	200
〃 端子盤（節下、室内）	床上～下端	300
〃 （ＥＰＳなど）	床上～中心	1,500
〃 壁付アンテナ（一般）	床上～中心	300
〃 （和室）	〃	150～200
時計 壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
〃 子時計	〃	2,300
拡声 壁掛形スピーカ	〃	2,300
〃 壁付アッテネータ	〃	1,300
通信 壁付インターホン（一般）	床上～中心	1,300
〃 （身体障害者）	〃	1,300
設備 壁付アウトレット（一般）	〃	300
〃 （和室）	〃	150～200
機器収容箱	天井下～上端	200
個別ユニット（一般）	床上～中心	300
〃 （和室）	〃	200
警報 表示盤	床上～中心	2,300
〃 壁付発信機	〃	1,300
火災報知器 ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
〃 壁付押しボタン（一般）	床上～中心	1,300
〃 （身体障害者玄関）	〃	900
雷保 受信機	床上～中心	800～1,500
副受信機	〃	800～1,500
機器収容箱	〃	800～1,500
火災報知器 受信機	〃	800～1,500
〃 表示灯	床上～中心	2,100
〃 ベル	〃	2,300
液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
都市ガス用検知器（検質）	天井～上端	150
〃 （集質）	床上～上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
１ 完成調書	営繕工事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）	１部	９ 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２ 完成図書と合本可）	１部
２ 完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし，厚さが８０ｍｍを越える場合は分冊とする。）	１部	１０ 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
３ 完成原図	三つ折りケース収納	１組			
４ 完成図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部			
５ 完成図(縮小)	青焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	２部	１１ 工事写真 ①施工写真	Ａ４版：チューブ式ファイル （着手前，施工状況，完成の各写真）	１部
６ 完成図(電子データ)	JWW又はDXF形式のCD-データもしくはTIFF形式（２００ＤＰＩ程度）	ＣＤ１枚	②完成写真	Ａ４版：ペーパーファイル 完成届に添付	１部
７ 施工図	青焼製本 Ａ１版またはＡ２版の二つ折り (施工図の枚数が少ない場合は，４ 完成図と合本可)	１部	③マイクロフィルム（完成図のみ）	３５ｍｍ ＭＦフォルダー 設備課保管用	１部
８ 機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査報告書 ④工場試験報告書 ⑤工場立会検査報告書 ⑥現場届付試験報告書 ⑦総合試運転報告書	Ａ４版：黒表紙金文字製本 （２ 完成図書と合本可）	１部	１２ 工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部

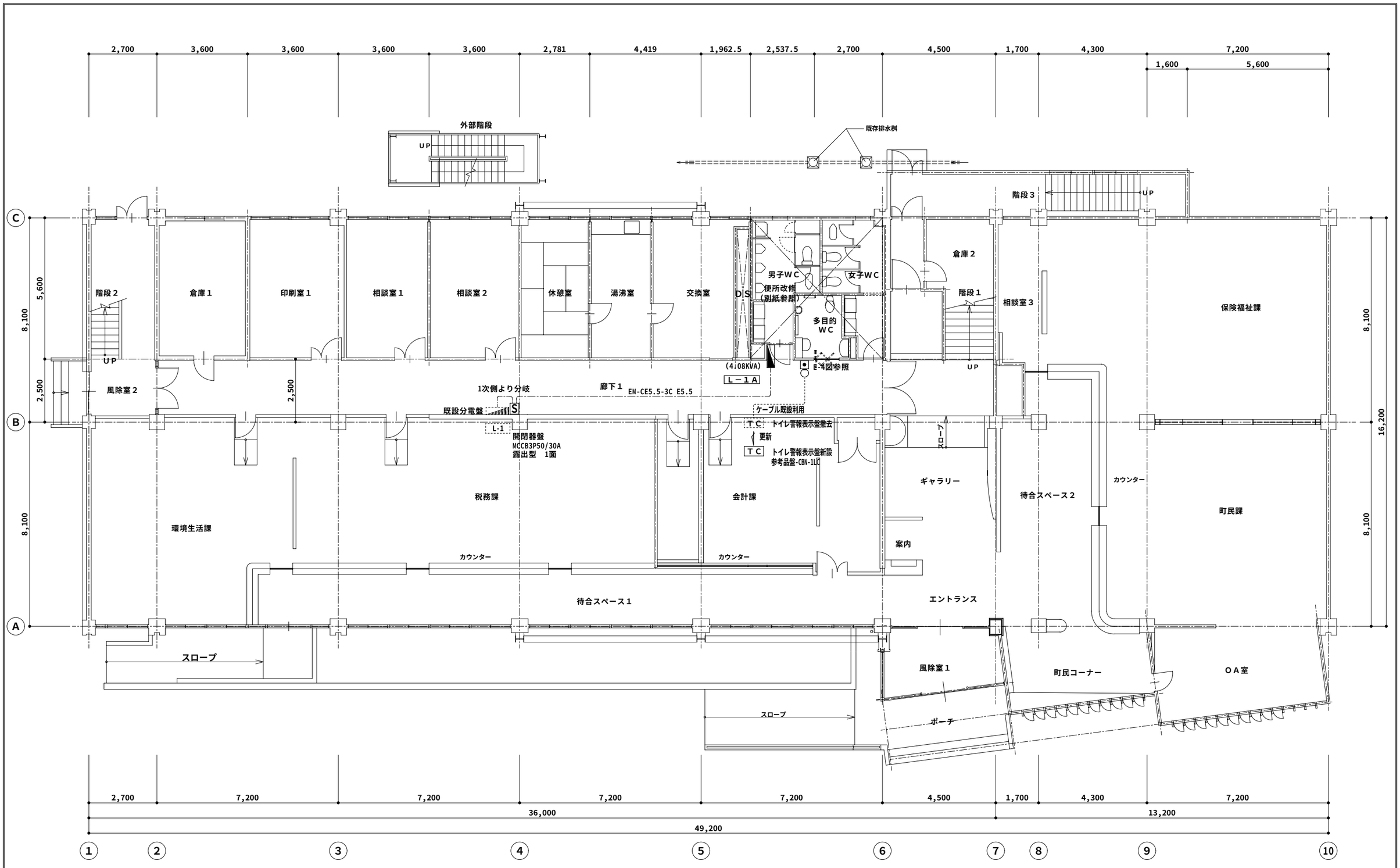
注記：機器参考図について
本図面中で，機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

特記事項

一級建築士事務所
株式会社　山本設計事務所
ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)

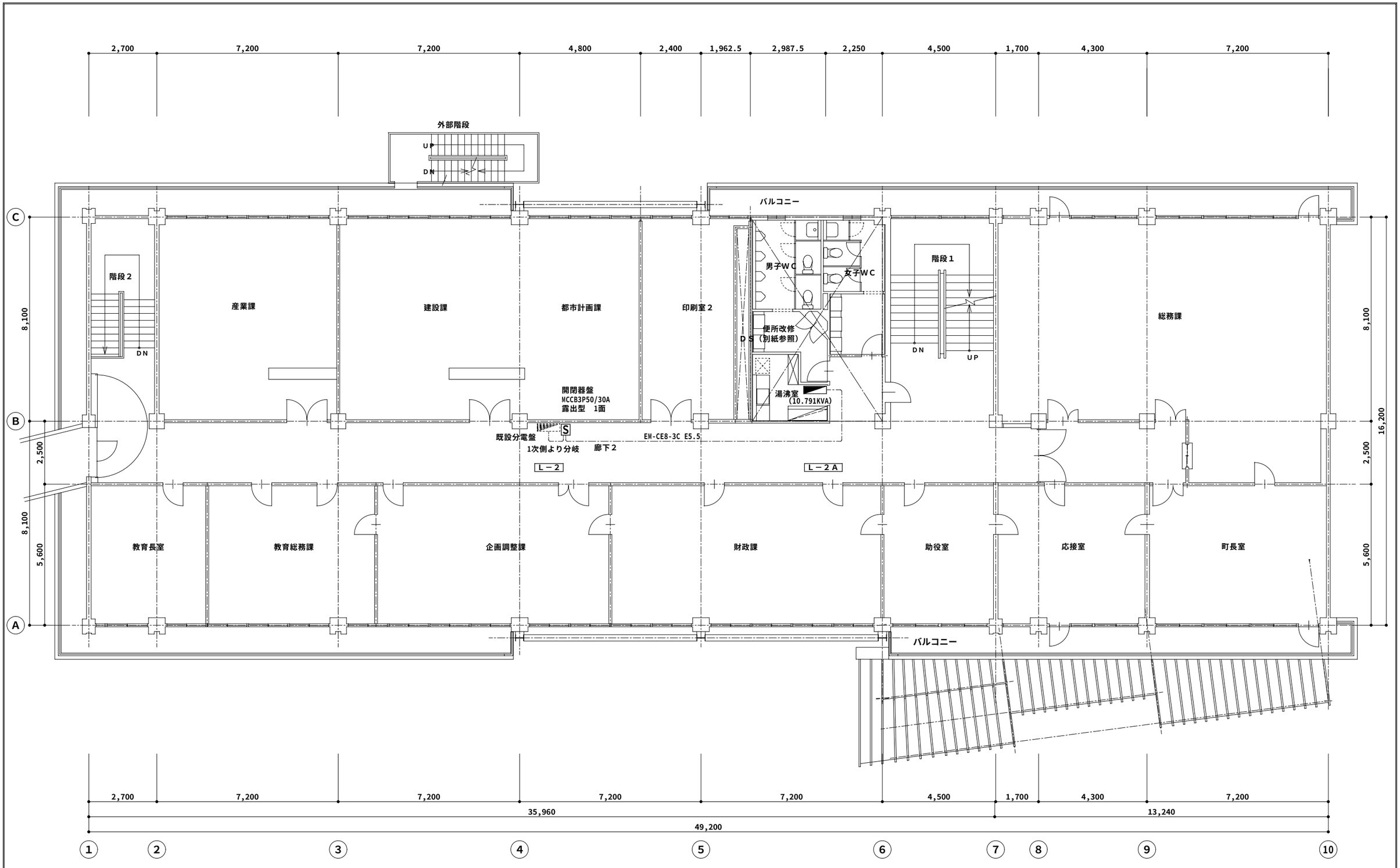
工事名称	図面名称	縮尺	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
役場庁舎トイレ改修工事	電気設備工事改修特記仕様書	S=1/N	一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		高橋	E/01
		S=1/						
		S=1/						

<図面サイズ：A2>



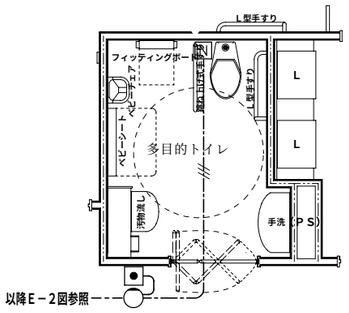
特記事項	一級建築士事務所	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
※トイレ警報表示盤設置にあたり、機器取付後に親機～子機間の試験調整を行うこと	株式会社 山本設計事務所 ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	役場庁舎トイレ改修工事	電灯幹線　設備	S＝1/100		一級建築士登録 第173121号 斎藤　久		斎藤		斎藤	E/02
			（改修）１階平面図	S＝1/							
				S＝1/							

<図面サイズ：A2>



特記事項	一級建築士事務所 株式会社　山本設計事務所 ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事	電灯幹線　設備	S＝1/100		一級建築士登録 第173121号 斎藤　久		斎藤		斎藤	E/03
			（改修）２階平面図	S＝1/							
				S＝1/							

<図面サイズ：A2>



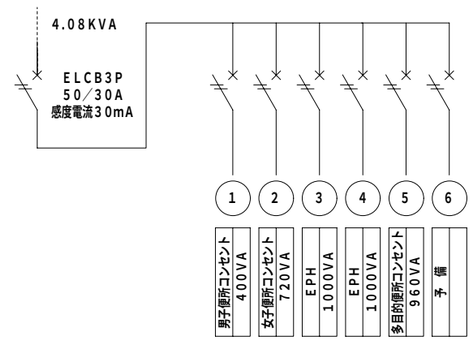
注） 特記なき配管配線は下記に依る。
・ トイレ警報設備

―・―//―・―	EM－AE1.2－3C	天井内ころがし
―――――	EM－AE1.2－2C	（PF16）

・機器凡例

TC	トイレ警報表示盤	参考品盤-CBN-1LC
○	ブザー付角型廊下灯	参考品盤-BZLA27/A
N	トイレ呼出ボタンひも付き	参考品盤-NBR-7HW
◉	復帰ボタン	参考品盤-NBR-2A-C

AC1φ3W
200V／100V



SB2P20A1E（100V）X6

注） 特記なき配管配線は下記に依る。
・ コンセント回路

――//―――	IE2.0X3（PF16）	
―・―//―・―	EEF2.0－3C（1Cは接地）	天井内ころがし
―・―///―・―	EEF2.0－2C，+3C（1Cは接地）	天井内ころがし
MM－1A	金属線び第1種　A型	

2)配線器具凡例

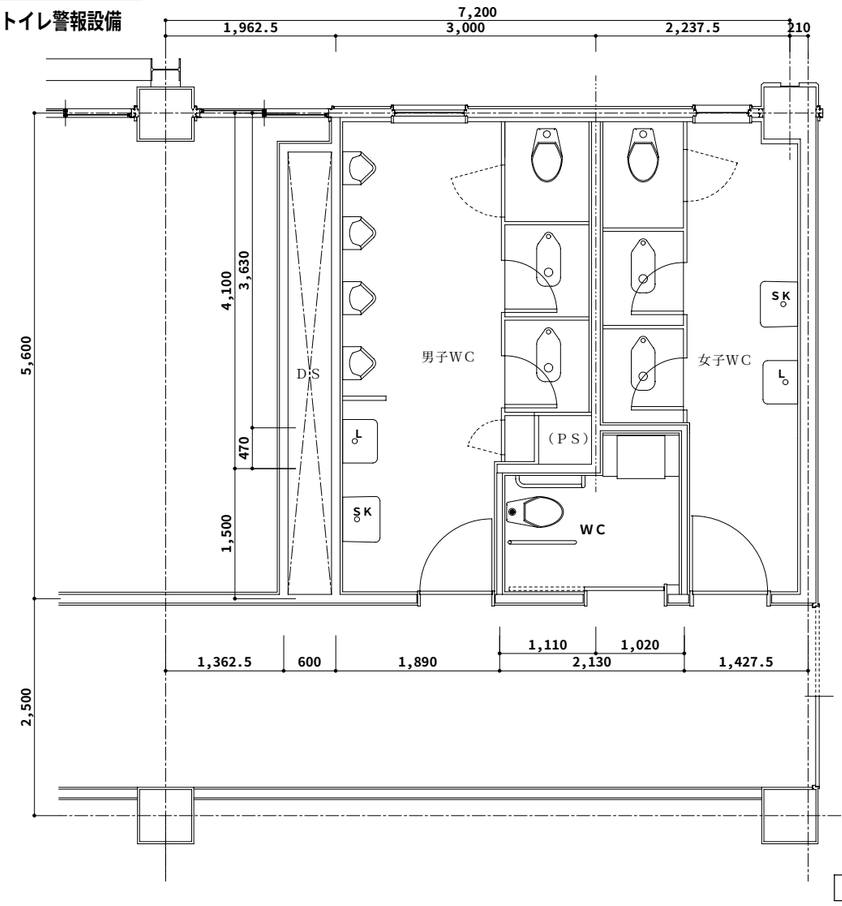
ⓓ2ET	コンセント2P15AX2　接地端子付	新金プレート

・ケーブル配線立下部はＰＦ管保護とする

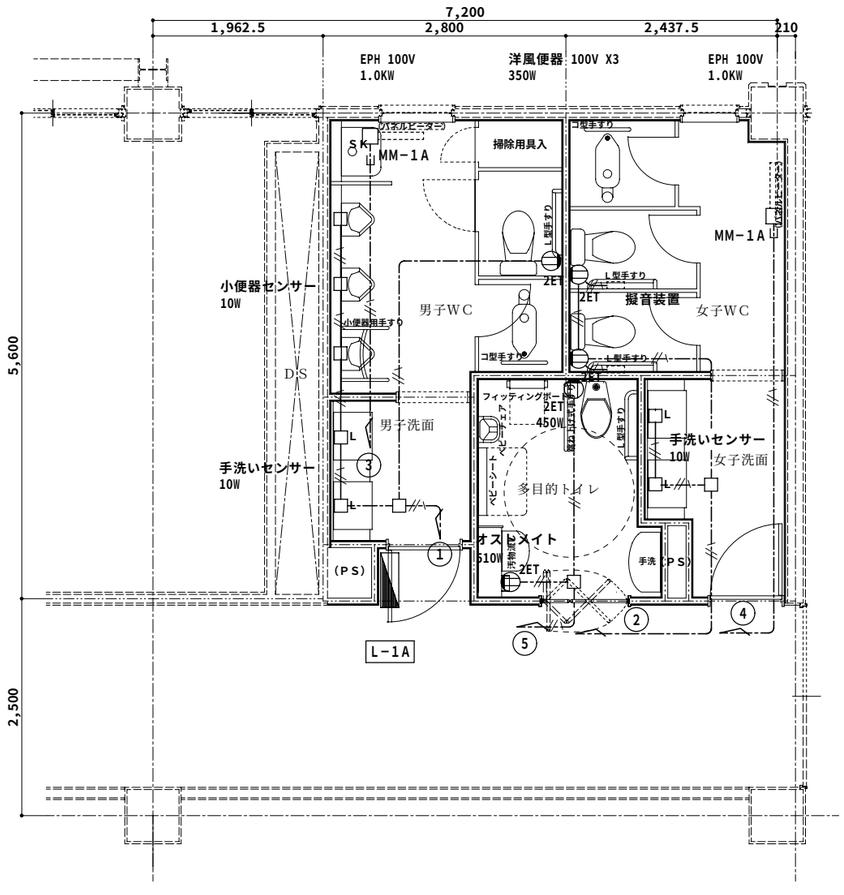
L－1A　樹脂製　扉カバー付

改修後１階平面図

トイレ警報設備



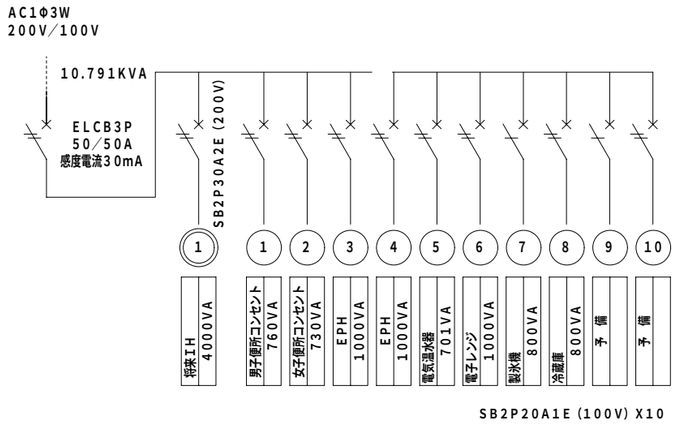
改修前１階平面図



改修後１階平面図

特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台（022）233-6028（代）	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事	コンセント設備	S＝1／50		一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	E／04
			１階平面詳細図	S＝1／50							
				S＝1／							

<図面サイズ：A2>



注） 特記なき配管配線は下記に依る。

・ コンセント回路

IE2.0X3（PF16）

EEF2.0−3C(1Cは接地) 天井内ころがし

EEF2.0−2C，+3C（1Cは接地） 天井内ころがし

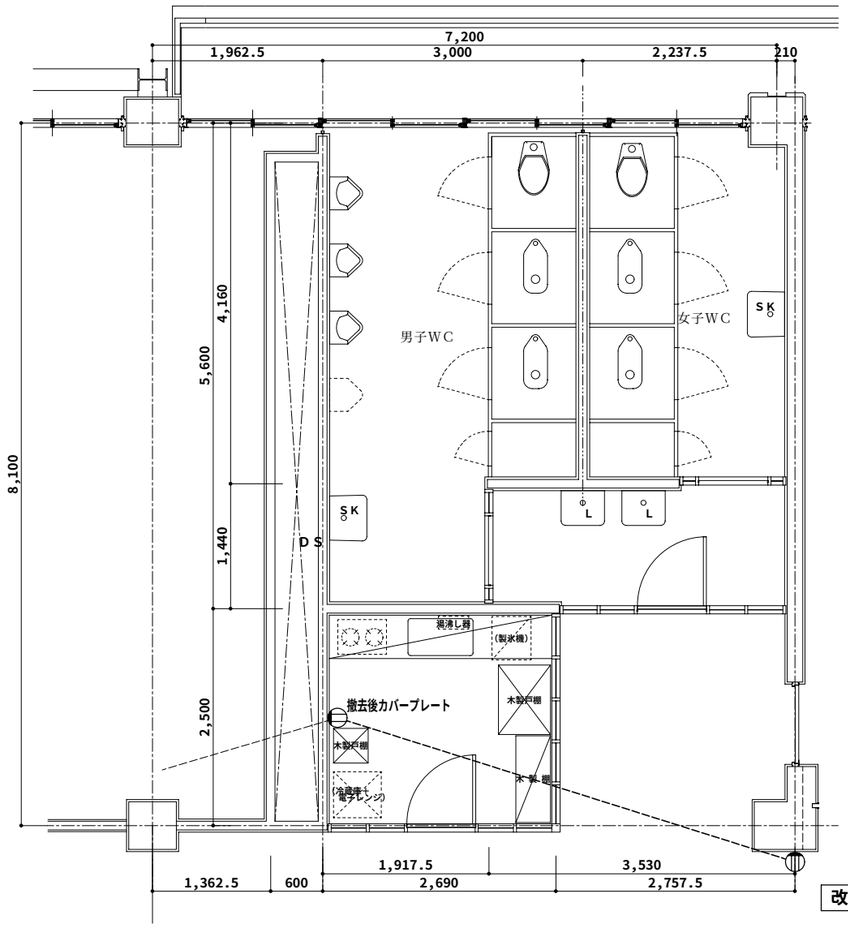
MM−1A 金属線び第1種 A型

2)配線器具凡例

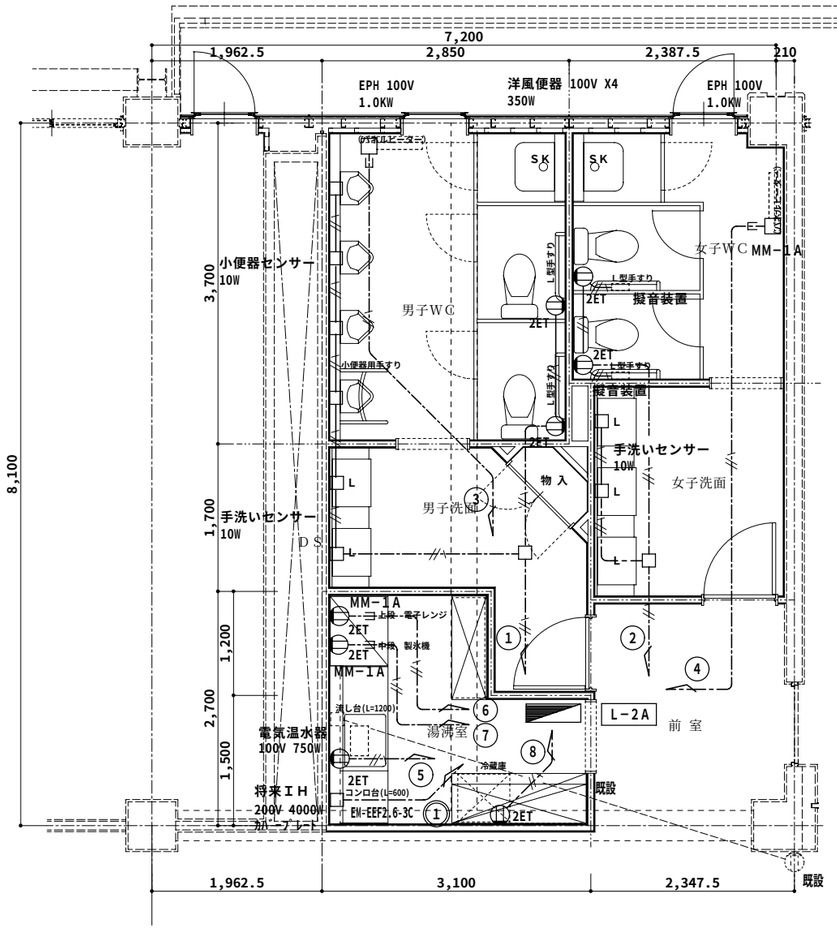
2ET コンセント2P15AX2 接地端子付 新金プレート

・ケーブル配線立下部はPF管保護とする

L−2A 樹脂製 扉カバー付



改修前２階平面図

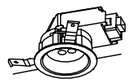


改修後２階平面図

特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台（022）233-6028（代）	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事	コンセント設備	S＝1／50		一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		高橋	E／05
			２階平面詳細図	S＝1／50							
				S＝1／							

<図面サイズ：A2>

照　明　器　具　姿　図

a	LDL40WX1　(HF32W　PN相当)	b	LEDダウンライト　FHT32W形器具相当	c	LEDダウンライト　白熱灯60形器具相当	d	LEDダウンライト　100形
	ミラー照明		防水型　湯沸室		便所ブース内		便所
			 集積型LED<ワンコア（ひと粒）タイプ>、軒下用（防雨型） 5000K、Ra70、拡散タイプ、器具光束1055lm 消費電力11．1W、電圧100～242V 反射板：鋼板（クールホワイトつや消し仕上） 枠：鋼板（クールホワイトつや消し仕上） パネル：ガラス（透明つや消し） 埋込穴φ150、埋込高100		 5000K、Ra66、拡散タイプ 器具光束530lm、消費電力7．4W、電圧100V 反射板：アルミダイカスト（高反射ホワイト仕上） 枠：アルミダイカスト（高反射ホワイト仕上） パネル：アクリル（透明つや消し） 埋込穴φ100　埋込高80、天井面取付専用		 集積型LED<ワンコア（ひと粒）タイプ> 5000K、Ra70、広角タイプ、グレアカット15度 器具光束1065lm、消費電力12．5W、電圧100～242V 反射板：アルミ（鏡色鏡面仕上） 枠：アルミダイカスト（クールホワイトつや消し仕上） パネル：ポリカーボネート（透明つや消し） 埋込穴φ100　埋込高91、天井面取付専用
			パナソニック　NNN72025K		パナソニック　NNN71003		パナソニック　NNN72060

注）　特記なき配管配線は下記に依る。

・ 電灯設備

―――・―・―――	EM－EEF2．0－2C	天井内ころがし
―――・―ハ―・―――	EM－EEF2．0－3C(1Cは接地)	天井内ころがし
―――・―///―・―――	EM－EEF2．0－3C	天井内ころがし
―――・―///―・―――	EM－EEF2．0－2CX2	天井内ころがし
―――・―AE―・―――	EM－AE0．9－2C	天井内ころがし

・機器凡例

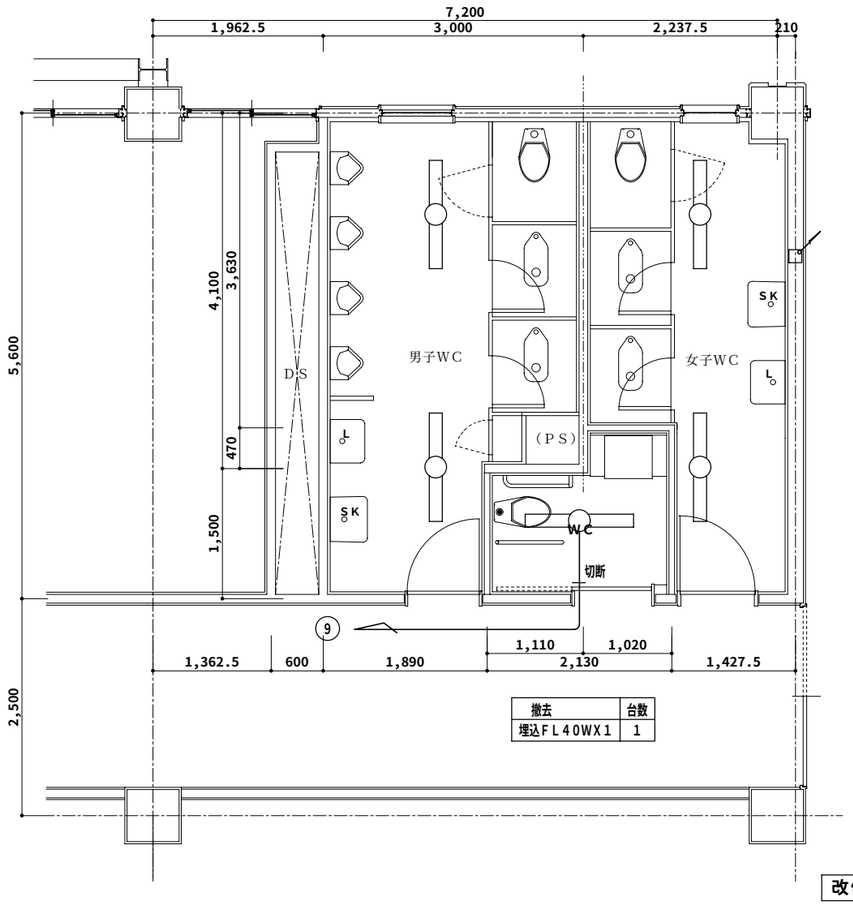
	蛍光灯	
	ダウンライト	
●	スイッチ　1P15AX1	新金プレート
○	スイッチ　1P15AX1　確認表示灯付	新金プレート
S	天井付熱線センサー付自動スイッチ（親機）8A	（WTK24819）
S	天井付熱線センサー付自動スイッチ（子機）	（WTK2921K）
SF	天井付熱線センサー付自動スイッチ、換気扇連動	（WTK2304）

・ケーブル配線立下部はPF管保護とする

―――― IV2．0X2（19）いんぺい　撤去

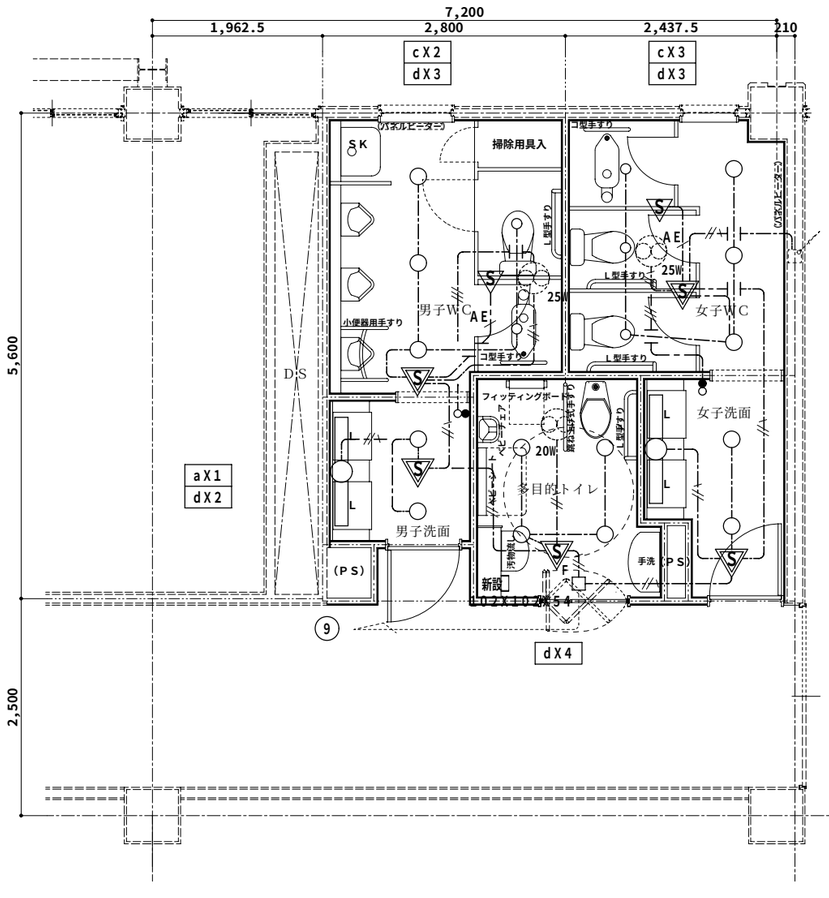
撤去	台数
埋込FL40WX1	2

撤去	台数
埋込FL40WX1	2



撤去	台数
埋込FL40WX1	1

改修前１階平面図



改修後１階平面図

特記事項	一級建築士事務所 株式会社　山本設計事務所 TEL 仙台（022）233-6028（代）	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事	電灯設備	S＝1／50		一級建築士登録 第173121号 斎藤　久		斎藤		斎橋	E／06
			１階平面詳細図	S＝1／50							
				S＝1／							

<図面サイズ：A2>

注） 特記なき配管配線は下記に依る。

・ 電灯設備

EM−EEF2.0−2C		天井内ころがし
EM−EEF2.0−3C(1Cは接地)		天井内ころがし
EM−EEF2.0−3C		天井内ころがし
EM−EEF2.0−2CX2		天井内ころがし
EM−AE0.9−2C		天井内ころがし

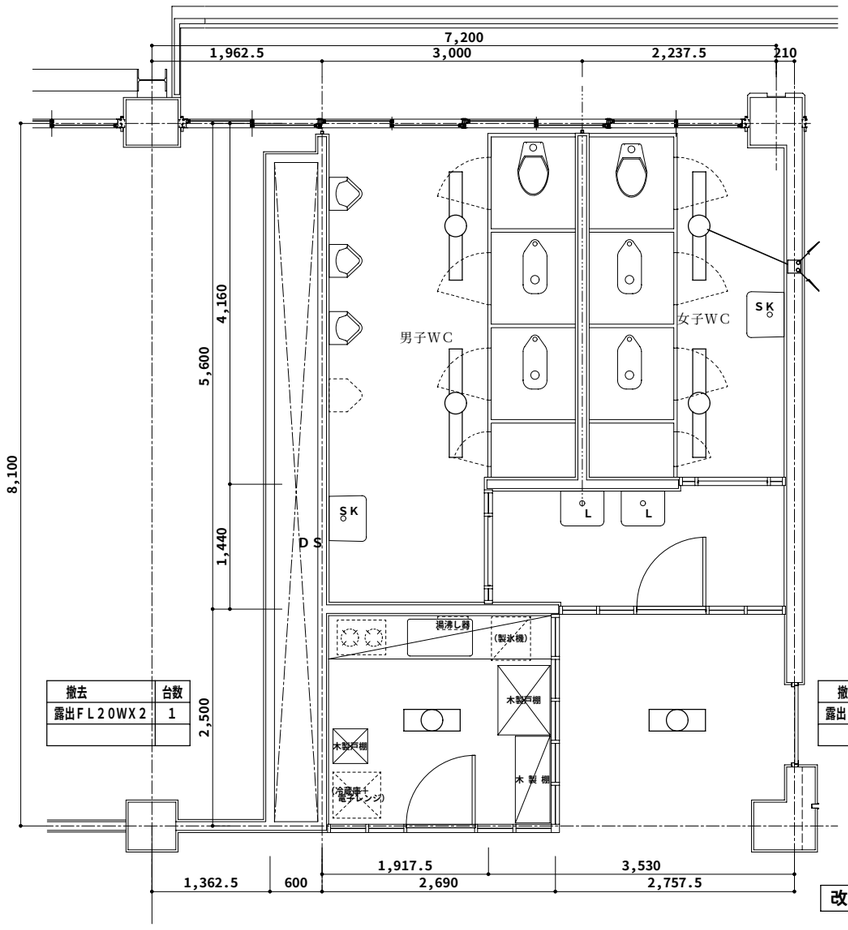
・機器凡例

蛍光灯		
ダウンライト		
スイッチ 1P15AX1		新金プレート
スイッチ 1P15AX1 確認表示灯付		新金プレート
天井付熱線センサー付自動スイッチ（親機）8A	（WTK24819）	
天井付熱線センサー付自動スイッチ（子機）	（WTK2921K）	

・ケーブル配線立下部はＰＦ管保護とする

撤去	台数
埋込ＦＬ40ＷＸ1	2

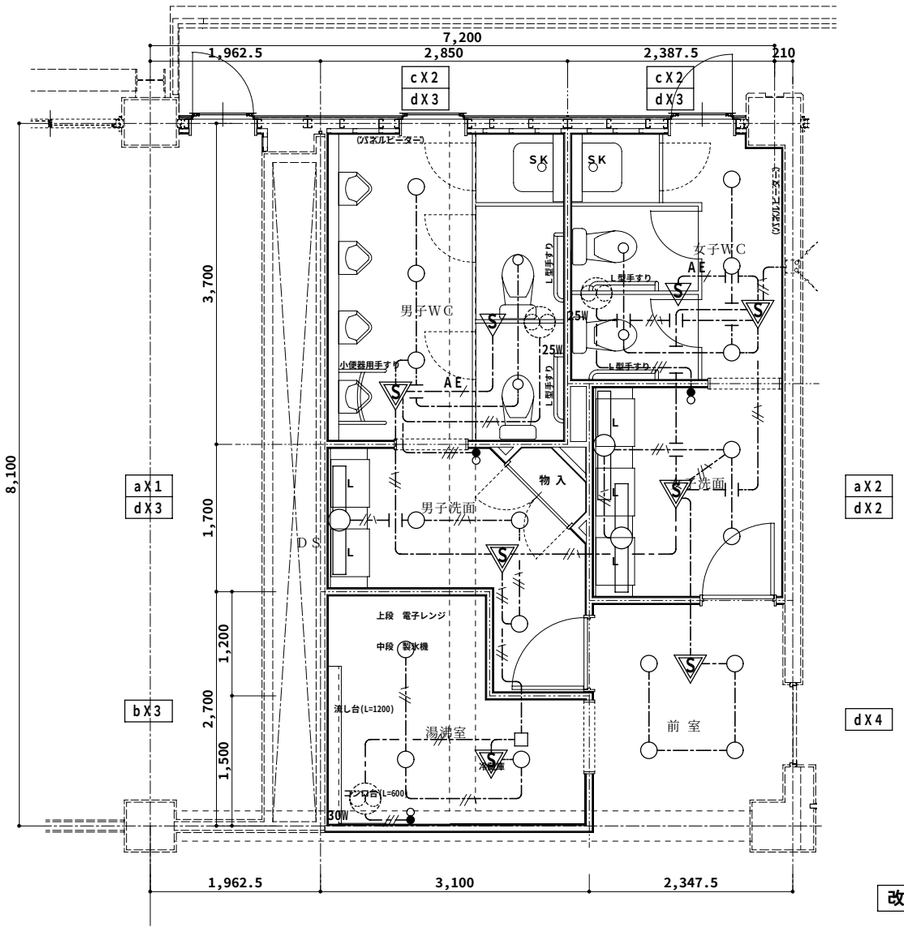
撤去	台数
埋込ＦＬ40ＷＸ1	2



撤去	台数
露出ＦＬ20ＷＸ2	1

撤去	台数
露出ＦＬ20ＷＸ2	1

改修前２階平面図



改修後２階平面図

特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		役場庁舎トイレ改修工事	電灯設備	S=1/50		一級建築士登録 第173121号 斎藤 久		斎藤		斎藤	E/07
			２階平面詳細図	S=1/50							
				S=1/							

<図面サイズ：A2>

機械設備改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

１．工事名称　七ヶ浜町役場町庁舎トイレ改修工事

２．工事場所　宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺５－１

３．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考

４．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目＼建設別及び屋外	工事種別 撤去	新設						屋外
・空気調和設備								
◎衛生器具設備		－式						
・排煙設備								
・自動制御設備								
◎衛生器具設備	－式	－式						
◎給水設備	－式	－式						
◎排水設備	－式	－式						
・給湯設備								
・消火設備								
・厨房機器設備								
・ガス設備								
・さく井設備								
・浄化槽設備								
・昇降機設備								

５．指定部分　※　なし　・　あり　（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　）

６．設備概要　（◎印のついたものは，主要方式を示す）

方式	設備概要	
空気調和方式等	・空気調和	・全空気方式　・ファンコイルユニット，ダクト併用方式　・パッケージ方式
	・温風暖房	・全空気方式　・ファンコンベクター，ダクト併用方式
	・直接暖房	・温水暖房　・
自動制御方式	・電気式　・電子式　・デジタル式　・空気式　・中央監視制御	
給水方式	・水道直結方式　◎高置タンク方式　・タンクレスブースター方式　・	
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（◎）分流式　・合流式） 建物外の汚水及び雑排水（・）分流式　◎）合流式） 放流先　汚水　◎）下水道直放流　・浄化槽） 雑排水　◎）下水道直放流　・浄化槽　・側溝　・別途例）	
給湯方式	・局所式　・中央式	
消火設備方式	・屋内消火栓　（・湿式　・乾式）　・連結送水管　・屋外消火栓 ・スプリンクラー　（・湿式　・乾式）　・不活性ガス消火　・泡消化 ・粉末消火　・連結散水　・フード等用熱感自動消火	
ガス設備方式	・都市ガス　種別（　）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　・液化石油ガス	

Ⅱ．特記仕様書

１．一般事項　（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編，平成２２年版），公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編，平成２２年版）」（以下「標準仕様書」という。），同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，平成２２年版），（以下「標準図」という。），及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（平成２２年版）」による。
（２）電気設備工事及び昇降機工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

２．特記事項　（１）項目は番号に◎印のついたものを適用する。
（２）特記事項は，◎印の付いたものを適用する。◎印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
◎印と◎印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	◎ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版） ◎ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ◎ 宮城県建設工事元請・下請適正化要綱（平成21年4月1日施行）
	② 機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「保有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，設備機材は，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等のの写しを監督職員に提出して，承諾を受ける。なお，標準仕様書に規定される製作図，試験成績表等を含む。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出のこと。
	⑤ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。 また，県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督職員に提出する。
	⑦ 工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	⑧ 手続	工事の着手，施工，完成にあたり，関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお，当該手続きに係わる費用は，請負者の負担とする。
	⑨ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑩ 電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	⑪ 技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・　１級　・　２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ・　配管（配管工事）　・　建築板金（ダクト製作及び取付け）　・　熱絶縁施工（保温工事） ・　冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫ 足場等	・　別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・　本工事で設置 枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月改訂）」によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	13．監督職員事務所	※　設けない　・　設ける（　　号・・・建築工事仕様書）
	14．工事用電力，水，その他	本工事に必要な工事用電力，水，及び諸手続等の費用はすべて引渡まで請負者の負担とする。
	15．工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　・　できない
	16．残土処理	・　構外搬出　※　構内指示の場所に散き均し。　・　構内指示の場所にたい積 建設発生土を場外へ搬出する場合　１建設発生土現場管理者（現数可）を選任し，施工計画書に記載し，提出する。 ２ダンプトラック等管理表を，工事番手前に監督員に提出する。　３建設発生土搬出等管理表を，搬出を行う日毎に作成し，１週間毎の集計表を監督職員に提出する。　４建設発生土は受入地において，搬出先土量を伝票により管理するとともに，搬出先の土量を確認する。
	17．発生材の処理	（１）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・　なし　・　あり（　　） （２）　冷媒回収費用は（・　本工事　・　別途工事） 冷媒の回収にあたっては，「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」に従って行い，監督職員に第一種フロン類回収技術者登録通知書の写し，フロン類回収証明書を提出する。ただし，家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは，法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い，監督職員に，特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券の写しを提出する。 （３）引渡しを要するもの　※　なし　・　あり（　　） （４）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分する。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※　なし　・　あり（　　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・　コンクリート（　　） ・　コンクリート及び鉄から成る建設資材（　　） ・　木　　材（　　） ・　アスファルトコンクリート（　　）
	⑱ 総合調整	※　本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。　・　別途 総合調整の項目 ◎ 風量調整　◎ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定　・ 初期運転状態の記録 ・ 末端水栓の水質測定　・ 浄化槽放流水質の測定 ・ 機器の絶縁抵抗の測定　・ 水圧調整 測定箇所は，監督職員の指示による。
	⑲ 容量等の表示	（１）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。 （２）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
	⑳ 耐震措置	機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し竪固に堅え付け，取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修２００５年版）による。

設置場所	設計用標準水平震度（Ｋｓ）			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階，屋上及び塔屋	２．０（２．０）	１．５（２．０）	１．５（２．０）	１．０（１．５）
中層階	１．５（１．５）	１．０（１．５）	１．０（１．５）	０．６（１．０）
一階及び地下層	１．０（１．０）	０．６（１．０）	０．６（１．０）	０．４（０．６）

注（１）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（２）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
（２）本工事の施設は（・　一般の施設　・　特定の施設）とする。
（３）地域係数は１．０とする。
（４）１００ｋｇ以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付けを行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
（５）重要機器類（高置タンク，受水タンクは機器表による。）
（６）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平垂直方向の地震力に対して，つり合おもりがゆから脱落しないような構造とすること。
特記されていない非常のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

㉑ 非常のサイズ

㉒ 電線類　本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編通信・情報設備工事　１節　機材　第１節　電線類等　１．１．１　電線類等　表１．１．１電線類に次の種類を追加する。（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）

㉓ 溶接部の非破壊検査　対象配管系統　・冷温水　・冷却水　・消火（水用）　・油　・ガス
検査の種類　・渦流探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・放射線浸透検査（ＲＴ）

㉔ はつり　既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。

㉕ 支持及び固定　（１）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は，標準仕様書第３編２．１．１３（ｂ）に準ずる。
（２）横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。

㉖ 支持金物・固定金具　（１）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
（２）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
（３）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は，合成樹脂製の支持受けを使用する。

㉗ 堰堤土法・盛土　図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし，各工事種目で別に指定されたものは除く。
◎ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲には山砂の頭）　・山砂の頭

㉘ 地中埋設標及び埋設表示用テープ　地中埋設標及び埋設用テープは，下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所には図示による ほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
（１）給水管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ
（２）ガス管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ
（３）油　管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ
（４）消火管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ

㉙ 保　温　・　主機械室は下記の室とし，他は各階機械室とする。
主機械室：
◎ ダクトの保温の外装は下記による。内装は（・ ロックウール ◎ グラスウール）

屋内露出	倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　・
	各階機械室	・アルミガラスクロス　・
	主機械室	・アルミガラスクロス　・
	居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板　・
屋内隠ぺい，ＰＳ内		◎ アルミガラスクロス
屋外露出，多湿箇所（　）		・ステンレス鋼板

◎ 配管の保温の外装は下記による。内装は（・ ロックウール ・ グラスウール ◎ ポリスチレンフォーム）

屋内露出	倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　・
	各階機械室	・アルミガラスクロス　・
	主機械室	・アルミガラスクロス　・
	居室・廊下など	・合成樹脂製カバー　・
屋内隠ぺい，ＰＳ内		◎ アルミガラスクロス
屋外露出，多湿箇所（　）		・ステンレス鋼板　・着色アスファルトプライマー ・アスファルトプライマー　・

㉚ 塗　装　（１）下記部位に使用する，外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※　屋外露出　※　屋窒
（２）保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。

㉛ 防食処理　土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（鋳金製弁・継手を含む）にはペトロタラム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）

㉜ 山留め　切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが１．５ｍを超える場合には，山留めを行うものとする。

㉝ 舗装工事　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書２２章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。

㉞ 他工事との取り合い　図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。

㉟ 再使用品の清掃　再使用する機器類は現場内で可能な洗剤による水洗等の清掃を行う。

㊱ 火気の使用　建物内での火気の使用は原則として行わない。

㊲ 室内空気中の化学物質の濃度測定　室内空気中のホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，スチレンの濃度を測定し，監督職員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。
測定対象室（　　），測定箇所数（　　）

㊳ 施工調査　・下記によるほか，改修標準仕様書第１編１．５．１及び１．５．２による。
・施工計画調査　・事前調査
調査項目（・　　）　調査範囲（・　　）　調査方法（・　　）

㊴ アスベスト　アスベストについては，労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。
アスベスト使用状況（　　）

㊵ あと施工アンカー　（１）あと施工アンカー　※接着系アンカー（接着剤は有機系とする）
※金属拡張系アンカー　（※本体打込み式　）
（２）試験等　性能確認試験　※行わない　・行う
施工確認　※行う　・行わない

㊶ 既設インサート及びアンカーボルト　既設インサート及びアンカーボルトを　※使用しない　・使用する

㊷ 宮城県リサイクル製品利用促進について　・　認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。
（使用製品名：　使用場所：　）
※　認定製品使用対象外工事であっても，利用の促進に努めること。

㊸ 施工条件　別添の施工条件明示書による。

仮設工事

① 工事用電力，水，その他　本工事に必要な工事用電力，水などの費用，及び官公署等への諸手続きなどの費用は，請負者の負担とする。
既設コンセントの使用　※　不可　・　可
既設給水栓の使用　※　不可　・　可

② 養生　養生範囲（　　）
養生方法（　　）

③ 設計温湿度

	外気		屋内（調整目標値）					
			一般系統				コンピューター室系統	
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	℃	%	２６℃	５０％	℃	%	２４℃	４５％
冬季	℃	%	２２℃	４０％	℃	%	２４℃	４５％

④ ばい煙濃度計　取付箇所は図示による。
⑤ 煙　突　※　別途　・　本工事（鋼板厚　㎜、高さ　m以上）

空気調和・冷房・暖房設備

４．煙　道　※　煙道径３００mm以下は鋼板厚３．２mm，３００mmを超えるものは４．５mmとする。　・　図示による。（煙道径が４００mmを超えるものには，掃除口に梯番を取り付ける。）
５．ダクトの区分　低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）
６．長方形ダクトの工法　・　アングルフランジ工法　・　コーナーボルト工法　（　・　共板　・　スライド）
７．風量測定口　取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
８．チャンバ　（１）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
（２）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには，点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。
（３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
９．防煙ダンパ　（１）復帰方式　※　遠隔式（電気式（定格入力ＤＣ２４Ｖ，０．７ＡＷ以下）
（２）復帰動作　※　順逆
10．配管材料　（１）冷温水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（２）冷却水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（３）蒸気管（給気管）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（還水管）　※　圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０）
（４）油管，油用通気管（一般）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・
（土中）　※　ポリエチレン外面被覆鋼管
（５）膨張管，空気抜き管，膨張タンクよりボイラー等への給水管　※　配管用炭素鋼鋼管　・
（６）空調用排水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・
（７）冷媒管　※　断熱材被覆銅管（製造者標準品）　・　銅管
11．弁　類　※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ
ステンレス鋼管に取り付ける弁類は，ステンレス製とする。
12．銅管用伸縮管継手　※　ベローズ形　・　スリーブ形
13．温度計　※　共通仕様書，標準図による他，図示した箇所に取り付ける。（配管用はＬ形，ダクト用は円形）
・　空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，還気ダクト及び外気ダクト
・　冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管
・　パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口
14．瞬間流量計　※　着脱可能形（※　全数　・　図示による）
着脱可能形の場合，その指示部（・　４０Ａ用　個　・　１００Ａ用　個　・　２５０Ａ用　個）を付ける。
・　固定形（止水コック付）　・　測定用タッピング（３２ｍｍピトー管流量計用）
15．オイルタンク　（１）オイルタンク本体は図示による。
（２）遠隔油用指示計　※　取付ける　・　取付けない
（３）計量尺は，青銅製，黄銅製又はアルミ製とし，１００リットル実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。
16．積算流量計　図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。
17．注油口及び指示ﾀﾞｯｸ　標準図（機材　６　）による。
・　単独形　・　共用形（　・　ローリーアース付）
18．消音内貼り　（１）施工箇所は図示による。
（２）内貼りチャンバー隙の寸法表示は，外形寸法とする。
（３）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。
⑲．保　温　（１）建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む），仕様は冷温水管の項による。
（２）屋外露出配管の保温は，給水設備の項による。
（３）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※　要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・　不要
（４）排気ダクトの外壁開放部より１ｍ程度保温する。（チャンバーボックスを含む）
（５）冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温外装
屋内露出部　・　保温化粧ダクース（樹脂製）　・　外装なし　・
屋外　・　保温化粧ダクース（樹脂製）　・
（６）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　　mmとする。
20．電気工事の範囲　（１）地震感知器の配管配線　※　別途　・　本工事
（２）防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は　※　別途　・　本工事
21.塗装　（１）屋内露出裸ダクトの塗装（屋窒を除く）は　※　行わない　・　行う
（２）屋内露出冷却水配管の塗装（屋窒は除く）は　※　行わない　・　行う

換気設備

①．準拠事項　［　空気調和　・　冷房　・　暖房設備　］の当該事項に準ずる。
・　５　・　６　・　７　・　９　・　１８　・　２１
※　別途　・　本工事
２．開放形湯沸器排気ﾌｰﾄﾞ
３．厨房用排気ダクト　※　亜鉛鉄板　・　ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）（板厚は高圧ダクトによる）
４．厨房用排気ダクト工法　※　アングルフランジ工法　・　コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
５．厨房用排気フード　（１）フード周囲の天井（フード面から天井面まで）　※　取り付ける　・　取り付けない
（２）フードコック　※　取り付ける　・　取り付けない
（３）材質（天窒とも）　※　ステンレス鋼板（ＳＵＳ３０４）　・　亜鉛鉄板
６．多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ　次の系統のダクトのシールは，標準図（施工４５，４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし，水抜き管を設ける。
（　　）

衛生器具設備

①　大便器洗浄弁　◎　洗浄タンク方式　◎　洗浄弁方式（不凍結節水弁付）
②　便器洗浄用タンク　※　手洗なし　・　手洗付
③　小便器自動洗浄　個別感知方式とする。（◎　小便器一体型　・　小便器分離型）
④　器具付属水栓　固定こま式（節水こま式）とする。
５．自動水栓　※　電源供給方式（※　ＡＣ１００Ｖ）　・　乾電池　・自己給電
⑥．温水洗浄便座加熱方式　・　瞬間式　◎　貯湯式
７．大便器用火カバー　設ける（ピット内を除く）

給水設備

①．量水器　（１）親メーター　※　揖用　・　買取り　（隔測メーター　・　有　・　無）
（２）子メーター　※　買取り　（隔測メーター　・　有　・　無）
２．量水器例　（１）親メーター用　※　水道事業者の指定品　・　標準図（機材５３）
（２）子メーター用　※　標準図（機材５３）　・　水道事業者の指定品
③．配管材料　（１）一般用
・　ステンレス鋼管（拡管）
◎　塩ビライニング鋼管　（・ＶＡ　◎ＶＢ）
・　ポリ粉体ライニング鋼管（・ＰＡ　・ＰＢ）
・
（２）土間配管用（厨房，浴室等のシンダー内含む）
・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）
◎　塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
・　ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）
（３）屋外土中用
・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６拡管）
・　塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
・　ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）
・　ビニル管（ＪＩＳ　Ｋ　６７４２）（ＶＰ）
・　〃　（ＨＩＶＰ）
・　ポリエチレン管
・　水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管
・
４．不凍水栓柱　化粧ケーシング（　・　アルミ合金製　・　合成樹脂製　）
⑤．弁　類　（１）水道直結部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・　水道事業所の規定による　Ｋ
（２）その他の部分　※　ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・　ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ
ステンレス鋼管に取り付ける弁類は，ステンレス製とする。
⑥．給水栓　（１）屋内（　※　一般水栓　・　耐寒水栓　）　（２）屋外（　※　耐寒水栓　・　一般水栓　）
湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫式とする。　耐寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。
７．埋設深さ　（１）一般敷地内（　　ｍ以上）　（２）敷地内車両道路（　　ｍ以上）
（３）公道部分（　※　水道事業者及び道路管理者規定による　）
８．保　温　（１）量水器枡内の保温を行う。
（２）屋外露出配管（井フランジを含む）は，標準仕様書第２編（表２．３．５　ｅ２・（ハ））とし厚さは呼び径２５ｍｍ以下は５０ｍｍ，呼び径３２ｍｍ以上は４０ｍｍとする。
９．埋設弁開閉用ハンドル　本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない
10．水道加入金等　水道加入金　・　要（　・　本工事　・　別途　）　・　不要
・　その他（　　）
11．ステンレス管の接合方法　（１）呼び径６０Ａ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合
（２）呼び径７５Ａ以上　・　溶接接合　・　ハウジング形管継手による接合　・　フランジ接合
12．その他　給水管の最小口径は２０ｍｍとする。ただし，器具接続部分を除く。

排水設備

①　配管材料　（１）屋内汚水管　・　排水用塩ビライニング鋼管　・　排水用鉛管　◎）耐火二層管
（２）屋内雑排水管　・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　排水用塩ビライニング鋼管　◎）耐火二層管
（３）屋外土中汚水，雑排水管　◎）ビニル管（ＶＰ）　・　ビニル管（ＶＵ）　・　ビニル管（再生ＶＵ）　・
（４）土間配管用（通気管含む）　・　排水用塩ビライニング鋼管　◎）ビニル管(VP)
（５）通気管　・　配管用炭素鋼鋼管（白）　◎）耐火二層管　・
（６）ポンプアップ排水管　・　ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）　・
台所流し等の床上露出部分の排水管は，ビニル管でもよい。
②　排水桝　・　桝リストは図面番号（　　）
（１）材料　・　ＲＣ　◎）硬質塩化ビニル　・　ポリプロピレン　・　ＳＣ
（２）ふた　・鋳鉄製（　・　ＭＨＡ　・　ＭＨＢ　・　Ｔ８Ａ　）　◎）樹脂製
※　県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付
（３）規格　・　下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・　排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ）　・　市町村別基準（　・　有　・　無　）
３．グリース阻集器　・ＦＲＰ製（　　Ｌ）・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。
４．満水試験維手　図示の箇所に取付け，満水試験を行うこと。
５．試　験　・　衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。
・　衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。
６．放流負担金等　・　不要　・　要（　・　別途工事　・　本工事　）
７．基礎材　※　再生クラッシャーラン

給湯設備

１．配管材料　・　ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・　耐熱性ライニング鋼管　・　銅管　・　被覆銅管
・　保温付被覆銅管　＜断張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞
２．弁　類　給水設備の当該事項による。
３．温沸器の排気筒　厚さ０．５mm以上のステンレス鋼板製とする。
４．保　温　温沸器の給排気筒（二重管）のいんべい部保温を行う。（ｈ・（イ）・Ｘ）
５．ステンレス管の接合方法　（１）呼び径６５ＳＵＳ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合
（２）呼び径７５ＳＵＳ以上　・　溶接接合　・　ハウジング形管継手による接合　・　フランジ接合

消火設備

１．配管材料　（１）一　般　・　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０）
（２）地中埋設部　・　外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）　・　〃　（ＳＧＰ－ＰＳ）　・　〃　（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ）　・　〃　（ＳＴＰＧ－３７０ＰＳ）
（３）二酸化炭素用　・　圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ８０）
２．屋内消火栓種別　・　易操作性１号消火栓　・　２号消火栓
３．消火栓開閉弁　・　ＪＩＳ１０Ｋ　・　ＪＩＳ２０Ｋ
４．保　温　（１）屋外露出管については給水管に準ずる。
（２）充水ダクの保温　・　施工しない　・　施工する
（３）消火配管の保温　屋内消火栓　・　施工しない　・　施工する
スプリンクラー　・　施工しない　・　施工する
５．消火器類　（１）消火器　種別　・　数量　（　　）
（２）消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量（　　）

ガス設備

１．配管材料　（１）一般　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・　ガス事業者の規定による　・
（２）地中埋設部　※　ポリエチレン被覆鋼管　・　ガス事業者の規定による　・　ガス用ポリエチレン管　・
２．都市ガス　（１）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事
（２）引込み負担金　・　不要　・　要（　・　別途工事　・　本工事　）
３．液化石油ガス　（１）ガスボンベ　※　借用　・　買い取り　（・１０ｋｇ　・２０ｋｇ　・５０ｋｇ　本）
（２）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事とする。
（３）集合装置　・　標準図（施工７１）による（　本組）
（４）転倒防止等　・　標準図（施工７２）（・（ａ）・（ｂ））　・　ボルト，チェーン等はＳＵＳ製とする。
・　容器固定具をＧＬ＋３００に追加設置する。
４．ガス漏れ警報器　図示の場所に取付ける　（　・　分離形　・　一体形　）　・　別途電気工事
外部出力端子　（　・　あり　・　なし　）
５．埋設深さ　（１）一般敷地内（　　ｍ以上）　（２）敷地内車両道路（　　ｍ以上）
（３）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
６．その他　配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　　）

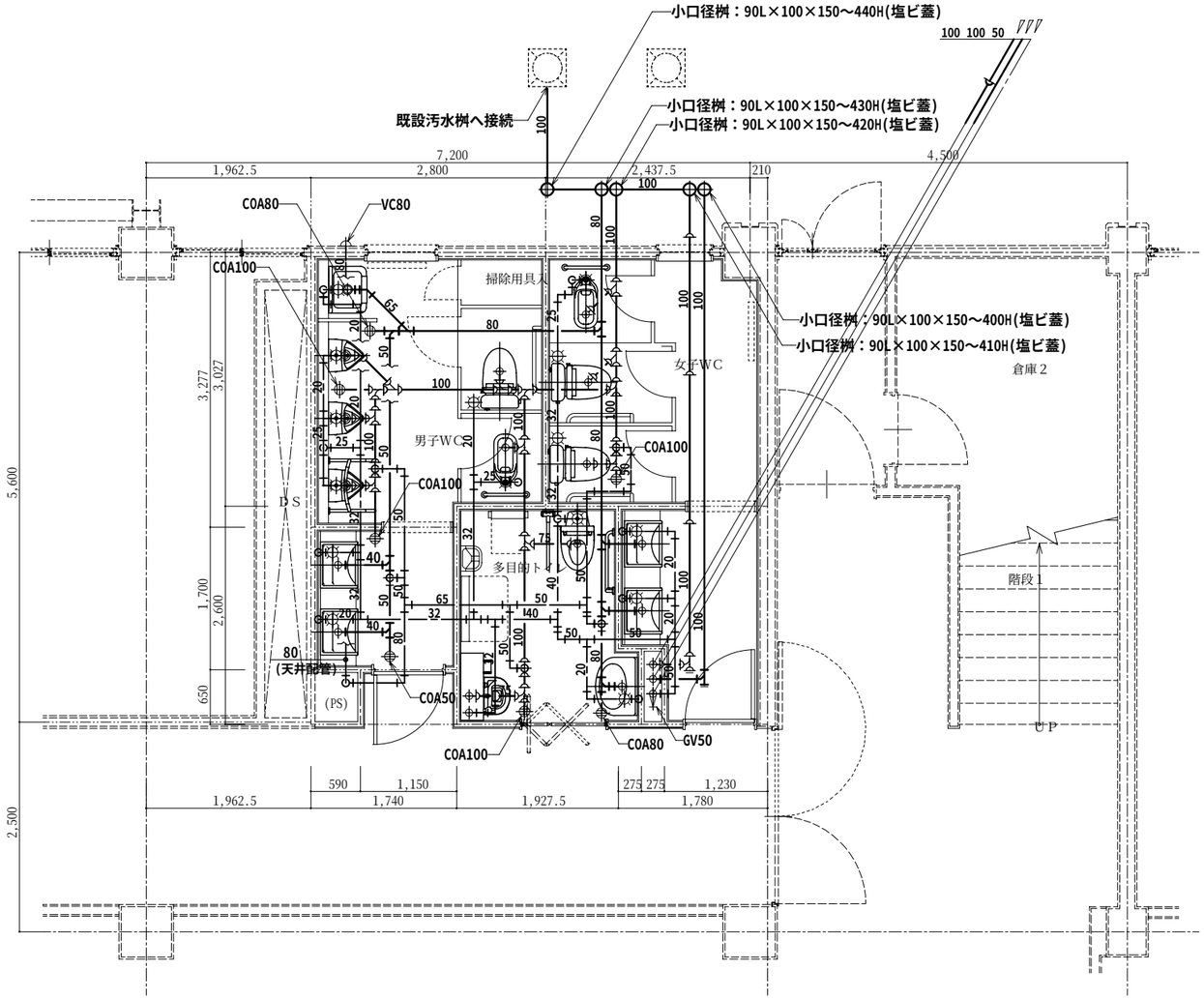
表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
１ 完成調書	宮城土事完成引渡要領（平成１３年４月１日版）（作成は，主たる請負業者が，他の工事および監督員の協力を得て取りまとめる。）	１部	７ 工事写真		
			①工事施工写真	Ａ４版 チューブ式ファイル 工事施工写真は，履行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。	１部
			②完成写真	Ａ４版 ペーパーファイル 完成届に添付	１部
２ 完成図					
①黒表紙金文字製本	Ａ４版（４機器完成図，５取扱説明書とまとめて１冊にしてもよいが，厚さ８０ｍｍを越える場合は分冊とする。）	１部	③マイクロフィルム（完成図のみ）	３５ｍｍ　ＭＦフォルダー 設備課保管用	１部
②青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り	１部	８ 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
③青焼き二つ折り製本（縮小）	Ａ４版（Ａ３版二つ折り）１部は設備課保管	２部	９ 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
④原図	三つ折りケース収納	１部			
⑤完成図書電子データ	JWW又はDXF形式のCADﾃﾞｰﾀもしくはTIFF形式（解像度2000PI程度）	１枚	ＣＤ		
３ 施工図			１０ 工事に関する承認確認書	Ａ４版 ＭＦチューブ式ファイル	１式
①青焼き二つ折り製本	Ａ１版またはＡ２版の二つ折り（施工図の枚数が少ない場合は，完成図のニつ折り製本と合本可）	１部	①施工計画書 ②施工要領書 ③確認書・承諾書 ④協議書		
②原図	三つ折りケース収納	１部	⑤安全に関する書類		
４ 機器完成図	Ａ４版 黒表紙金文字製本（２ 完成図と合本可）	１部	⑥建設廃棄物ﾏﾆﾌｪｽﾄ		
			１１ 各種保証書	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
５ 取扱説明書	Ａ４版 黒表紙金文字製本（２ 完成図と合本可）	１部			
①守宮に関する案内書			１２ その他		
②機器別取扱説明書			①機器試験成績書		１部
③製集他一覧			・機材材質証明書		
			・機材検査試験報告書		
			・工場検査報告書		
６ 管理の手引き	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部	・工場立会検査報告書		
①工事概要書					
②機器完成図			②現場試験成績書		
③機器別取扱説明書			・工事別試験報告書		
④保守に関する案内書			・総合運転および試験報告書		
⑤緊急連絡先一覧表					

<図面サイズ：A2>

特記事項

一級建築士事務所 株式会社　山本設計事務所 ＴＥＬ 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称 平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事	図面名称	機械設備工事改修特記仕様書	S＝1／－－－ S＝1／ S＝1／	管理建築士 一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久	承認印	検印 斎藤	係員	作図 沢村	図面番号 M／01



器具名称	設置場所 / 記号-型式	男子便所	女子便所	多目的便所		合計	備考
和風大便器	C750VU+TV550X+YH702	1	1			2	
洋風便器	CS595BM+SS595BAKL+YH702 TCF6421(擬音無ｵｳｯｼｭﾚｯﾄ)他一式	1				1	
洋風便器	CS595BM+SS595BAKL+YH702 TCF584R(擬音付ｳｵｯｼｭﾚｯﾄ)他一式		2			2	
車椅子用便器	C480AN+TEF70SSX+YH702+EWC383C TCF4721V81W擬音付ｳｵｯｼｭﾚｯﾄ)他一式			1		1	
小便器	UFS800CE(自動洗浄ﾀｲﾌﾟ)	3				3	
掃除用流し	SK322A+T23B20+排水金具他一式	1				1	
はめ込み洗面器	L350CM+TEN41AX+排水金具他一式	2	2			4	ｶｳﾝﾀｰは建築工事
洗面器	L260CM+TEN41AX+排水金具他一式			1		1	
オストメイト	UAS71LDB			1		1	
和風便器用手摺	T112CW1	1	1			2	
洋風便器用手摺(L形)	T112CL10	1	2	1		4	
車椅子用可動手摺	T112HK7			1		1	
小便器用手摺	T112CU2	1				1	

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 山本設計事務所
TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)

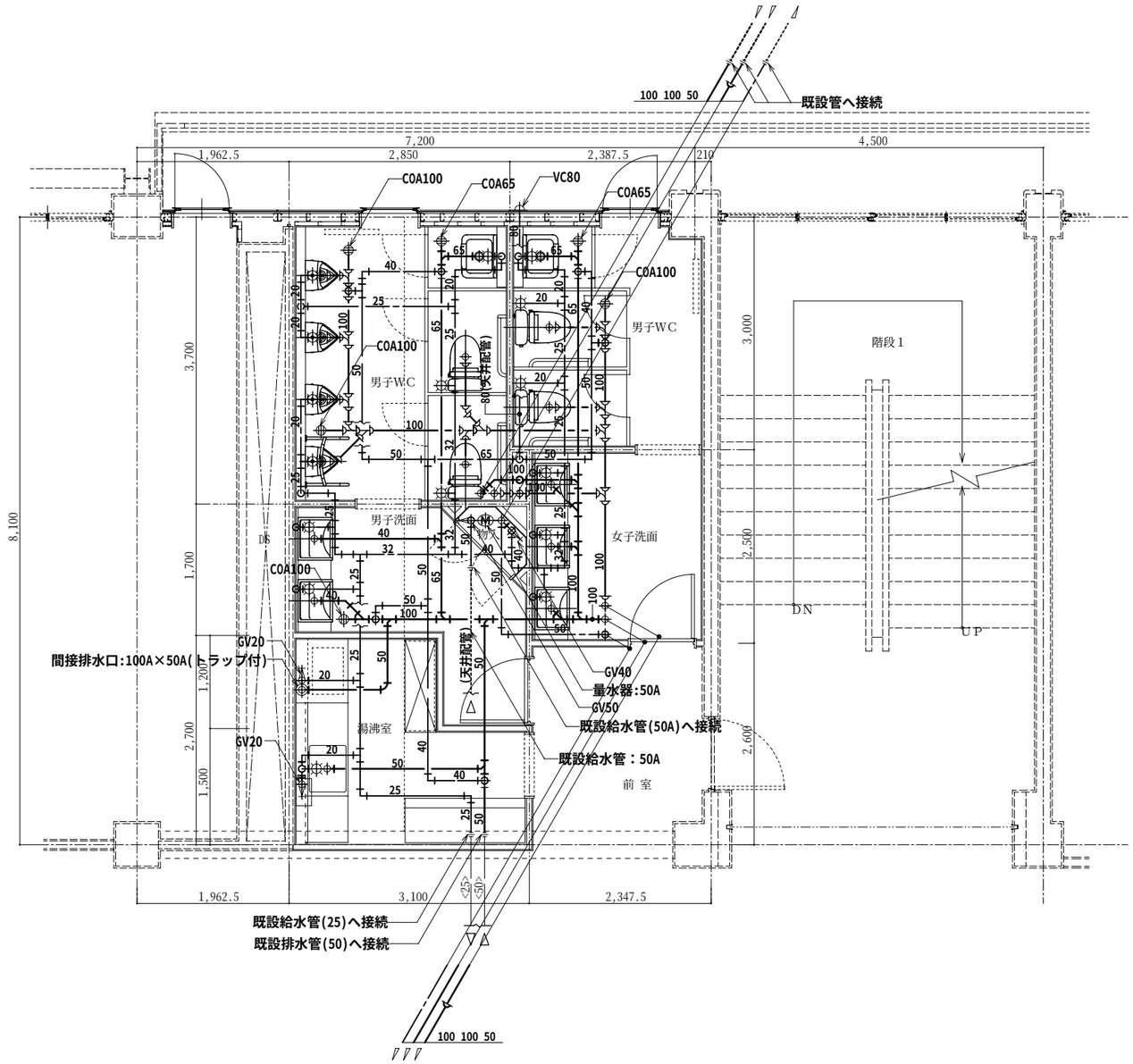
工事名称
平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事

図面名称：１階平面詳細図(改修) S=1/50

管理建築士：一級建築士登録 第173121号 斎藤 久

承認印	検印	係員	作図	図面番号
	斎藤		沢村	M/02

<図面サイズ：A2>



器具名称	設置場所 / 記号-型式	男子便所	女子便所	湯沸室		合計	備考
洋風便器	CS595BM+SS595BAKL+YH702 TCF6421(擬音無ｵﾄｯｼｭﾚｯﾄ)他一式	2				2	
洋風便器	CS595BM+SS595BAKL+YH702 TCF584R(擬音付ｳｵｯｼｭﾚｯﾄ)他一式		2			2	
小便器	UFS800CE(自動洗浄ﾀｲﾌﾟ)	4				4	
掃除用流し	SK322A+T23B20+排水金具他一式	1	1			2	
はめ込み洗面器	L350CM+TEN41AX+排水金具他一式	2	3			5	ｶｳﾝﾀｰは建築工事
洋風便器用手摺(L形)	T112CL10	2	2			4	
小便器用手摺	T112CU2	1				1	
電気温水器	壁掛形貯湯式(14・) 単相・100V・701W			1		1	参考:EWM-14(日本ｲﾄﾐｯｸ)
泡沫自在水栓	T130AR13			1		1	

特記事項

一級建築士事務所
株式会社 山本設計事務所
TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)

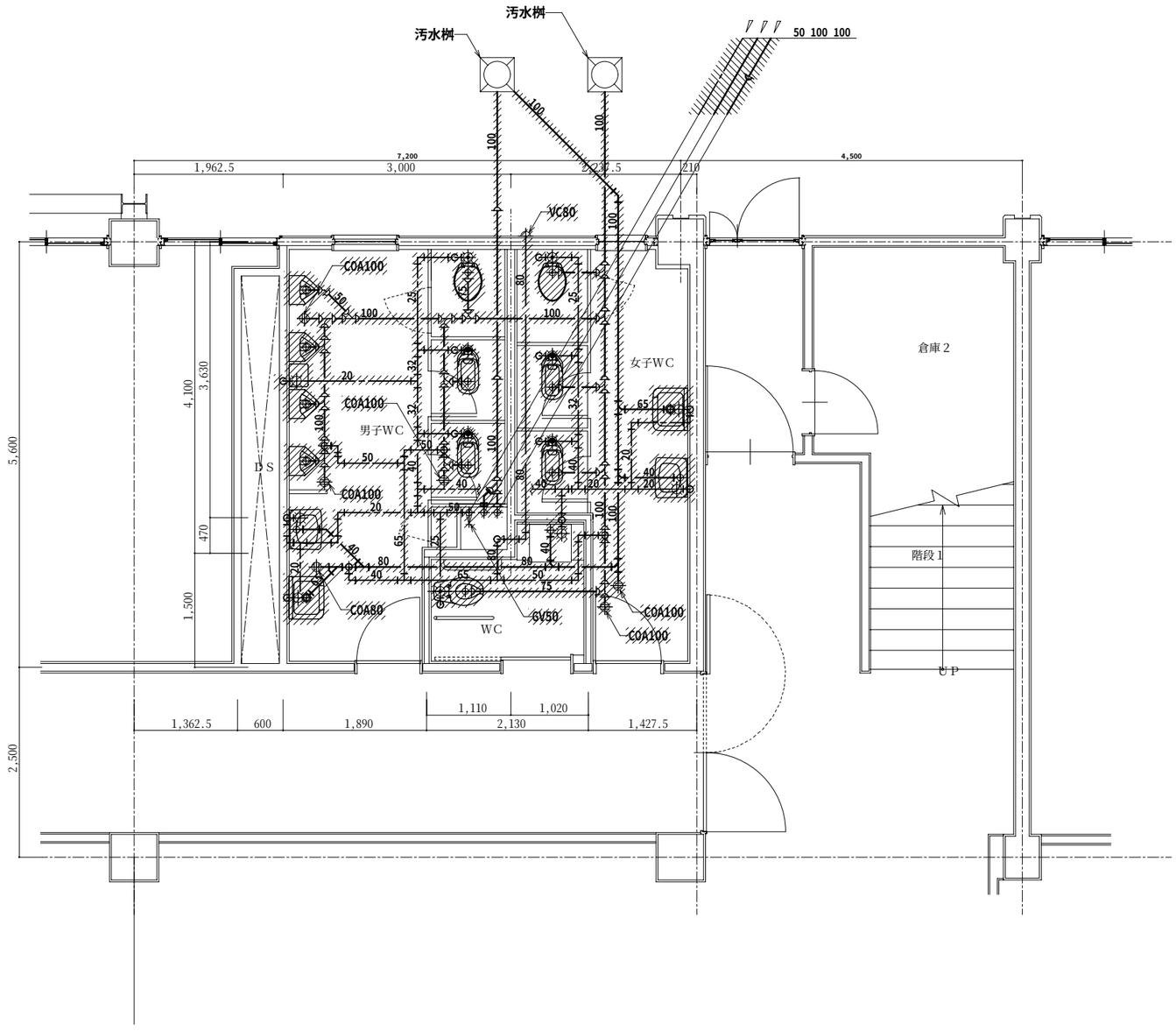
工事名称：平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事

図面名称：２階平面詳細図(改修)　S=1/50

管理建築士：一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤 久

承認印	検印	係員	作図	図面番号
	斎藤		沢村	M／03

<図面サイズ：A2>

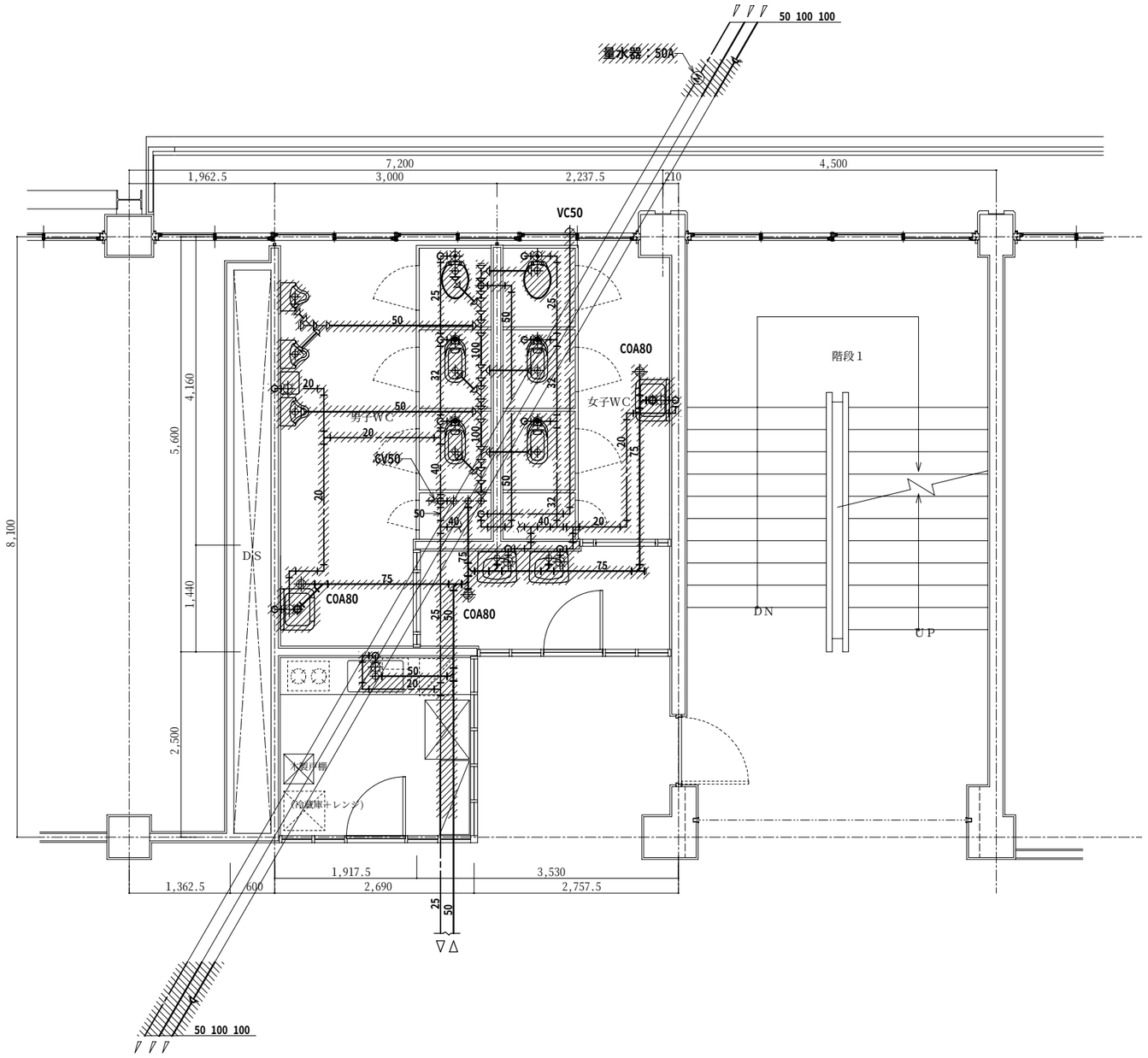


撤去リスト		
器　具　名	参考型番(国交省)	数量
和風便器	C311	4
洋風便器	C910	2
小便器	U410R	4
同上ハイタンク		1
洗面器	L420	2
掃除用流し	S210	2
車椅子用便器	C1111	1
同上洗面器	L511	1

－注記－
図中斜線部は全て撤去とする

特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称			管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事	１階平面詳細図(既存・撤去)	S=1/50		一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久		斎藤		沢村	M/04
				S=1/							
				S=1/							

<図面サイズ:A2>



撤去リスト		
器　具　名	参考型番(国交省)	数量
和風便器	C311	4
洋風便器	C910	2
小便器	U410R	3
同上ハイタンク		1
洗面器	L420	2
掃除用流し	S210	2
自在水栓	13-F5	1

－注記－
図中斜線部は全て撤去とする

特記事項	一級建築士事務所 株式会社　山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	2階平面詳細図(既存・撤去)	S=1/50 S=1/ S=1/	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事				一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久		斎藤		沢村	M／05

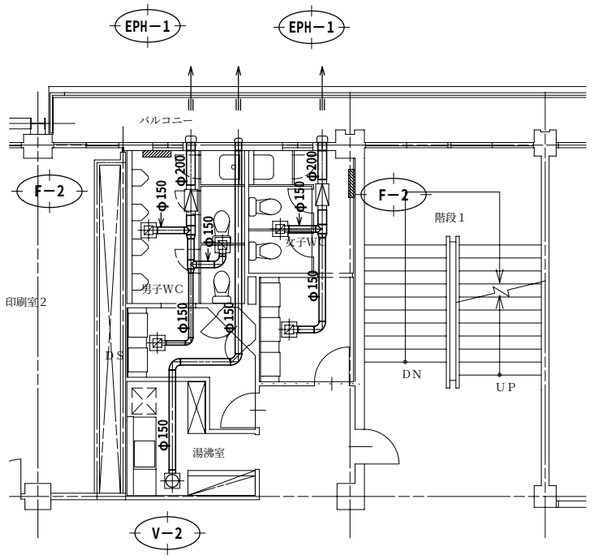
<図面サイズ：A2>

男子便所	
吸　込　口	2
HS：150×150	
Q＝125m3/H	
BOX：350×350×350H	

男子洗面	
吹　出　口	1
HS：200×200	
Q＝150m3/H	
BOX：400×400×350H	

女子便所	
吸　込　口	1
HS：200×200	
Q＝250m3/H	
BOX：400×400×350H	

女子洗面	
吹　出　口	1
HS：200×200	
Q＝150m3/H	
BOX：400×400×350H	

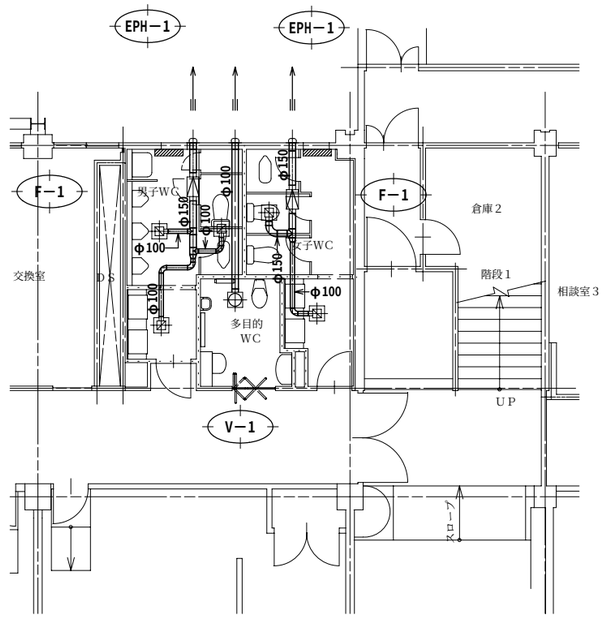


男子便所	
吸　込　口	2
HS：150×150	
Q＝100m3/H	
BOX：350×350×300	

男子洗面	
吹　出　口	1
HS：150×150	
Q＝100m3/H	
BOX：350×350×300H	

女子便所	
吸　込　口	1
HS：200×200	
Q＝200m3/H	
BOX：400×400×350H	

女子洗面	
吹　出　口	1
HS：150×150	
Q＝100m3/H	
BOX：350×350×300H	



機　器　表

機器番号	機器名称	設置場所	台数	記号	電動機 電相	電圧(V)	電力	
F－1	排　風　機	1F男子便所	1	ストレートシロッコファン(接続径：φ150)	1	100	35.5W	参考:BFS-30SUC
		1F女子便所	1	処理風量 ： 300m3/H×30Pa				
				付属品　：SUS製VC(φ150,防虫網付),天吊金物				
				コントロールSW他付属品一式				
F－2	排　風　機	2F男子便所	1	ストレートシロッコファン(接続径：φ200)	1	100	57W	参考:BFS-40SUC
		2F女子便所	1	処理風量 ： 400m3/H×30Pa				
				付属品　：SUS製VC(φ200,防虫網付),天吊金物				
				コントロールSW他付属品一式				
V－1	天　井　扇	1F多目的便所	1	底騒音形天井扇(接続径：φ100)	1	100	18W	参考:VD-15ZC9
		2F湯沸室	1	処理風量 ： 150m3/H×30Pa				
				付属品　：SUS製VC(φ100,防虫網付),天吊金物				
				コントロールSW他付属品一式				
V－2	天　井　扇	2F湯沸室	1	台所用天井扇(接続径：φ150)	1	100	58W	参考:VD-20Z9
				処理風量 ： 400m3/H×30Pa				
				付属品　：SUS製VC(φ150,防虫網付),天吊金物				
				コントロールSW他付属品一式				
EPH-1	電気暖房機	各WC	4	SUS製壁掛形パネルヒーター(サーモスタット内臓)	1	100	1.0kw	参考:IPY-1000S
				放 熱 量 ： 860kcal/h				
				付属品　：悪戯防止カバー他付属品一式				

<図面サイズ：A2>

特記事項	一級建築士事務所 株式会社 山本設計事務所 TEL 仙台 (022) 233-6028 (代)	工事名称	図面名称	換気設備　1・2階平面図	S＝1/50	管理建築士	承認印	検印	係員	作図	図面番号
		平成２４年度 役場庁舎トイレ改修工事			S＝1/	一級建築士登録 第１７３１２１号 斎藤　久		斎藤		沢村	M／06
					S＝1/						